

# *ES/1 NEO*

CSシリーズ

CS-Java

使用者の手引き

**© COPYRIGHT IIM CORPORATION, 2024**

**ALL RIGHT RESERVED. NO PART OF THIS PUBLICATION MAY  
REPRODUCED OR TRANSMITTED IN ANY FORM BY ANY MEANS,  
ELECTRONIC OR MECHANICAL, INCLUDING PHOTOCOPY RECORDING,  
OR ANY INFORMATION STORAGE AND RETRIEVAL SYSTEM WITHOUT  
PERMISSION IN WRITING FROM THE PUBLISHER.**

**“RESTRICTED MATERIAL OF IIM “LICENSED MATERIALS – PROPERTY OF IIM**

# 目次

第 1 章 機能概要 .....	1
1.1. 全体構成 .....	1
第 2 章 動作環境 .....	1
第 3 章 環境設定 .....	2
3.1. 起動方法 .....	2
3.1.1. アプリケーションサーバ種別の選択 .....	2
3.1.2. メイン画面 .....	8
3.2. 初期設定：管理対象ノードの設定 .....	10
3.2.1. 管理対象ノードを追加する（WebLogic の場合） .....	10
3.2.2. 管理対象ノードを追加する（Interstage V9 の場合） .....	13
3.2.3. 管理対象ノードを追加する（Interstage V11 の場合） .....	15
3.2.4. 管理対象ノードを追加する（WebSphere の場合） .....	18
3.2.5. 管理対象ノードを追加する（OracleAS の場合） .....	21
3.2.6. 管理対象ノードを追加する（JBoss の場合） .....	24
3.2.7. 管理対象ノードを追加する（Tomcat の場合） .....	27
3.2.8. WebSphere セキュリティの設定 .....	29
3.2.9. 管理対象ノードの設定情報を編集する .....	31
3.2.10. 管理対象ノードを削除する .....	32
3.2.11. ノードを管理対象から除外する .....	32
3.2.12. ノードを管理対象に設定する .....	32
3.2.13. 管理対象ノードのソート表示 .....	33
3.3. 初期設定：レコード情報の設定 .....	34
3.3.1. レコードを追加する .....	34
3.3.2. レコードの設定情報を編集する .....	36
3.3.3. 複数レコードの共通項目を編集する .....	38
3.3.4. レコードを削除する .....	39
3.3.5. レコードのソート表示 .....	39
3.4. 初期設定：動作環境の設定 .....	40
3.4.1. 統計情報ファイル出力先フォルダ（T） .....	40
3.4.2. ファイル切替間隔（S） .....	40
3.5. 設定情報の保存およびサービスへの反映 .....	41
3.6. 複数マシン上でアプリケーションサーバを運用している場合の設定（WebLogic） .....	42
3.6.1. 複数マシン運用構成 .....	42
3.6.2. サイト／システムの設定 .....	43
3.6.3. レコードの設定 .....	43
3.7. 性能情報収集前に行う管理コンソールの設定（WebSphere） .....	44
3.7.1. Performance Monitoring Infrastructure (PMI) の構成とランタイム設定 .....	44
3.7.2. リソース用 MBean 作成の設定 .....	45
3.7.3. Java 仮想マシンの詳細設定（WebSphere V8.5/V8.5.5/V9.0 の場合） .....	46
3.7.4. コンテナ管理パーシスタンスの設定 .....	47

3.8. SSL 証明書の作成 .....	48
3.8.1. 鍵ストア名の確認 .....	48
3.8.2. トラスト・ファイルの作成 .....	51
3.8.3. 署名者の交換 .....	53
3.9. 性能情報収集前に行うサーバおよび管理コンソールの設定（Interstage V11） .....	54
3.9.1. ファイアウォールの許可設定 .....	54
3.9.2. Hosts ファイルへの IP アドレス設定 .....	54
3.9.3. JDBC リソースのターゲット設定確認 .....	54
3.9.4. 監視サービスの設定 .....	55
3.9.5. Interstage Java EE DAS サービスの再起動 .....	55
3.10. 性能情報収集前に行うサーバの設定（Tomcat） .....	56
3.10.1. Tomcat の起動オプション設定 .....	56
3.10.2. ファイアウォールの許可設定 .....	56
3.11. 性能情報収集前に行うサーバの設定（JBoss V6.4.0） .....	57
3.11.1. Public Interface の IP アドレス確認 .....	57
3.11.2. リモート接続の許可設定 .....	58
3.11.3. アプリケーションレルムユーザ追加 .....	61
3.11.4. データソースのモニタリング設定 .....	62
3.11.5. ejb3 サブシステムのモニタリング設定 .....	63
 第 4 章 iim was collector の使用方法 .....	64
4.1. 起動方法 .....	64
4.2. 停止方法 .....	65
4.3. iim was collector サービスのログオンアカウントの変更 .....	66
 第 5 章 添付資料 A. 収集項目 .....	67
5.1. WebLogic .....	67
5.1.1. EntityEJB 情報 .....	67
5.1.2. 実行キュー情報 .....	69
5.1.3. JDBC 接続プール情報 .....	70
5.1.4. JRockit 情報 .....	71
5.1.5. JVM 情報 .....	72
5.1.6. Server 情報 .....	72
5.1.7. StatefulEJB 情報 .....	73
5.1.8. StatelessEJB 情報 .....	74
5.1.9. Web アプリケーションコンポーネント情報 .....	76
5.1.10. サブレット情報 .....	76
5.1.11. MessageDrivenEJB 情報 .....	77
5.1.12. JDBC Data Source 情報 .....	79
5.1.13. ThreadPool 情報 .....	81
5.1.14. WorkManager 情報 .....	82
5.2. Interstage .....	83
5.2.1. EntityEJB 情報 .....	83
5.2.2. JDBC Pool 情報 .....	84
5.2.3. JVM 情報 .....	85
5.2.4. MessageDrivenEJB 情報 .....	86
5.2.5. Servlet 情報 .....	86
5.2.6. StatefulSessionEJB 情報 .....	87

5.2.7.StatelessSessionEJB 情報 .....	87
5.2.8.EntityEJB メソッド情報 .....	88
5.2.9.MessageDrivenEJB メソッド情報 .....	88
5.2.10.StatefulSessionEJB メソッド情報 .....	89
5.2.11.StatelessSessionEJB メソッド情報 .....	89
<b>5.3. WebSphere.....</b>	<b>90</b>
5.3.1.EntityBean 情報 .....	90
5.3.2.JDBC Provider 情報 .....	92
5.3.3.JVM 情報 .....	93
5.3.4.MessageDrivenBean 情報 .....	94
5.3.5.Servlet 情報 .....	96
5.3.6.StatefulSessionBean 情報 .....	96
5.3.7.StatelessSessionBean 情報 .....	98
5.3.8.ThreadPool 情報 .....	99
5.3.9.JDBC Data Source 情報 .....	100
5.3.10.SessionManager 情報 .....	101
5.3.11.JSP 情報 .....	103
5.3.12.SingletonSessionBean 情報 .....	104
<b>5.4. OracleAS .....</b>	<b>105</b>
5.4.1.EntityBean 情報 .....	105
5.4.2.JDBCDataSource 情報 .....	106
5.4.3.JVM 情報 .....	107
5.4.4.MessageDrivenBean 情報 .....	107
5.4.5.Servlet 情報 .....	108
5.4.6.StatefulSessionBean 情報 .....	109
5.4.7.StatelessSessionBean 情報 .....	109
5.4.8.ThreadPool 情報 .....	110
5.4.9.EntityBean メソッド情報 .....	111
5.4.10.MessageDrivenBean メソッド情報 .....	112
5.4.11.StatefulSessionBean メソッド情報 .....	113
5.4.12.StatelessSessionBean メソッド情報 .....	114
<b>5.5. JBoss.....</b>	<b>115</b>
5.5.1.JVM 情報 .....	115
5.5.2.JDBCDataSource 情報 .....	116
5.5.3.Servlet 情報 .....	117
5.5.4.ThreadPool 情報 .....	118
5.5.5.StatefulSessionBean 情報 .....	119
5.5.6.StatefulSessionBean メソッド情報 .....	120
5.5.7.StatelessSessionBean 情報 .....	121
5.5.8.StatelessSessionBean メソッド情報 .....	122
<b>5.6. Tomcat .....</b>	<b>123</b>
5.6.1.JVM 情報 .....	123
5.6.2.Servlet 情報 .....	124
5.6.3.ThreadPool 情報 .....	124

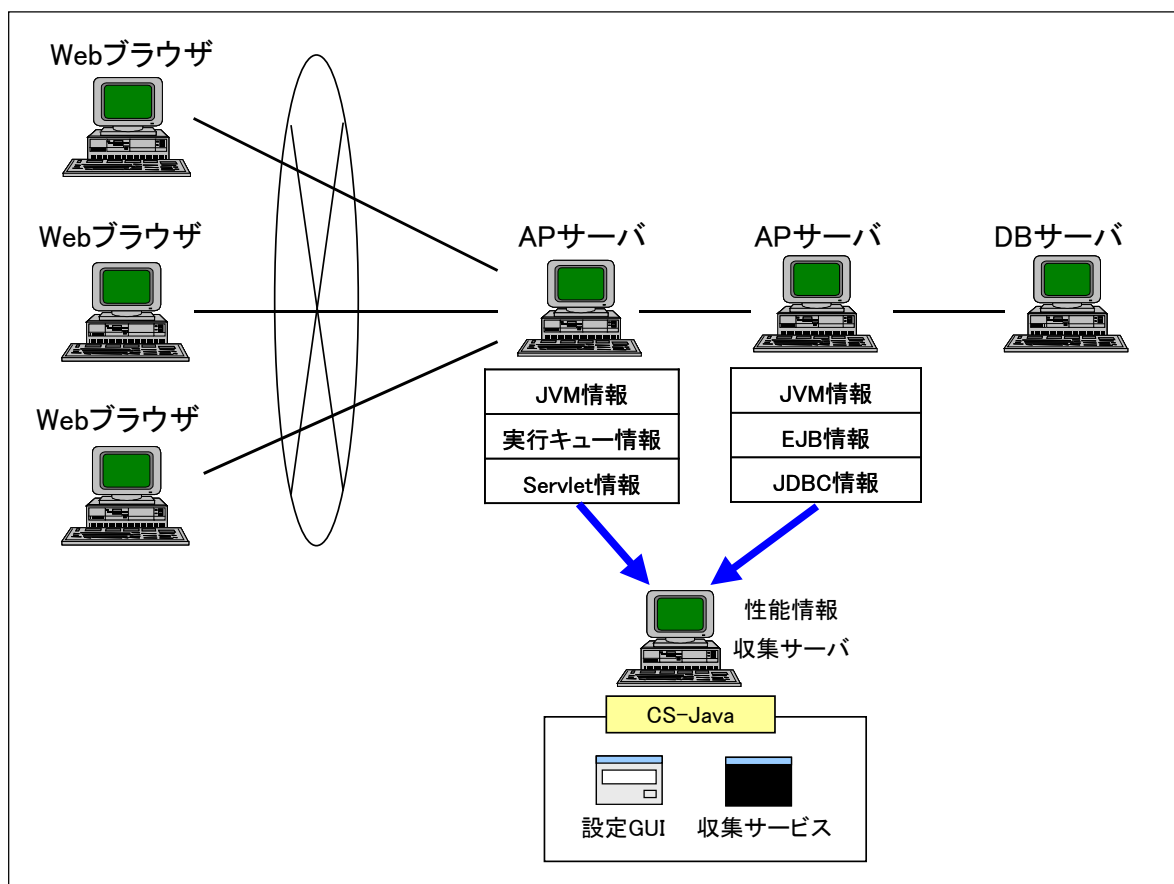
## 第1章 機能概要

本書は、稼働監視対象の Web Application Server から性能情報を収集する、ES/1 NEO CS-Java について記述しています。

### 1.1. 全体構成

CS-Java は AP サーバ上で稼働する Web Application Server から JVM、実行キュー、Servlet、EJB、JDBC 等の性能情報を定期収集するためのサービスを提供しています。Web Application Server の性能情報取得には、JMX(Java Management Extensions)または各社ライブラリを使用します。

CS-Java には、実際に性能情報の収集を行うサービスプログラム iim was collector と、このサービスの起動に必要な定義の設定を GUI(Graphical User Interface)環境にて行う CS-Java configuration assistant があります。



## 第2章 動作環境

動作環境については、「サポート環境」の「Java」をご参照ください。

## 第3章 環境設定

環境設定は「CS-Java configuration assistant」によって行われます。

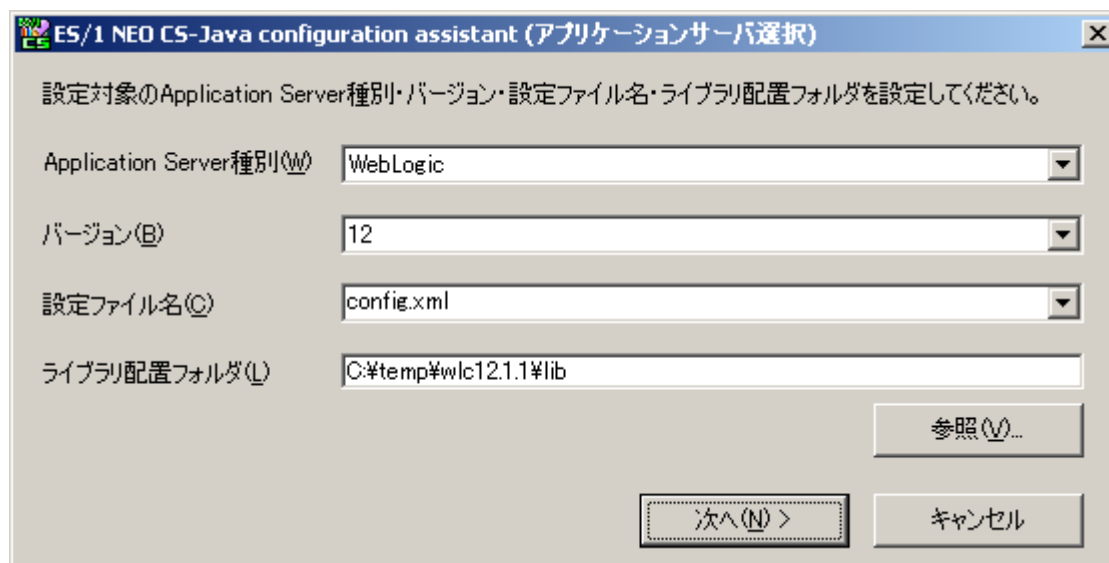
「CS-Java configuration assistant」は、性能情報の収集を行うサービスプログラム iim was collector の起動に必要な定義の設定を GUI(Graphical User Interface)環境にて行います。

### 3.1. 起動方法

[スタート]メニュー→「プログラム」→「ES1 NEO CS シリーズ」から「CS-Java configuration assistant」を選択します。または、ES/1 NEO CS シリーズのインストールフォルダの wascl フォルダ配下にある「wasclca.exe」を起動します。なお、「CS-Java configuration assistant」を実行するユーザには、サービスを起動停止する権限が必要です。

#### 3.1.1. アプリケーションサーバ種別の選択

「CS-Java configuration assistant」を起動すると、以下の画面が表示されます。



(1)Application Server 種別(W)

接続対象となるアプリケーションサーバの種別を選択してください。

(2)バージョン(B)

接続対象となるアプリケーションサーバのバージョンを選択してください。

[WebLogic V14.1.1 の場合]

バージョン 12 を選択してください。

(3)設定ファイル名(C)

設定情報を保存するファイル名を設定します。デフォルトは config.xml です。半角英数字のみ指定可能です。

・WebSphere の場合

接続対象となるアプリケーションサーバが複数存在し、「セキュリティ詳細設定」画面で指定する鍵ファイル・トラストファイルが異なる場合は、接続対象のアプリケーションサーバ毎に設定ファイルを分けて登録してください。「セキュリティ詳細設定」画面については本紙「3.2.9. WebSphere セキュリティの設定」をご参照ください。

#### (4)ライブラリ配置フォルダ(L)

- WebLogic の場合

アプリケーションサーバ種別が WebLogic の場合、JMX ライブラリが配置されたフォルダの設定が必要です。

WebLogic Server の JMX ライブラリを CS-Java がインストールされているマシンに配置してください。その後 WebLogic Server の JMX ライブラリが配置されているフォルダを設定してください。

「ライブラリ配置フォルダ(L)」にはローカルマシンのフォルダを設定し、運用していただくことを推奨しています。

WebLogic ライブラリ配置フォルダに別のマシンの共有フォルダを指定したい場合には、iim was collector のプロパティでログオンアカウントの設定が必要となります。ログオンアカウントの設定方法については、本紙「4.3. iim was collector サービスのログオンアカウントの変更」をご参照ください。

必要になる WebLogic Server の JMX ライブラリは以下の通りです。

#### [WebLogic V12 の場合]

##### 通常格納されているフォルダ

- <WebLogic Server のインストールフォルダ> ¥ <WebLogic バージョン> ¥server¥lib

##### ファイル

- weblogic.jar

##### 通常格納されているフォルダ

- <WebLogic Server のインストールフォルダ> ¥modules

##### ファイル

(\*にはバージョンが入ります)

- com.bea.core.common.security.api\_\*.jar
- com.bea.core.descriptor\_\*.jar
- com.bea.core.logging\_\*.jar
- com.bea.core.management.core\_\*.jar
- com.bea.core.store\_\*.jar
- com.bea.core.timers\_\*.jar
- com.bea.core.transaction\_\*.jar
- com.bea.core.utils.classloaders\_\*.jar
- com.bea.core.utils.full\_\*.jar
- com.bea.core.utils.wrapper\_\*.jar
- com.bea.core.utils\_\*.jar
- com.bea.core.weblogic.lifecycle\_\*.jar
- com.bea.core.weblogic.rmi.client\_\*.jar
- com.bea.core.weblogic.security.digest\_\*.jar
- com.bea.core.weblogic.security.identity\_\*.jar
- com.bea.core.weblogic.security.wls\_\*.jar
- com.bea.core.weblogic.security\_\*.jar
- com.bea.core.weblogic.socket.api\_\*.jar
- com.bea.core.weblogic.workmanager\_\*.jar
- com.bea.core.workarea\_\*.jar
- javax.transaction\_\*.jar



## [WebLogic V12.1.3 以降の場合]

通常格納されているフォルダ

- ・ <WebLogic Server のインストールフォルダ> ¥ <WebLogic バージョン> ¥server¥lib

ファイル

- ・wlclient.jar
- ・wljmxclient.jar

## [WebLogic V14.1.1 の場合]

通常格納されているフォルダ

- ・ <WebLogic Server のインストールフォルダ> ¥ <WebLogic バージョン> ¥server¥lib

ファイル

- ・wlthint3client.jar

コピー後、ファイル名をリネーム

CS-Java がインストールされているマシンにコピー後、ファイル名を wlclient.jar にリネームする。  
さらに、ファイルをコピーして wljmxclient.jar にリネームする。

- ・コピー元

wlthint3client.jar

- ・コピー先

wlclient.jar

wljmxclient.jar

- JBoss の場合

アプリケーションサーバ種別が JBoss の場合、JBoss ライブラリが配置されたフォルダの設定が必要です。JBoss ライブラリを CS-Java がインストールされているマシンに配置してください。その後 JBoss ライブラリが配置されているフォルダを設定してください。「ライブラリ配置フォルダ(L)」にはローカルマシンのフォルダを設定し、運用していただくことを推奨しています。JBoss ライブラリ配置フォルダに別マシンの共有フォルダを指定したい場合は、iim was collector のプロパティでログオンアカウントの設定が必要となります。ログオンアカウントの設定方法については、本紙「4.3. iim was collector サービスのログオンアカウントの変更」をご参照ください。

必要になる JBoss ライブラリは以下の通りです。

- [JBoss 6 の場合]

- 通常格納されているフォルダ

- ・ <JBoss のインストールフォルダ> ¥jboss-eap-6.1¥bin¥client

- ファイル

- ・ jboss-client.jar

- Interstage の場合

- [Interstage V11 の場合]

- Interstage ライブラリの配置は不要です。

- WebSphere の場合

アプリケーションサーバ種別が WebSphere の場合、接続用ライブラリが配置されたフォルダの設定が必要です。WebSphere Server の接続用ライブラリを CS-Java がインストールされているマシンに配置してください。その後、WebSphere の接続用ライブラリが配置されているフォルダを設定してください。

「ライブラリ配置フォルダ(L)」には、ローカルマシンのフォルダを設定し、運用していただくことを推奨しています。WebSphere ライブラリ配置フォルダに別のマシンの共有フォルダを指定したい場合には、iim was collector のプロパティでログオンアカウントの設定が必要となります。ログオンアカウントの設定方法については、本紙「4.3. iim was collector サービスのログオンアカウントの変更」をご参照ください。

必要になる WebSphere の接続用ライブラリは以下の通りです。

[WebSphere V8.5 の場合]

通常格納されているフォルダ

- <WebSphere Server のインストールフォルダ> %WebSphere%\AppServer\runtimes

ファイル

- com.ibm.ws.admin.client\_\*.jar

通常格納されているフォルダ

- <WebSphere Server のインストールフォルダ> %WebSphere%\AppServer\plugins

ファイル

- com.ibm.ws.security.crypto.jar

[WebSphere V8.5.5/V9.0 の場合]

通常格納されているフォルダ

- <WebSphere Server のインストールフォルダ> %WebSphere%\AppServer\runtimes

ファイル

- com.ibm.ws.admin.client\_\*.jar
- com.ibm.jaxws.thinclient\_\*.jar
- com.ibm.ws.orb\_\*.jar

通常格納されているフォルダ

- <WebSphere Server のインストールフォルダ> %WebSphere%\AppServer\plugins

ファイル

- com.ibm.ws.security.crypto.jar

## •OracleAS の場合

アプリケーションサーバ種別が OracleAS の場合、JMX ライブラリが配置されたフォルダの設定が必要です。

OracleAS の JMX ライブラリを CS-Java がインストールされているマシンに配置してください。その後 OracleAS の JMX ライブラリが配置されているフォルダを設定してください。

「ライブラリ配置フォルダ(L)」にはローカルマシンのフォルダを設定し、運用していただくことを推奨しています。

OracleAS ライブラリ配置フォルダに別マシンの共有フォルダを指定したい場合は、iim was collector のプロパティでログオンアカウントの設定が必要となります。ログオンアカウントの設定方法については、本紙「4.3. iim was collector サービスのログオンアカウントの変更」を参照してください。

必要になる OracleAS の JMX ライブラリは以下の通りです。

<OracleAS のインストールフォルダ> %j2ee%home%\oc4jclient.jar

<OracleAS のインストールフォルダ> %j2ee%home%\lib\adminclient.jar

<OracleAS のインストールフォルダ> %j2ee%home%\lib%\oc4j-internal.jar

<OracleAS のインストールフォルダ> %j2ee%home%\lib%\javax77.jar

<OracleAS のインストールフォルダ> %j2ee%home%\lib%\ejb.jar

<OracleAS のインストールフォルダ> %opmn%\lib%\optic.jar

<OracleAS のインストールフォルダ> %LIB%\dms.jar

## •Tomcat の場合

アプリケーションサーバ種別が Tomcat の場合、JMX ライブラリが配置されたフォルダの設定は不要です。

**メモ！**

複数サーバを対象にする際、各サーバで使用している jar ファイルが異なる場合はそれぞれの jar ファイルが必要になります。

各サーバ毎に設定ファイル名を変え、それぞれの jar ファイルが格納されたライブラリ配置フォルダを指定してください。

## (5)[次へ(N) &gt;]ボタン

各設定項目を入力し、[次へ(N) >]ボタンを押下すると、設定したアプリケーションサーバのメイン画面を表示します。

## (6)[キャンセル]ボタン

「CS-Java configuration assistant」を終了します。

### 3.1.2. メイン画面

**ES/1 NEO CS-Java configuration assistant**

ファイル(F) ヘルプ(H)

---

管理対象

Application Server種別(W) WebLogic8 種別切替(U)

設定ファイル名(C) C:\IIM\CS#wascl#etc\WebLogic8#config.xml 新規作成(N)

管理対象一覧(M)

接続先	対象	サイト名	システム名
t3://HostName1:7001	<input type="radio"/>	site01	system01
t3://HostName2:7001	<input type="radio"/>	site01	system02

管理対象設定(O)
管理対象除外(X)
ノード追加(A)...
ノード編集(E)...
ノード削除(D)
ノードコピー(P)

---

動作環境

統計情報ファイル出力先フォルダ(I) C:\IIM\_WORK\CS#\PDBOUT 参照(V)...

ファイル切替間隔(S) 15 分

設定終了
キャンセル

(1)Application Server 種別(W)

Application Server 種別を見分けるための情報です。アプリケーションサーバ選択画面で選択した Application Server 種別を表示します。

## (2)[種別切替(U)]ボタン

Application Server 種別を切り替えます。ボタンを押下するとアプリケーションサーバ選択画面を表示します。

(3)設定ファイル名(C)

設定情報を保存するファイル名です。複数の設定ファイルが存在する場合は設定ファイルを切り替えることが可能です。

(4)[新規作成(N)]ボタン

設定ファイルを複数使用したい場合に、新しい設定ファイルを作成します。設定ファイル 1 つにつき、収集プロセスが 1 つ起動するので、接続対象が多い場合は複数の設定ファイルに設定を行うことで収集時のプロセスの負荷を分散させることができます。半角英数字のみ指定可能です。

(5) 接続先

管理対象ノード設定画面で入力した接続先(Application Server によって異なる)が表示されます。

### (6)対象

ノードを管理の対象とするかを表します。対象が○以外のノードは、iim was collector でのデータ収集は行われません。

(7)サイト名

管理対象ノード設定画面で設定した ES/1 NEO CS シリーズで使用するサイト名です。

(8)システム名

管理対象ノード設定画面で設定した ES/1 NEO CS シリーズで使用するシステム名です。

(9)[管理対象設定(O)]ボタン

選択されているノードを管理対象とします。詳しくは、本紙「3.2.12. ノードを管理対象に設定する」をご参照ください。

(10)[管理対象除外(X)]ボタン

選択されているノードを管理対象から除外します。詳しくは、本紙「3.2.11. ノードを管理対象から除外する」をご参照ください。

(11)[ノード追加(A)...]ボタン

管理対象一覧にノードを追加します。詳しくは、本紙「3.2. 初期設定：管理対象ノードの設定」をご参照ください。

(12) [ノード編集(E)...]ボタン

選択されているノードの設定を編集します。詳しくは、本紙「3.2.9. 管理対象ノードの設定情報を編集する」をご参照ください。

(13)[ノード削除(D)]ボタン

選択されているノードを管理対象一覧から削除します。詳しくは、本紙「3.2.10. 管理対象ノードを削除する」をご参照ください。

(14)[ノードコピー(P)]ボタン

選択されているノードの設定をコピーし、管理対象一覧に追加します。

(15)統計情報ファイル出力先フォルダ(T)

「iim was collector」が出力する統計情報ファイルを格納するフォルダを設定します。詳しくは、本紙「3.4.1. 統計情報ファイル出力先フォルダ(T)」をご参照ください。

(16)ファイル切替間隔(S)

統計情報ファイルの切替間隔を設定します。詳しくは、本紙「3.4.2. ファイル切替間隔(S)」をご参照ください。

(17)[設定終了]ボタン

各設定項目を入力し、[設定終了]ボタンを押下すると、設定を保存しサービスを再起動します。詳しくは、本紙「3.5. 設定情報の保存およびサービスへの反映」をご参照ください。

(18)[キャンセル]ボタン

保存前の設定をキャンセルし、プログラムを終了します。

### 3.2. 初期設定：管理対象ノードの設定

ここでは実際に iim was collector を使用する前に行う初期設定について記述します。

導入直後、各設定はデフォルトの設定となっています。

iim was collector でデータ収集を行う管理対象ノードについての設定を行います。

#### 3.2.1. 管理対象ノードを追加する（WebLogic の場合）

iim was collector で監視する管理対象ノードを追加します。ノードの追加は、メイン画面で[ノード追加(A)...]ボタンを押下するか、またはメイン画面の「管理対象一覧(M)」リストで右クリックし、ポップアップメニューから「ノード追加(A)...」メニューを選択することで行います。

ノード追加を実行すると、以下の画面が表示されます。

管理対象ノード設定

接続先情報

Application Server種別(W) WebLogic

接続先ホスト(H)

サーバのリソポート番号(N)

WebLogic ユーザ名(U)

WebLogic パスワード(P)

CSシリーズで使用するサイト名(S)

CSシリーズで使用するシステム名(Y)

管理マシンとの時差(J) +0時間

レコード情報

レコード一覧(R)

レコード種別	対象MBean名	ポーリング間隔	ポーリング遅延

レコード追加(A)... レコード編集(E)... レコード削除(D)

OK キャンセル

#### (1)Application Server 種別(W)

アプリケーションサーバ選択画面で選択した Application Server 種別が表示されます。

#### (2)接続先ホスト(H)

WebLogic Server が起動しているホスト名または IP アドレスを設定してください。

#### 注意！

WebLogic Server のリスニング・アドレスが設定されている場合は、WebLogic Server のリスニング・アドレスを設定してください。

(3)サーバのリSPORT番号(N)

WebLogic Server のリSPORT番号を設定してください。

**注意！**

管理サーバと管理対象サーバが存在する場合は、管理対象サーバのリSPORT番号を記入してください。

(4)WebLogic ユーザ名(U)

WebLogic Server の管理ユーザ名を設定してください。

(5)WebLogic パスワード(P)

WebLogic Server の管理ユーザのパスワードを設定してください。

(6)CS シリーズで使用するサイト名(S)

ES/1 NEO CS シリーズで使用するサイト名を設定してください。本項目は省略することはできません。

(7)CS シリーズで使用するシステム名(Y)

ES/1 NEO CS シリーズで使用するシステム名を設定してください。本項目は省略することはできません。

**注意！**

サイト／システム名は全角 31 文字以内、半角 63 文字以内で指定してください。また、下記の文字は使用できません。

・半角片仮名

・¥ / : , ; \* ? " < > | .

・#

・機種依存文字 (①②③..., I II III..., (株)ドルビネ...等)

・JIS X 0201、JIS X 0208 (Shift\_JIS、CP932、Windows-31J) に含まれない文字、および、外字

また、Windows のファイル名、ディレクトリ名として使用できない予約名についてもサイト／システム名として使用できません。

・CON、PRN、AUX、CLOCK\$、NUL、COM0～COM9、LPT0～LPT9

サイト／システム名は製品間の内部キーやデータの保存フォルダ名等に使用します。

容易に変更できませんので、将来的に変更する可能性が発生する名前は避けてください。

サイト／システム名として、推奨できない例

・次期システム

・本番システム

・テスト期間中システム

サイト／システム名が反映される箇所

・CS シリーズの入力データファイルを格納するフォルダ名

・CS シリーズの出力結果ファイル名の一部

・CS シリーズの出力結果ファイルを格納するフォルダ名

・CS シリーズの出力結果を Web コンテンツ化して Web ブラウザで閲覧する際のパス名

・CS シリーズの出力結果を Web コンテンツ化して専用データベースに登録する際の識別名



(8)管理マシンとの時差(J)

接続対象サーバと ES/1 管理マシンとの間に時差がある場合は、管理マシンとの時差を設定してください。

(9)レコード一覧(R)

本ノードで収集するレコード情報を設定してください。詳しい設定方法については、本紙「3.3. 初期設定：レコード情報の設定」をご参照ください。

(10)[OK]ボタン

各設定項目を入力し、[OK]ボタンを押下すると、メイン画面の「管理対象一覧(M)」リストに追加し、メイン画面に戻ります。

(11)[キャンセル]ボタン

管理対象ノードの追加をキャンセルし、メイン画面に戻ります。

### 3.2.2. 管理対象ノードを追加する（Interstage V9 の場合）

iim was collector で監視する管理対象ノードを追加します。ノードの追加は、メイン画面で[ノード追加(A)...]ボタンを押下するか、またはメイン画面の「管理対象一覧(M)」リストで右クリックし、ポップアップメニューから[ノード追加(A)...]メニューを選択することで行います。

ノード追加を実行すると、以下の画面が表示されます。

管理対象ノード設定

接続先情報

Application Server 種別(W) Interstage

接続先ホスト(H)

Interstage ユーザ名(U)

Interstage パスワード(P)

CSシリーズで使用するサイト名(S)

CSシリーズで使用するシステム名(Y)

管理マシンとの時差(J) +0時間

レコード情報

レコード一覧(R)

レコード種別	対象MBean名	ポーリング間隔	ポーリング遅延

レコード追加(A)... レコード編集(E)... レコード削除(D)

OK キャンセル

(1)Application Server 種別(W)

アプリケーションサーバ選択画面で選択した Application Server 種別が表示されます。

(2)接続先ホスト(H)

Interstage Server が起動しているホスト名または IP アドレスを設定してください。

(3)Interstage ユーザ名(U)

Interstage 管理コンソールにログインできるユーザ名を設定してください。

(4)Interstage パスワード(P)

Interstage 管理コンソールにログインできるユーザのパスワードを設定してください。

(5)CS シリーズで使用するサイト名(S)

ES/1 NEO CS シリーズで使用するサイト名を設定してください。本項目は省略することはできません。

#### (6)CS シリーズで使用するシステム名(Y)

ES/1 NEO CS シリーズで使用するシステム名を設定してください。本項目は省略することはできません。

##### **注意！**

サイト／システム名は全角 31 文字以内、半角 63 文字以内で指定してください。また、下記の文字は使用できません。

- ・半角片仮名
- ・¥ / : , ; \* ? " < > | .
- ・#
- ・機種依存文字 (①②③..., I II III..., (株)ドルビネ...等)
- ・JIS X 0201、JIS X 0208 (Shift\_JIS、CP932、Windows-31J) に含まれない文字、および、外字

また、Windows のファイル名、ディレクトリ名として使用できない予約名についてもサイト／システム名として使用できません。

- ・CON、PRN、AUX、CLOCK\$, NUL、COM0～COM9、LPT0～LPT9

サイト／システム名は製品間の内部キーやデータの保存フォルダ名等に使用します。  
容易に変更できませんので、将来的に変更する可能性が発生する名前は避けてください。

サイト／システム名として、推奨できない例

- ・次期システム
- ・本番システム
- ・テスト期間中システム

サイト／システム名が反映される箇所

- ・CS シリーズの入力データファイルを格納するフォルダ名
- ・CS シリーズの出力結果ファイル名の一部
- ・CS シリーズの出力結果ファイルを格納するフォルダ名
- ・CS シリーズの出力結果を Web コンテンツ化して Web ブラウザで閲覧する際のパス名
- ・CS シリーズの出力結果を Web コンテンツ化して専用データベースに登録する際の識別名

#### (7)管理マシンとの時差(J)

接続対象サーバと ES/1 管理マシンとの間に時差がある場合は、管理マシンとの時差を設定してください。

#### (8)レコード一覧(R)

本ノードで収集するレコード情報を設定してください。詳しい設定方法については、本紙「3.3. 初期設定：レコード情報の設定」をご参照ください。

#### (9)[OK]ボタン

各設定項目を入力し、[OK]ボタンを押下すると、メイン画面の「管理対象一覧(M)」リストに追加し、メイン画面に戻ります。

#### (10)[キャンセル]ボタン

管理対象ノードの追加をキャンセルし、メイン画面に戻ります。

### 3.2.3. 管理対象ノードを追加する（Interstage V11 の場合）

iim was collector で監視する管理対象ノードを追加します。ノードの追加は、メイン画面で[ノード追加(A)...]ボタンを押下するか、またはメイン画面の「管理対象一覧(M)」リストで右クリックし、ポップアップメニューから[ノード追加(A)...]メニューを選択することで行います。

ノード追加を実行すると、以下の画面が表示されます。

管理対象ノード設定

接続先情報

Application Server 種別(W) Interstage

接続先ホスト(H)

ポート番号(N)

Interstage ユーザ名(U)

Interstage パスワード(P)

CSシリーズで使用するサイト名(S)

CSシリーズで使用するシステム名(Y)

管理マシンとの時差(J) +0時間

レコード情報

レコード一覧(R)

レコード種別	対象MBean名	ポーリング間隔	ポーリング遅延

レコード追加(A)... レコード編集(E)... レコード削除(D)

OK キャンセル

#### (1) Application Server 種別(W)

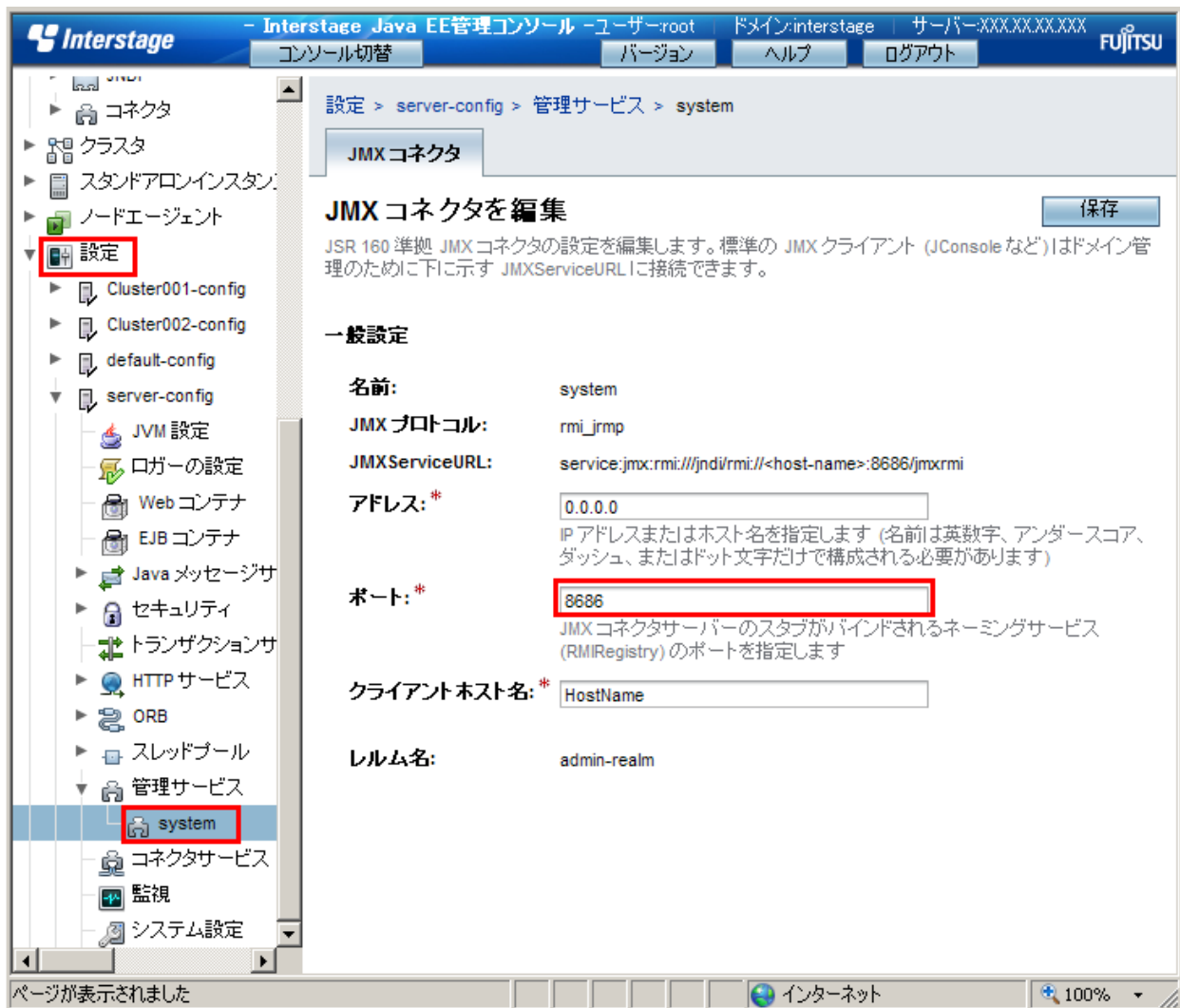
アプリケーションサーバ選択画面で選択した Application Server 種別が表示されます。

#### (2) 接続先ホスト(H)

Interstage Server が起動しているホスト名または IP アドレスを設定してください。

#### (3) ポート番号(N)

Interstage Server 上で起動している JMX Connector のポート番号を設定してください。デフォルトは 8686 番です。現在どのポート番号を使用しているかを確認する場合は、管理コンソールの「設定 > server-config > 管理サービス > system」を選択し、ポートを確認してください。



(4)Interstage ユーザ名(U)

Interstage 管理コンソールにログインできるユーザ名を設定してください。

(5)Interstage パスワード(P)

Interstage 管理コンソールにログインできるユーザのパスワードを設定してください。

(6)CS シリーズで使用するサイト名(S)

ES/1 NEO CS シリーズで使用するサイト名を設定してください。本項目は省略することはできません。

(7)CS シリーズで使用するシステム名(Y)

ES/1 NEO CS シリーズで使用するシステム名を設定してください。本項目は省略することはできません。

**注意！**

サイト／システム名は全角 31 文字以内、半角 63 文字以内で指定してください。また、下記の文字は使用できません。

- ・半角片仮名
- ・¥ / : , ; \* ? " < > | .
- ・#
- ・機種依存文字 (①②③..., I II III..., (株)ドルビネ...等)
- ・JIS X 0201、JIS X 0208 (Shift\_JIS、CP932、Windows-31J) に含まれない文字、および、外字

また、Windows のファイル名、ディレクトリ名として使用できない予約名についてもサイト／システム名として使用できません。

- ・CON、PRN、AUX、CLOCK\$, NUL、COM0～COM9、LPT0～LPT9

サイト／システム名は製品間の内部キーやデータの保存フォルダ名等に使用します。  
容易に変更できませんので、将来的に変更する可能性が発生する名前は避けてください。

サイト／システム名として、推奨できない例

- ・次期システム
- ・本番システム
- ・テスト期間中システム

サイト／システム名が反映される箇所

- ・CS シリーズの入力データファイルを格納するフォルダ名
- ・CS シリーズの出力結果ファイル名の一部
- ・CS シリーズの出力結果ファイルを格納するフォルダ名
- ・CS シリーズの出力結果を Web コンテンツ化して Web ブラウザで閲覧する際のパス名
- ・CS シリーズの出力結果を Web コンテンツ化して専用データベースに登録する際の識別名

(8)管理マシンとの時差(J)

接続対象サーバと ES/1 管理マシンとの間に時差がある場合は、管理マシンとの時差を設定してください。

(9)レコード一覧(R)

本ノードで収集するレコード情報を設定してください。詳しい設定方法については、本紙「3.3. 初期設定：レコード情報の設定」をご参照ください。

(10)[OK]ボタン

各設定項目を入力し、[OK]ボタンを押下すると、メイン画面の「管理対象一覧(M)」リストに追加し、メイン画面に戻ります。

(11)[キャンセル]ボタン

管理対象ノードの追加をキャンセルし、メイン画面に戻ります。

### 3.2.4. 管理対象ノードを追加する（WebSphere の場合）

iim was collector で監視する管理対象ノードを追加します。ノードの追加は、メイン画面で[ノード追加(A)...]ボタンを押下するか、またはメイン画面の「管理対象一覧(M)」リストで右クリックし、ポップアップメニューから「ノード追加(A)...」メニューを選択することで行います。

ノード追加を実行すると、以下の画面が表示されます。

管理対象ノード設定

接続先情報

Application Server種別(W) WebSphere

コネクタイプ(T) SOAP

接続先ホスト名(H)

SOAP\_CONNECTOR\_ADDRESSポート番号(N)

セキュリティ(M) 設定なし 詳細(K)

CSシリーズで使用するサイト名(S)

CSシリーズで使用するシステム名(Y)

管理マシンとの時差(J) + 0時間

レコード情報

レコード一覧(R)

レコード種別	対象MBean名	ポーリング間隔	ポーリング遅延

レコード追加(A)... レコード編集(E)... レコード削除(D)

OK キャンセル

(1)Application Server 種別(W)

アプリケーションサーバ選択画面で選択した Application Server 種別が表示されます。

(2)コネクタイプ(T)

WebSphere Application Server に接続する際に使用するコネクタのタイプが表示されます。

(3)接続先ホスト名(H)

WebSphere Application Server が起動しているホスト名または IP アドレスを設定してください。

## (4) SOAP\_CONNECTOR\_ADDRESS ポート番号(N)

WebSphere Application Server が起動している SOAP\_CONNECTOR\_ADDRESS ポート番号を設定してください。

管理コンソールから「サーバ」→「アプリケーション・サーバ」で対象とするアプリケーションサーバを選択します。構成タブの「通信」→「ポート」に表示されている「SOAP\_CONNECTOR\_ADDRESS」のポート番号を記入してください。



アプリケーション・サーバ > server1 > ポート

接続のためにこのサーバが使用する重要な TCP/IP ポートを構成します。

田 設定

新規作成 削除

選択	ポート名	ホスト	ポート	トランスポートの詳細
<input type="checkbox"/>	BOOTSTRAP_ADDRESS		2809	関連トランスポートなし
<input type="checkbox"/>	CSIV2_SSL_MUTUALAUTH_LISTENER_ADDRESS		9402	関連トランスポートなし
<input type="checkbox"/>	SIB_MQ_ENDPOINT_SECURE_ADDRESS	*	5578	関連トランスポートの表示
<input type="checkbox"/>	SOAP_CONNECTOR_ADDRESS		8880	関連トランスポートなし
<input type="checkbox"/>	WC_adminhost	*	9080	関連トランスポートの表示
<input type="checkbox"/>	WC_adminhost_secure	*	9043	関連トランスポートの表示
<input type="checkbox"/>	WC_defaulthost	*	9080	関連トランスポートの表示
<input type="checkbox"/>	WC_defaulthost_secure	*	9443	関連トランスポートの表示

合計 15

## (5) セキュリティ(M)

WebSphere Application Server がセキュア・モードになっている場合、セキュリティの設定が必要です。詳しい設定方法については、本紙「3.2.9. WebSphere セキュリティの設定」をご参照ください。

## (6) CS シリーズで使用するサイト名(S)

ES/1 NEO CS シリーズで使用するサイト名を設定してください。本項目は省略することはできません。



(7)CS シリーズで使用するシステム名(Y)

ES/1 NEO CS シリーズで使用するシステム名を設定してください。本項目は省略することはできません。

**注意！**

サイト／システム名は全角 31 文字以内、半角 63 文字以内で指定してください。また、下記の文字は使用できません。

- ・半角片仮名
- ・¥ / : , ; \* ? " < > | .
- ・#
- ・機種依存文字 (①②③..., I II III..., (株)ドルビネ...等)
- ・JIS X 0201、JIS X 0208 (Shift\_JIS、CP932、Windows-31J) に含まれない文字、および、外字

また、Windows のファイル名、ディレクトリ名として使用できない予約名についてもサイト／システム名として使用できません。

- ・CON、PRN、AUX、CLOCK\$, NUL、COM0～COM9、LPT0～LPT9

サイト／システム名は製品間の内部キーやデータの保存フォルダ名等に使用します。  
容易に変更できませんので、将来的に変更する可能性が発生する名前は避けてください。

サイト／システム名として、推奨できない例

- ・次期システム
- ・本番システム
- ・テスト期間中システム

サイト／システム名が反映される箇所

- ・CS シリーズの入力データファイルを格納するフォルダ名
- ・CS シリーズの出力結果ファイル名の一部
- ・CS シリーズの出力結果ファイルを格納するフォルダ名
- ・CS シリーズの出力結果を Web コンテンツ化して Web ブラウザで閲覧する際のパス名
- ・CS シリーズの出力結果を Web コンテンツ化して専用データベースに登録する際の識別名

(8)管理マシンとの時差(J)

接続対象サーバと ES/1 管理マシンとの間に時差がある場合は、管理マシンとの時差を設定してください。

(9)レコード一覧(R)

本ノードで収集するレコード情報を設定してください。詳しい設定方法については、本紙「3.3. 初期設定：レコード情報の設定」をご参照ください。

(10)[OK]ボタン

各設定項目を入力し、[OK]ボタンを押下すると、メイン画面の「管理対象一覧(M)」リストに追加し、メイン画面に戻ります。

(11)[キャンセル]ボタン

管理対象ノードの追加をキャンセルし、メイン画面に戻ります。

### 3.2.5. 管理対象ノードを追加する（OracleAS の場合）

iim was collector で監視する管理対象ノードを追加します。ノードの追加は、メイン画面で[ノード追加(A)...]ボタンを押下するか、またはメイン画面の「管理対象一覧(M)」リストで右クリックし、ポップアップメニューから「ノード追加(A)...」メニューを選択することで行います。

ノード追加を実行すると、以下の画面が表示されます。

管理対象ノード設定

接続先情報

Application Server種別(W) OracleAS

接続先ホスト(H)

OPMNリクエストポート番号(N)

Application Serverインスタンス名(B)

OC4Jインスタンス名(I)

OracleAS ユーザ名(U)

OracleAS パスワード(P)

CSシリーズで使用するサイト名(S)

CSシリーズで使用するシステム名(Y)

管理マシンとの時差(J) +0時間

レコード情報

レコード一覧(R)

レコード種別	対象MBean名	ポーリング間隔	ポーリング遅延

レコード追加(A)... レコード編集(E)... レコード削除(D)

OK キャンセル

#### (1)Application Server 種別(W)

アプリケーションサーバ選択画面で選択した Application Server 種別が表示されます。

#### (2)接続先ホスト(H)

OracleAS が起動しているホスト名または IP アドレスを設定してください。ホスト名にアンダーバーが含まれる場合には、IP アドレスを設定してください。

#### (3)OPMN リクエストポート番号(N)

OracleAS で使用している OPMN リクエストポート番号を設定してください。デフォルトは 6003 番です。

#### (4)Application Server インスタンス名(B)

OracleAS で使用している Application Server インスタンス名を設定してください。この項目は、Application Server インスタンス毎のデータの一意性を保つために使います。筐体内で一意であれば、正確なインスタンス名でなくても問題ありません。

#### (5)OC4J インスタンス名(I)

OracleAS で使用している OC4J インスタンス名を設定してください。CS-Java は、データ収集の際、OC4J インスタンスを特定して接続します。正確な OC4J インスタンス名である必要があります。

## (6)OracleAS ユーザ名(U)

OracleAS の管理ユーザ名を設定してください。デフォルトは oc4jadmin です。

## (7)OracleAS パスワード(P)

OracleAS の管理ユーザのパスワードを設定してください。

## (8)CS シリーズで使用するサイト名(S)

ES/1 NEO CS シリーズで使用するサイト名を設定してください。本項目は省略することはできません。

## (9)CS シリーズで使用するシステム名(Y)

ES/1 NEO CS シリーズで使用するシステム名を設定してください。本項目は省略することはできません。

**注意！**

サイト／システム名は全角 31 文字以内、半角 63 文字以内で指定してください。また、下記の文字は使用できません。

## ・半角片仮名

・¥ / : , ; \* ? " < > | .

## ・#

・機種依存文字 (①②③..., I II III..., (株)ドルビネ...等)

・JIS X 0201、JIS X 0208 (Shift\_JIS、CP932、Windows-31J) に含まれない文字、および、外字

また、Windows のファイル名、ディレクトリ名として使用できない予約名についてもサイト／システム名として使用できません。

・CON、PRN、AUX、CLOCK\$, NUL、COM0～COM9、LPT0～LPT9

サイト／システム名は製品間の内部キーやデータの保存フォルダ名等に使用します。

容易に変更できませんので、将来的に変更する可能性が発生する名前は避けてください。

サイト／システム名として、推奨できない例

・次期システム

・本番システム

・テスト期間中システム

サイト／システム名が反映される箇所

・CS シリーズの入力データファイルを格納するフォルダ名

・CS シリーズの出力結果ファイル名の一部

・CS シリーズの出力結果ファイルを格納するフォルダ名

・CS シリーズの出力結果を Web コンテンツ化して Web ブラウザで閲覧する際のパス名

・CS シリーズの出力結果を Web コンテンツ化して専用データベースに登録する際の識別名

## (10)管理マシンとの時差(J)

接続対象サーバと ES/1 管理マシンとの間に時差がある場合は、管理マシンとの時差を設定してください。

## (11)レコード一覧(R)

本ノードで収集するレコード情報を設定してください。詳しい設定方法については、本紙「3.3. 初期設定：レコード情報の設定」をご参照ください。

(12)[OK]ボタン

各設定項目を入力し、[OK]ボタンを押下すると、メイン画面の「管理対象一覧(M)」リストに追加し、メイン画面に戻ります。

(13)[キャンセル]ボタン

管理対象ノードの追加をキャンセルし、メイン画面に戻ります。

### 3.2.6. 管理対象ノードを追加する (JBoss の場合)

iim was collector で監視する管理対象ノードを追加します。ノードの追加は、メイン画面で[ノード追加(A)...]ボタンを押下するか、またはメイン画面の「管理対象一覧(M)」リストで右クリックし、ポップアップメニューから「ノード追加(A)...」メニューを選択することで行います。ノード追加を実行すると、以下の画面が表示されます。

管理対象ノード設定

接続先情報

Application Server種別(W) JBoss

接続先ホスト(H)

ポート番号(N)

JBoss インスタンス(I)

JBoss ユーザ名(U)

JBoss パスワード(P)

CSシリーズで使用するサイト名(S)

CSシリーズで使用するシステム名(Y)

管理マシンとの時差(J) +08時間

レコード情報

レコード一覧(R)

レコード種別	対象MBean名	ポーリング間隔	ポーリング遅延

レコード追加(A)... レコード編集(E)... レコード削除(D)

OK キャンセル

#### (1)Application Server 種別(W)

アプリケーションサーバ選択画面で選択した Application Server 種別が表示されます。

#### (2)接続先ホスト(H)

JBoss Application Server が起動しているホスト名または IP アドレスを設定してください。

#### (3)ポート番号(N)

JBoss Application Server の JMX 接続で使用するポート番号を設定してください。

V4～V5 の場合、管理コンソールの JMX Console で表示される「jboss:service=Naming」MBean の Port の設定値を設定してください。デフォルト値は 1099 です。

V6 の場合、管理コンソールの「Profile」タブ → 「Socket Binding」メニュー → 「management-native」で表示される「jboss.management.native.port」の設定値を設定してください。スタンドアロン環境のデフォルト値は 9999 です。ドメイン環境のデフォルト値は 4447 です。また、ドメイン環境で AP サーバが複数台ある場合には、管理コンソール画面からポートオフセット値を確認して設定します。

#### (4)JBoss インスタンス(I)

JBoss Application Server のインスタンス識別名として使用します。任意の文字列(64 文字以内)を入力してください。

(5)JBoss ユーザ名(U)

JBoss Application Server の管理ユーザ名を設定してください。

(6)JBoss パスワード(P)

JBoss Application Server の管理ユーザのパスワードを設定してください。

(7)CS シリーズで使用するサイト名(S)

ES/1 NEO CS シリーズで使用するサイト名を設定してください。本項目は省略することはできません。

(8)CS シリーズで使用するシステム名(Y)

ES/1 NEO CS シリーズで使用するシステム名を設定してください。本項目は省略することはできません。

**注意！**

サイト／システム名は全角 31 文字以内、半角 63 文字以内で指定してください。また、下記の文字は使用できません。

・半角片仮名

・¥ / : , ; \* ? " < > | .

・#

・機種依存文字 (①②③..., I II III..., (株)ドルビネ...等)

・JIS X 0201、JIS X 0208 (Shift\_JIS、CP932、Windows-31J) に含まれない文字、および、外字

また、Windows のファイル名、ディレクトリ名として使用できない予約名についてもサイト／システム名として使用できません。

・CON、PRN、AUX、CLOCK\$, NUL、COM0～COM9、LPT0～LPT9

サイト／システム名は製品間の内部キーやデータの保存フォルダ名等に使用します。  
容易に変更できませんので、将来的に変更する可能性が発生する名前は避けてください。

サイト／システム名として、推奨できない例

・次期システム

・本番システム

・テスト期間中システム

サイト／システム名が反映される箇所

・CS シリーズの入力データファイルを格納するフォルダ名

・CS シリーズの出力結果ファイル名の一部

・CS シリーズの出力結果ファイルを格納するフォルダ名

・CS シリーズの出力結果を Web コンテンツ化して Web ブラウザで閲覧する際のパス名

・CS シリーズの出力結果を Web コンテンツ化して専用データベースに登録する際の識別名

(9)管理マシンとの時差(J)

接続対象サーバと ES/1 管理マシンとの間に時差がある場合は、管理マシンとの時差を設定してください。

(10)レコード一覧(R)

本ノードで収集するレコード情報を設定してください。詳しい設定方法については、本紙「3.3. 初期設定：レコード情報の設定」をご参照ください。

(11)[OK]ボタン

各設定項目を入力し、[OK]ボタンを押下すると、メイン画面の「管理対象一覧(M)」リストに追加し、メイン画面に戻ります。

(12)[キャンセル]ボタン

管理対象ノードの追加をキャンセルし、メイン画面に戻ります。

### 3.2.7. 管理対象ノードを追加する (Tomcat の場合)

iim was collector で監視する管理対象ノードを追加します。ノードの追加は、メイン画面で[ノード追加(A)...]ボタンを押下するか、またはメイン画面の「管理対象一覧(M)」リストで右クリックし、ポップアップメニューから「ノード追加(A)...」メニューを選択することで行います。ノード追加を実行すると、以下の画面が表示されます。

レコード種別	対象MBean名	ポーリング間隔	ポーリング遅延

(1)Application Server 種別(W)

アプリケーションサーバ選択画面で選択した Application Server 種別が表示されます。

(2)接続先ホスト(H)

Tomcat が起動しているホスト名または IP アドレスを設定してください。

(3)ポート番号(N)

Tomcat の JMX 接続で使用するポート番号を設定してください。

(4)Tomcat インスタンス(I)

同一サイト/システム上に複数の Tomcat が存在する場合、任意のインスタンス名を設定してください。

(5)Tomcat ユーザ名(U)

Tomcat の管理ユーザ名を設定してください。

(6)Tomcat パスワード(P)

Tomcat の管理ユーザのパスワードを設定してください。

(7)CS シリーズで使用するサイト名(S)

ES/1 NEO CS シリーズで使用するサイト名を設定してください。本項目は省略することはできません。



(8)CS シリーズで使用するシステム名(Y)

ES/1 NEO CS シリーズで使用するシステム名を設定してください。本項目は省略することはできません。

**注意！**

サイト／システム名は全角 31 文字以内、半角 63 文字以内で指定してください。また、下記の文字は使用できません。

- ・半角片仮名
- ・¥ / : , ; \* ? " < > | .
- ・#
- ・機種依存文字 (①②③..., I II III..., (株)ドルビネ...等)
- ・JIS X 0201、JIS X 0208 (Shift\_JIS、CP932、Windows-31J) に含まれない文字、および、外字

また、Windows のファイル名、ディレクトリ名として使用できない予約名についてもサイト／システム名として使用できません。

- ・CON、PRN、AUX、CLOCK\$, NUL、COM0～COM9、LPT0～LPT9

サイト／システム名は製品間の内部キーやデータの保存フォルダ名等に使用します。  
容易に変更できませんので、将来的に変更する可能性が発生する名前は避けてください。

サイト／システム名として、推奨できない例

- ・次期システム
- ・本番システム
- ・テスト期間中システム

サイト／システム名が反映される箇所

- ・CS シリーズの入力データファイルを格納するフォルダ名
- ・CS シリーズの出力結果ファイル名の一部
- ・CS シリーズの出力結果ファイルを格納するフォルダ名
- ・CS シリーズの出力結果を Web コンテンツ化して Web ブラウザで閲覧する際のパス名
- ・CS シリーズの出力結果を Web コンテンツ化して専用データベースに登録する際の識別名

(9)管理マシンとの時差(J)

接続対象サーバと ES/1 管理マシンとの間に時差がある場合は、管理マシンとの時差を設定してください。

(10)レコード一覧(R)

本ノードで収集するレコード情報を設定してください。詳しい設定方法については、本紙「3.3. 初期設定：レコード情報の設定」をご参照ください。

(11)[OK]ボタン

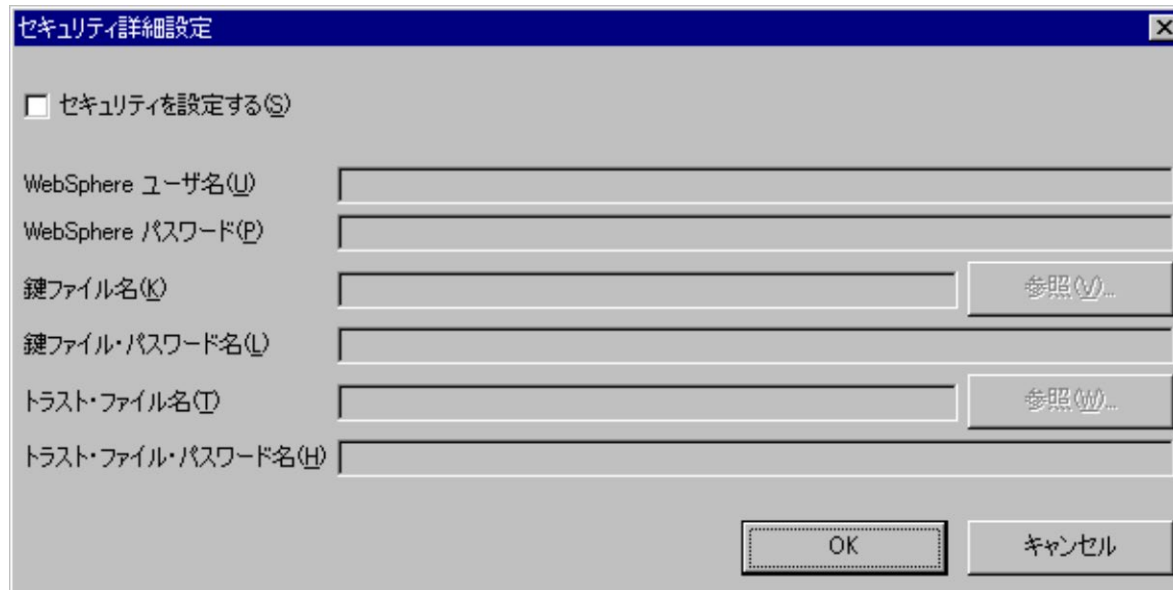
各設定項目を入力し、[OK]ボタンを押下すると、メイン画面の「管理対象一覧(M)」リストに追加し、メイン画面に戻ります。

(12)[キャンセル]ボタン

管理対象ノードの追加をキャンセルし、メイン画面に戻ります。

### 3.2.8. WebSphere セキュリティの設定

WebSphere Application Server がセキュア・モードになっている場合、セキュリティの設定が必要です。管理対象ノード設定画面で[詳細(K)]ボタンを押下すると、以下の画面が表示されます。



The image shows a Windows-style dialog box titled "セキュリティ詳細設定" (Security Detail Configuration). It contains a checkbox labeled "セキュリティを設定する(S)" (Set security (S)). Below this are several input fields: "WebSphere ユーザ名(U)" (WebSphere username), "WebSphere パスワード(P)" (WebSphere password), "鍵ファイル名(K)" (Key file name), "鍵ファイル・パスワード名(L)" (Key file password name), "トラスト・ファイル名(T)" (Trust file name), and "トラスト・ファイル・パスワード名(H)" (Trust file password name). The "鍵ファイル名(K)" and "トラスト・ファイル名(T)" fields have "参照(W)..." (Browse...) buttons next to them. At the bottom right are "OK" and "キャンセル" (Cancel) buttons.

(1)セキュリティを設定する(S)

セキュリティの設定を行います。

(2)WebSphere ユーザ名(U)

WebSphere 管理コンソールのグローバル・セキュリティ> ユーザ・レジストリーで設定されているユーザ名を指定してください。

(3)WebSphere パスワード(P)

WebSphere 管理コンソールのグローバル・セキュリティ> ユーザ・レジストリーで設定されているパスワードを指定してください。

(4)鍵ファイル名(K)

WebSphere 管理コンソールの SSL 構成レパートリーで設定されている鍵ファイル名を指定してください。

JKS タイプの鍵ファイル名を指定してください（デフォルト鍵ファイルは <WebSphere インストールフォルダ>¥AppServer¥profiles¥<プロファイル名>¥etc¥DummyClientKeyFile.jks です）。

(5)鍵ファイル・パスワード(L)

WebSphere 管理コンソールの SSL 構成レパートリーで設定されている鍵ファイル・パスワードを指定してください。デフォルトパスワードは「WebAS」です。

(6)トラスト・ファイル名(T)

WebSphere 管理コンソールの SSL 構成レパートリーで設定されているトラスト・ファイル名を指定してください。

JKS タイプのトラスト・ファイル名を指定してください（デフォルトトラスト・ファイルは <WebSphere インストールフォルダ>¥AppServer¥profiles¥<プロファイル名>¥etc¥DummyClientTrustFile.jks です）。

(7)トラスト・ファイル・パスワード名(H)

WebSphere 管理コンソールの SSL 構成レパートリーで設定されているトラスト・ファイル・パスワードを指定してください。  
デフォルトパスワードは「WebAS」です。

**注意！**

セキュリティ詳細設定画面にて、一度設定した情報を変更する場合、CS-Java configuration assistant を再起動する必要があります。

### 3.2.9. 管理対象ノードの設定情報を編集する

iim was collector で監視する管理対象ノードの設定情報を編集します。ノードの編集は、編集を行いたいノードをメイン画面の「管理対象一覧(M)」リストから選択し、[ノード編集(E)...]ボタンを押下するか、または「管理対象一覧(M)」リストで右クリックをし、ポップアップメニューから「ノード編集(E)...」メニューを選択することで行います。また、選択ノードをダブルクリックするか、ノードを選択した状態で[スペース]キーを押下しても行えます。

実行すると、以下の画面が表示されます。

管理対象ノード設定

接続先情報

Application Server種別(W) WebLogic

接続先ホスト(H) HostName1

サーバのリスポート番号(N) 7001

WebLogic ユーザ名(U) weblogic

WebLogic パスワード(P) \*\*\*\*\*

CSシリーズで使用するサイト名(S) site01

CSシリーズで使用するシステム名(Y) system01

管理マシンとの時差(J) +0時間

レコード情報

レコード一覧(R)

レコード種別	対象MBean名	ポーリング間隔	ポーリング遅延
EntityEJBRuntime	*	15	0
ExecuteQueueRuntime	*	15	0
JDBCConnectionPoolRuntime	*	15	0
JRockitRuntime	*	15	0
JVMRuntime	*	15	0
ServerRuntime	*	15	0
StatefulEJBRuntime	*	15	0
StatelessEJBRuntime	*	15	0

レコード追加(A)... レコード編集(E)... レコード削除(D)

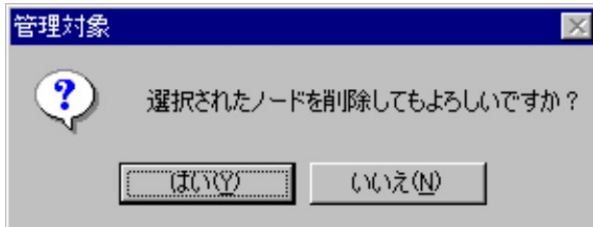
OK キャンセル

設定を変更したい項目を更新し、[OK]ボタンを押下すると、メイン画面の「管理対象一覧(M)」リストの情報を更新し、メイン画面に戻ります。

[キャンセル]ボタンを押下した場合は、更新は行わずメイン画面に戻ります。

### 3.2.10. 管理対象ノードを削除する

iim was collector で監視する管理対象ノードを削除します。ノードの削除は、削除したいノードをメイン画面の「管理対象一覧(M)」リストから選択し、[ノード削除(D)]ボタンを押下するか、または「管理対象一覧(M)」リストで右クリックをし、ポップアップメニューから「ノード削除(D)」メニューを選択することで行います。また、ノードを選択した状態で[Delete]キーを押下しても行えます。実行すると、以下の画面が表示されます。[はい(Y)]ボタンを押下した場合は、「管理対象一覧(M)」リストから削除します。[いいえ(N)]ボタンを押下した場合は、削除は行わずメイン画面に戻ります。



### 3.2.11. ノードを管理対象から除外する

以前に設定したノードを管理対象から一時除外したい場合に使用します。管理対象の除外は、除外したいノードをメイン画面の「管理対象一覧(M)」リストから選択し、[管理対象除外(X)]ボタンを押下するか、または[管理対象一覧(M)]リストで右クリックをし、ポップアップメニューから「管理対象除外(X)」メニューを選択することで行います。実行すると、選択したノードの対象項目に×が設定されます。

### 3.2.12. ノードを管理対象に設定する

管理対象から除外されたノードを管理対象に設定したい場合に使用します。管理対象の設定は、設定したいノードをメイン画面の「管理対象一覧(M)」リストから選択し、[管理対象設定(O)]ボタンを押下するか、または「管理対象一覧(M)」リストで右クリックをし、ポップアップメニューから「管理対象設定(O)」メニューを選択することで行います。

### 3.2.13. 管理対象ノードのソート表示

メイン画面の「管理対象一覧(M)」リストの各項目のカラムヘッダーをクリックすることにより、各項目を昇順／降順にソートします。

The screenshot shows the 'ES/1 NEO CS-Java configuration assistant' window. The 'Management Object List' (管理対象一覧(M)) table is highlighted with a red border. The table has four columns: '接続先' (Connection), '対象' (Target), 'サイト名' (Site Name), and 'システム名' (System Name). The first two rows are populated with data.

接続先	対象	サイト名	システム名
t3://HostName1:7001	○	site01	system01
t3://HostName2:7001	○	site01	system02

Below the table are buttons for '管理対象設定(O)', '管理対象除外(X)', 'ノード追加(A)...', 'ノード編集(E)...', 'ノード削除(D)', and 'ノードコピー(P)'. The '動作環境' (Environment) section at the bottom contains fields for '統計情報ファイル出力先フォルダ(I)' (C:\IIM\_WORK\CS\#PDBOUT) and 'ファイル切替間隔(S)' (15 分), along with '参照(V)...', '設定終了', and 'キャンセル' buttons.

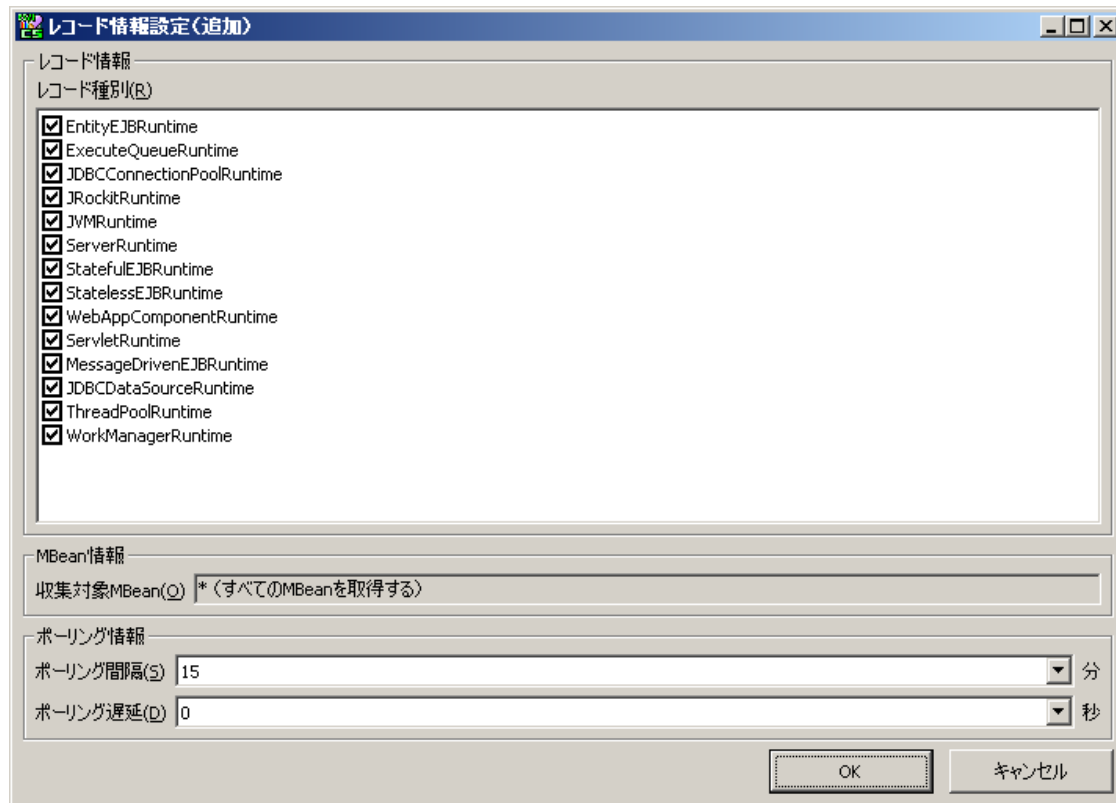
### 3.3. 初期設定：レコード情報の設定

管理対象ノードが収集対象とするレコード情報についての設定を行います。本設定はノード毎に行います。

#### 3.3.1. レコードを追加する

管理対象ノードが収集対象とするレコードを追加します。レコードの追加は、「管理対象ノード設定」画面の[レコード追加(A)...]ボタンを押下するか、または「レコード一覧(R)」リストで右クリックをし、ポップアップメニューから「レコード追加(A)...」メニューを選択することで行います。

実行すると、以下の画面が表示されます。



(1)レコード種別(R)

収集対象とするレコード種別を設定してください。リストから選択することで設定を行います。

(2)収集対象 MBean(O)

収集対象とする MBean の情報です。レコード追加時には、\*（すべての MBean を取得する）が設定されます。

(3)ポーリング間隔(S)

収集対象レコードを収集する間隔を設定してください。ポーリング間隔の範囲は 2～1440 分(1440 分 = 24 時間 = 1 日)で、ドロップダウンリストから選択することで設定を行います。初期設定値として 15 分が表示されます。

(4)ポーリング遅延(D)

収集時刻からの待機時間を設定してください。複数のレコードを収集する場合に、収集のタイミングをずらすことで、CPU の負荷を軽減させることができます。ポーリング遅延の範囲は 0～59 秒でドロップダウンリストから選択することで設定を行います。初期設定値として 0 秒が表示されます。

(5)[OK]ボタン

各設定項目を入力し、[OK]ボタンを押下すると、「管理対象ノード設定」画面の「レコード一覧(R)」リストに追加し、「管理対象ノード設定」画面に戻ります。

(6)[キャンセル]ボタン

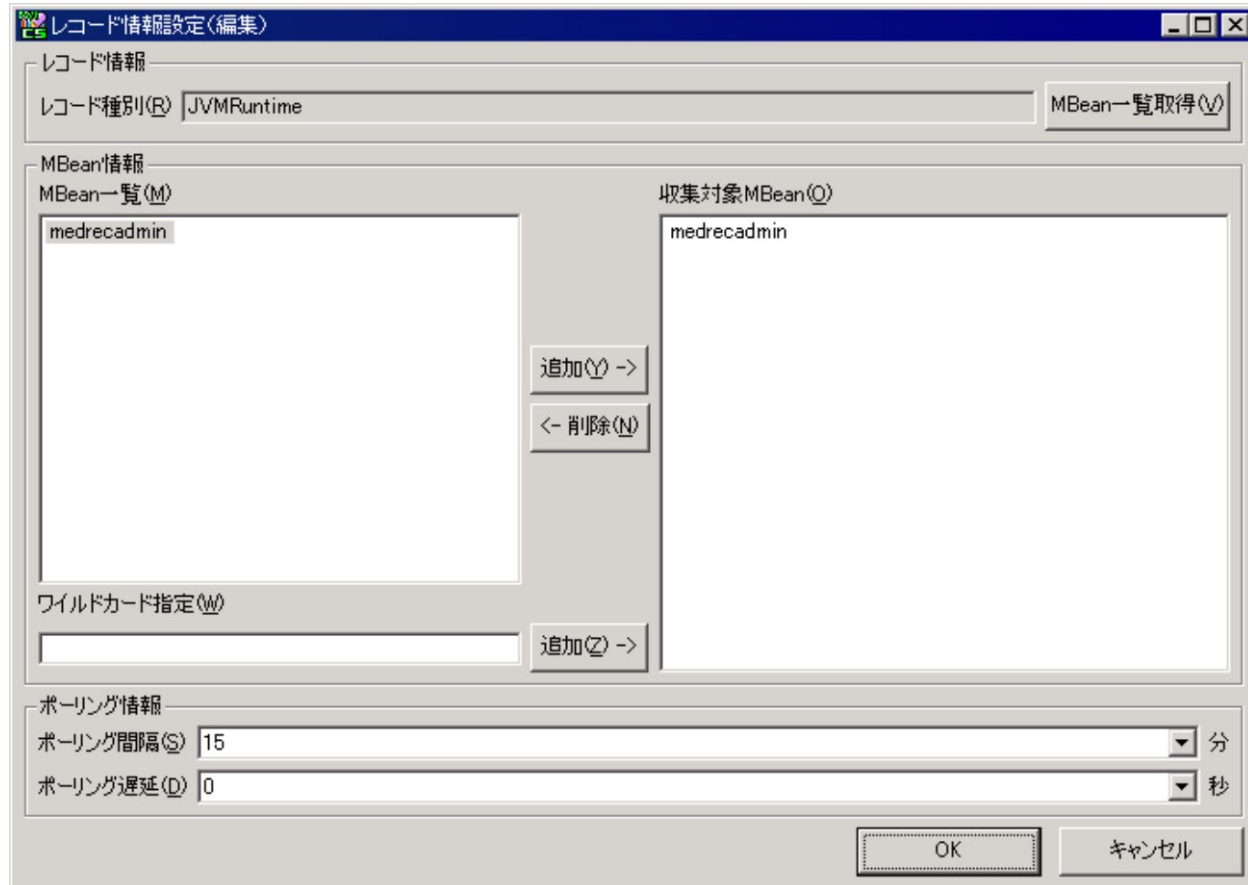
「管理対象ノード設定」画面の「レコード一覧(R)」リストには追加を行わず、「管理対象ノード設定」画面に戻ります。



### 3.3.2. レコードの設定情報を編集する

管理対象ノードが収集対象とするレコードの設定情報を編集します。レコードの編集は、編集を行いたいレコードを「管理対象ノード設定」画面の「レコード一覧(R)」リストから選択し、[レコード編集(E)...]ボタンを押下するか、または「レコード一覧(R)」リストで右クリックをし、ポップアップメニューから「レコード編集(E)...」メニューを選択することで行います。また、選択レコードをダブルクリックするか、レコードを選択した状態で[スペース]キーを押下しても行えます。

実行すると、以下の画面が表示されます。



(1)レコード種別(R)

収集対象とするレコード種別が表示されます。

(2)[MBean 一覧取得(Y)]ボタン

表示されているレコード種別に属する MBean の一覧を取得します。取得結果は「MBean 一覧(M)」リストに表示されます。

(3)MBean 一覧(M)

収集可能な MBean の一覧を表示します。このリストで表示された項目を選択し、[追加(Y) ->]ボタンを押下することで、収集対象の MBean に追加し、[<- 削除(N)]ボタンを押下することで、収集対象 Mbean から除外することもできます。

(4)ワイルドカード指定(W)

収集対象の MBean をワイルドカード指定で設定したい場合に使用します。使用できるワイルドカードは「\*（任意の長さの任意の文字）」および「?（任意の 1 文字）」です。収集する MBean 名を入力し、[追加(Z) ->]ボタンを押下することで、収集対象の MBean に追加し、[<- 削除(N)]ボタンを押下することで、収集対象 Mbean から除外することもできます。

## (5)収集対象 MBean(O)

収集対象とする MBean 名を設定してください。また、収集対象 MBean を選択した状態で右クリックし、ポップアップメニューから「収集対象から削除(D)」を選択することで削除を行えます。削除は収集対象 MBean を選択した状態で [Delete]キーを押下しても行うことができますし、[<- 削除(N)]ボタンを押下することでもできます。

## (6)ポーリング間隔(S)

収集対象レコードを収集する間隔を設定してください。ポーリング間隔の範囲は 1～1440 分(1440 分=24 時間=1 日)で、ドロップダウンリストから選択することで設定を行います。初期設定値として 15 分が表示されます。

## (7)ポーリング遅延(D)

収集時刻からの待機時間を設定してください。複数のレコードを収集する場合に、収集のタイミングをずらすことで、CPU の負荷を軽減させることができます。ポーリング遅延の範囲は 0～59 秒でドロップダウンリストから選択することで設定を行います。初期設定値として 0 秒が表示されます。

## (8)[OK]ボタン

各設定項目を入力し、[OK]ボタンを押下すると、「管理対象ノード設定」画面の「レコード一覧(R)」リストを更新し、「管理対象ノード設定」画面に戻ります。

## (9)[キャンセル]ボタン

「管理対象ノード設定」画面の「レコード一覧(R)」リストの更新を行わず、「管理対象ノード設定」画面に戻ります。

### 3.3.3. 複数レコードの共通項目を編集する

複数のレコードで同じ値を一度に設定したい場合、共通項目の編集を行うことができます。共通項目の編集は、編集を行いたい複数のレコードを「管理対象ノード設定」画面の「レコード一覧(R)」リストから選択し、[レコード編集(E)...]ボタンを押下するか、または「レコード一覧(R)」リストで右クリックをし、ポップアップメニューから「レコード編集(E)...」メニューを選択することで行います。また、レコードを選択した状態で[スペース]キーを押下しても行えます。

実行すると、以下の画面が表示されます。選択した複数レコードで設定が同じものについては、その値を表示します。選択したレコードの内、一つでも異なる値が含まれていた場合は、（各レコードで設定された xxx の値を使用する）という文字列が表示されます。

レコード情報設定(複数編集)

レコード情報  
レコード種別(R)

- ☐ EntityEJBRuntime
- ☐ ExecuteQueueRuntime
- ☐ JDBCConnectionPoolRuntime
- ☐ JRockitRuntime
- ☒ JVMRuntime
- ☒ ServerRuntime
- ☒ StatefulEJBRuntime
- ☒ StatelessEJBRuntime
- ☒ WebAppComponentRuntime
- ☐ ServletRuntime
- ☐ MessageDrivenEJBRuntime

MBean情報  
収集対象MBean(O) <編集はできません>

ポーリング情報  
ポーリング間隔(S) 15 分  
ポーリング遅延(D) <各レコードで設定されたポーリング遅延の値を使用する> 秒

OK キャンセル

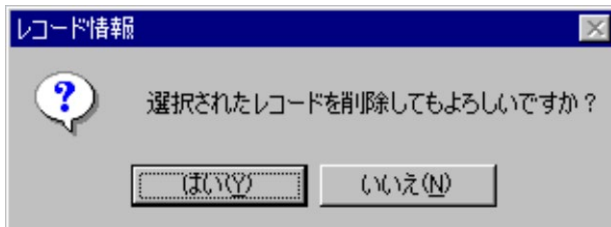
設定を変更したい項目を更新し、[OK]ボタンを押下すると、「管理対象ノード設定」画面の「レコード一覧(R)」リストの情報を更新し、「管理対象ノード設定」画面に戻ります。

[キャンセル]ボタンを押下した場合は、更新は行わず「管理対象ノード設定」画面に戻ります。

### 3.3.4. レコードを削除する

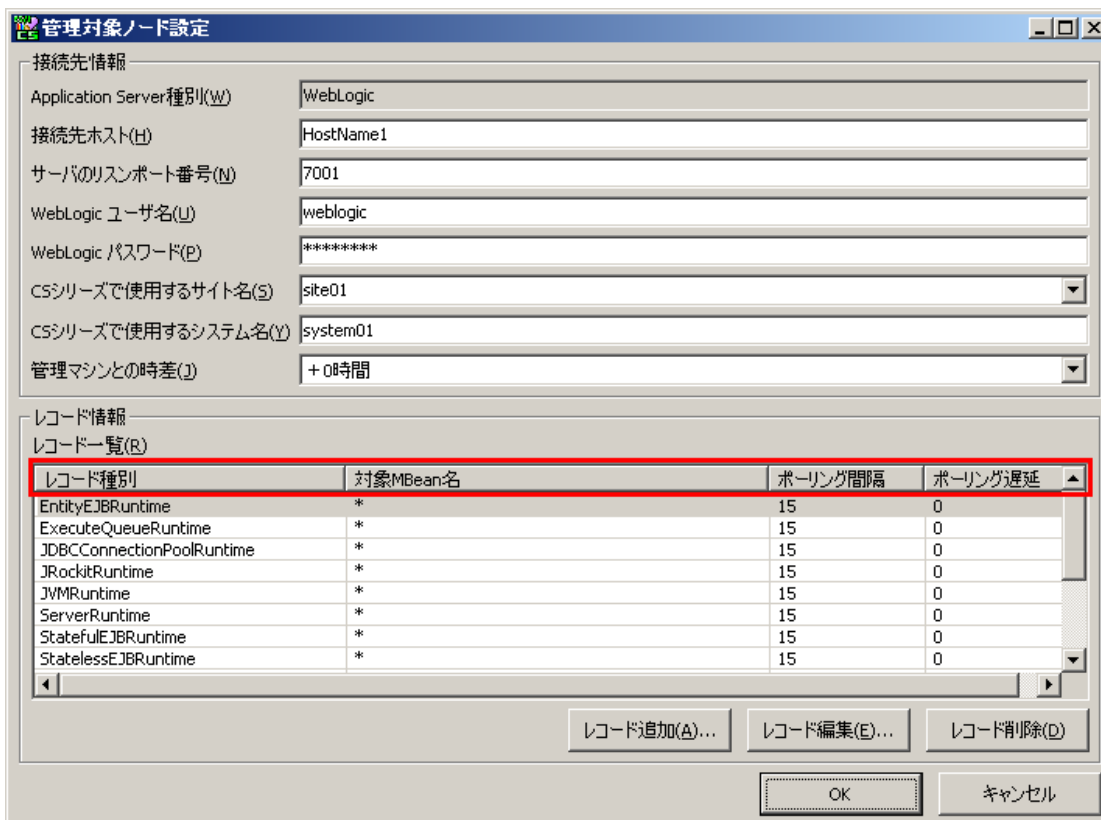
管理対象ノードが収集対象とするレコードを削除します。レコードの削除は、削除したいレコードを「管理対象ノード設定」画面の「レコード一覧(R)」リストから選択し、[レコード削除(D)]ボタンを押下するか、または「レコード一覧(R)」リストで右クリックをし、ポップアップメニューから「レコード削除(D)」メニューを選択することで行います。また、レコードが選択されている状態で[Delete]キーを押下しても行えます。

実行すると、以下の画面が表示されます。[はい(Y)]ボタンを押下した場合は、「レコード一覧(R)」リストから削除します。[いいえ(N)]ボタンを押下した場合は、削除は行わず「管理対象ノード設定」画面に戻ります。



### 3.3.5. レコードのソート表示

「管理対象ノード設定」画面の「レコード一覧(R)」リストの各項目のカラムヘッダーをクリックすることにより、各項目を昇順／降順にソートします。

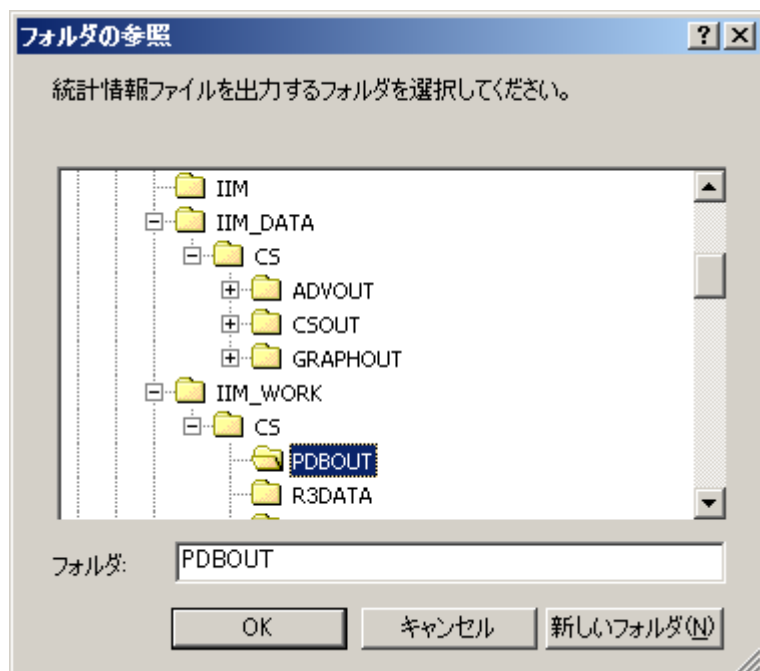


### 3.4. 初期設定：動作環境の設定

iim was collector が出力する統計情報ファイルについての設定を行います。

#### 3.4.1. 統計情報ファイル出力先フォルダ (T)

iim was collector が出力する統計情報ファイルを格納するフォルダを設定します。入力文字数は 255 バイトまでです。ES/1 NEO CS シリーズが同一マシン内にインストールされている場合は、ES/1 NEO CS シリーズの「インポートフォルダ設定」画面の「中間フラットファイル出力フォルダ(P)」のリストの先頭に設定されている値が初期設定値として表示されます。また、ES/1 NEO CS シリーズが同一マシン内にインストールされていない場合は、「C:¥IIM\_WORK¥CS¥PDBOUT」が初期設定として表示されます。メイン画面で[参照]ボタンを押下すると以下の画面を表示します。



「統計情報ファイル出力先フォルダ(T)」にフォルダ名が設定されている場合は、そのフォルダを選択している状態でフォルダの参照画面を表示します。何も設定していない場合や実際には存在しないフォルダ名が設定してある場合は「マイ ドキュメント」を選択した状態でフォルダの参照画面を表示します。

統計情報ファイルの出力先に設定したいフォルダを選択し、[OK]ボタンを押下すると、選択されたフォルダ名を「統計情報ファイル出力先フォルダ(T)」に表示し、メイン画面に戻ります。

「統計情報ファイル出力先フォルダ(T)」にはローカルマシンのフォルダを設定し、運用していただくことを推奨します。統計情報ファイル出力先に別のマシンの共有フォルダを指定したい場合には、iim was collector のプロパティでログオンアカウントの設定が必要となります。

ログオンアカウントの設定方法については、本紙「4.3. iim was collector サービスのログオンアカウントの変更」をご参照ください。

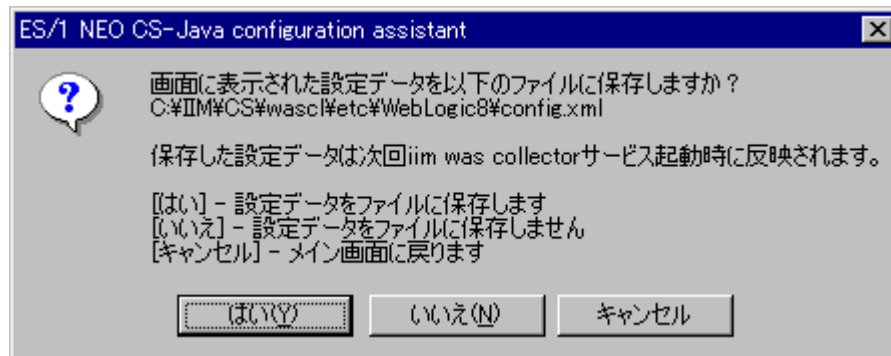
#### 3.4.2. ファイル切替間隔 (S)

統計情報ファイルの切替間隔を設定します。切替間隔の範囲は 2～1440 分(1440 分＝24 時間＝1 日)で、ドロップダウンリストから選択することで設定を行います。初期設定値として 15 分が表示されます。

### 3.5. 設定情報の保存およびサービスへの反映

各種設定が終了したら、設定情報を保存し、iim was collector に反映します。  
設定情報を保存するには、メイン画面で[設定終了]ボタンを押下することで行います。  
[キャンセル]ボタンを押下した場合は、保存や再起動は行わず、プログラムを終了します。

[設定終了]ボタンを押下すると以下の画面を表示します。[はい(Y)]ボタンを押下した場合には、各種設定をファイルに保存します。また、[いいえ(N)]ボタンを押下した場合には、保存しません。[キャンセル]ボタンを押下した場合には、メイン画面に戻ります。なお、本メッセージは保存データを更新した場合に表示されます。保存データに変更がない場合には、本メッセージは出力されず、サービスの再起動確認メッセージのみが表示されます。



続いてサービスを再起動するかどうかの確認メッセージが表示されます。[はい(Y)]ボタンを押下した場合には、iim was collector を再起動します。また、[いいえ(N)]ボタンを押下した場合には、再起動せずにプログラムを終了します。  
保存した設定データは次回サービス起動時に反映されます。[キャンセル]ボタンを押下した場合には、メイン画面に戻ります。

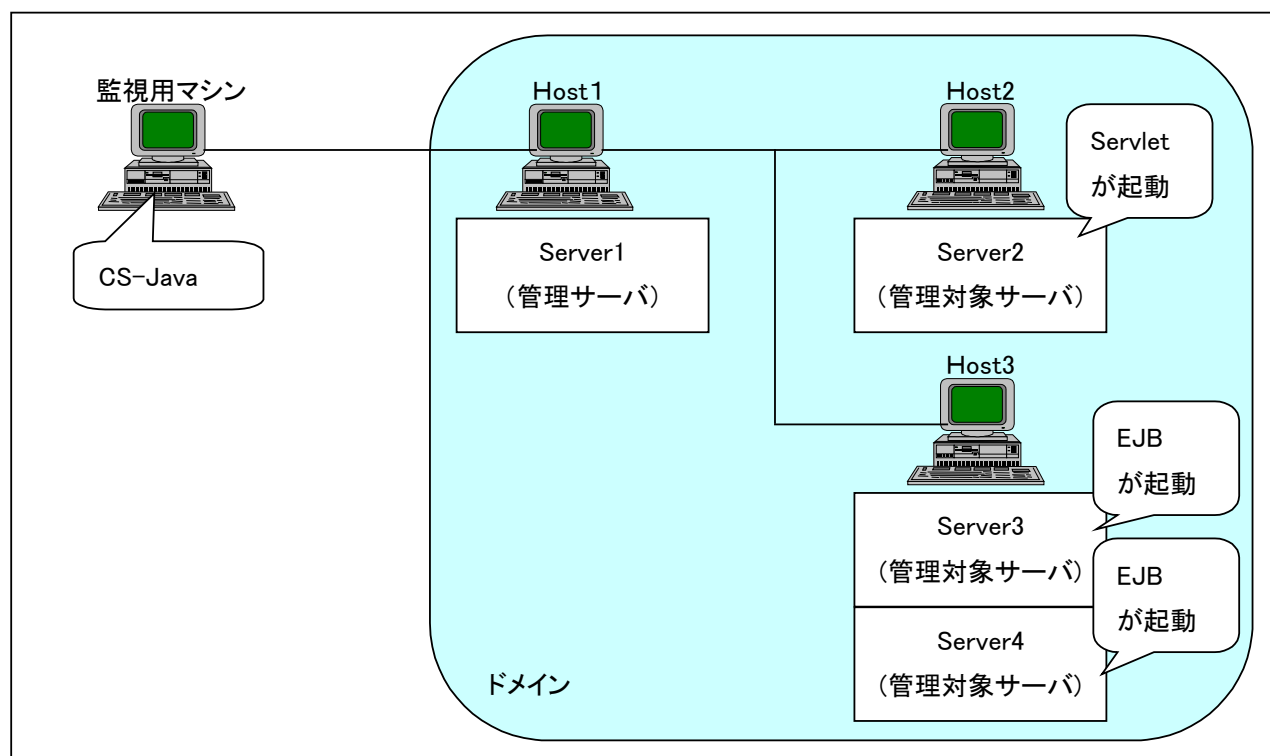


### 3.6. 複数マシン上でアプリケーションサーバを運用している場合の設定（WebLogic）

ここでは、複数マシン上に管理対象サーバを作成し、運用している場合の設定方法について記述します。

#### 3.6.1. 複数マシン運用構成

以下の図のようにドメインの中に 4 つの WebLogic サーバが起動している場合の設定方法について記述します。Host1 では管理サーバである Server1 が起動しており、管理対象サーバである Server2、Server3、Server4 を管理しています。Host2 では Server2 が起動しており、Servlet がデプロイされています。Host3 では Server3 および Server4 が起動しており、EJB がデプロイされています。



それぞれの WebLogic サーバがリスニングしているポート番号は以下であると仮定します。

WebLogic サーバ	ホスト名	ポート番号
Server1	Host1	7001
Server2	Host2	8001
Server3	Host3	9001
Server4	Host3	9002

### 3.6.2. サイト／システムの設定

マシン毎にサイト／システムを作成します。この時、CS-Java の性能情報は各 WebLogic サーバ経由で取得するため、接続先は以下ようになります。

WebLogic サーバ	接続先	サイト名	システム名
Server1	t3://Host1:7001	サイト 1	Host1
Server2	t3://Host2:8001	サイト 1	Host2
Server3	t3://Host3:9001	サイト 1	Host3
Server4	t3://Host3:9002	サイト 1	Host3

### 3.6.3. レコードの設定

マシンによって起動しているアプリケーションが異なるため、それぞれのマシンに合ったレコードを設定してください。例えば Server1 では EJB や Servlet が起動していないので、それらのレコードを設定する必要はありません。

接続先	レコード種別
t3://Host1:7001	JVMRuntime
t3://Host2:8001	JVMRuntime ServletRuntime
t3://Host3:9001	JVMRuntime EntityEJB
t3://Host3:9002	JVMRuntime EntityEJB



### 3.7. 性能情報収集前に行う管理コンソールの設定 (WebSphere)

ここでは、CS-Java for WebSphere で性能情報収集を行う前に、WebSphere 管理コンソールで行うべき設定について記述します。

#### 3.7.1. Performance Monitoring Infrastructure (PMI) の構成とランタイム設定

WebSphere 管理コンソールの「モニターおよびチューニング」の PMI 設定で、「Performance Monitoring Infrastructure (PMI) を使用可能にする」にチェックを行ってください。また、「現在モニターされている統計セット」で収集すべき項目を使用可能にしてください。

カスタムで設定すべき項目については、「5.3. WebSphere」のデータ取得値を参考にしてください。

Performance Monitoring Infrastructure (PMI) ?

**Performance Monitoring Infrastructure (PMI) > server1**

Performance Monitoring Infrastructure (PMI) の構成とランタイム設定

ランタイム 構成

**一般プロパティ**

☒ Performance Monitoring Infrastructure (PMI) を使用可能にする

☐ 順次カウンター更新を使用

**現在モニターされている統計セット**

☐ なし  
統計を使用可能にしません。

☐ 基本  
田 基本モニターを提供します (J2EE + 上位統計)

☐ 拡張  
田 拡張モニターを提供します (基本 + WebSphere コンポーネント)

☐ すべて  
田 すべての統計値が使用可能になります。

☒ カスタム  
各統計値を細かく選択して指定できます。

適用 OK リセット キャンセル

### 3.7.2. リソース用 MBean 作成の設定

WebSphere 管理コンソールの「アプリケーション」のエンタープライズ・アプリケーションの設定で、収集対象となるアプリケーションを選択し、「詳細プロパティ」の「始動の動作」を選択してください。「始動の動作」画面で「リソース用の MBean の作成」にチェックを行ってください。

The screenshot shows the 'Start Action' configuration page for an Enterprise Application in the WebSphere management console. The breadcrumb path is 'Enterprise Application > PlantsByWebSphere > Start Action'. The page title is 'Start Action' and the description states: 'このページを使用して、あるアプリケーションが他のアプリケーションおよびサーバーに比べてどの程度早く始動するのかを決定する設定を構成します。' (Use this page to configure settings that determine how much faster an application starts compared to other applications and servers).

The 'Configuration' tab is selected. Under the 'General Properties' section, the 'Start Order' is set to '1'. There are two checkboxes: 'Start application before server start' (unchecked) and 'Create resource MBean' (checked). The 'Create resource MBean' checkbox is circled in red. At the bottom, there are four buttons: 'Apply', 'OK', 'Reset', and 'Cancel'.

### 3.7.3. Java 仮想マシンの詳細設定 (WebSphere V8.5/V8.5.5/V9.0 の場合)

WebSphere 管理コンソールの「サーバ」のアプリケーションサーバの設定で、収集対象となるサーバを選択します。「Java およびプロセス管理」の「プロセス定義」>「Java 仮想マシン」の設定で、「汎用 JVM 引数」に「-agentlib:pmiJvmtiProfiler」を追記してください。

アプリケーション・サーバー

アプリケーション・サーバー > server1 > プロセス定義 > Java 仮想マシン

このページを使用して、Java(TM) 仮想マシンの詳細設定を構成します。

構成 ランタイム

---

一般プロパティ

クラスパス

初期ヒープ・サイズ

最大ヒープ・サイズ

☐ デバッグ・モード

デバッグ引数

汎用 JVM 引数

実行可能 JAR ファイル名

☐ JIT を使用不可にする

オペレーティング・システム名

追加プロパティ

■ カスタム・プロパティ

-agentlib:jdwp=transport=dt\_socket,server=y,suspend=n,address=7779

-agentlib:pmiJvmtiProfiler

windows

適用 OK リセット 取り消し

### 3.7.4. コンテナ管理パーシスタンスの設定

WebSphere 管理コンソールの「リソース」の「JDBC プロバイダー」の設定で、収集対象となる JDBC プロバイダーを選択し、「追加プロパティ」の「データ・ソース」の設定で、収集対象となるデータ・ソースを選択します。「コンテナ管理パーシスタンス (CMP) 内でこのデータ・ソースを使用する」にチェックを行ってください。

JDBC プロバイダー ページを開じる

---

**JDBC プロバイダー**

[JDBC プロバイダー](#) > [Oracle JDBC Driver](#) > [データ・ソース](#) > [Oracle JDBC Driver DataSource](#)

データ・ソースは、データベースのデータにアクセスするアプリケーションによって使用されます。データ・ソースは、特定の JDBC ドライバー・インプリメンテーション・クラスを提供する JDBC プロバイダーの下に作成されます。

構成

テスト接続

一般プロパティ

\* 有効範囲  
cells:G\_edaNod01Cell:nodes:G\_edaNod01

\* 名前  
Oracle JDBC Driver DataSource

JNDI 名  
jdbc/Oracle JDBC Driver DataSource

☒ コンテナ管理パーシスタンス (CMP) 内でこのデータ・ソースを使用する

説明  
New JDBC Datasource

カテゴリー

追加プロパティ

■ [接続プール・プロパティ](#)

■ [WebSphere Application Server データ・ソース・プロパティ](#)

■ [カスタム・プロパティ](#)

関連項目

■ [J2EE コネクター・アーキテクチャー \(J2C\) 認証データ・エントリー](#)

47

### 3.8. SSL 証明書の作成

WebSphere Application Server がセキュア・モードになっている場合、JKS タイプのトラスト・ファイル名を指定します。この際に指定するトラスト・ファイルには、SSL 認証で使用している鍵ストアから取り出した個人証明書が署名者証明書として追加されている必要があります。デフォルトのトラスト・ファイルで接続できなかった場合は、新たにトラスト・ファイルを作成する必要があります。ここでは、トラスト・ファイルの作成方法について記述します。

#### 3.8.1. 鍵ストア名の確認

SSL 認証で使用されている鍵ストア名を確認します。WebSphere 管理コンソールの「セキュリティ > SSL 証明書および鍵管理」画面を表示し、「エンドポイント・セキュリティ構成の管理」を選択してください。

SSL 証明書および鍵管理

構成

**SSL 構成**

Secure Sockets Layer (SSL) プロトコルは、リモート・サーバー・プロセスまたはエンドポイント間のセキ

旧バージョンのこの製品では、Secure Sockets Layer (SSL) 用に各エンドポイントを手動で構成する必

マイグレーション・ユーティリティを使用してセキュア環境をこのバージョンにマイグレーション済みの場合、

**構成設定**

**エンドポイント・セキュリティ構成の管理**

証明書有効期限の管理

☐ 米国連邦情報処理標準 (FIPS) アルゴリズムを使用する。注: このオプションは、一部のブラウザではデフォルトで使用可能にされない、TLS ハンドシェイク・プロトコルを必要とします

☒ SSL 構成の変更が発生したときに、動的にランタイムを更新する

適用 リセット

**関連項目**

- [SSL 構成](#)
- [動的アウトバウンド・エンドポイント SSL 構成](#)
- [鍵ストアおよび証明書](#)
- [鍵セット](#)
- [鍵セット・グループ](#)
- [鍵マネージャー](#)
- [トラスト・マネージャー](#)

次に「インバウンド > nodes」下に設定された SSL 構成名を選択してください。

**SSL 証明書および管理** ?

**SSL 証明書および管理 > エンドポイント・セキュリティ構成の管理**

選択された有効範囲 (セル、ノード、サーバー、クラスターなど) に対する Secure Sockets Layer (SSL) 構成を表示します。

ローカルトポロジー

- [-] インバウンド
  - [-] Node03Cell
    - [-] nodes
      - [-] **Node03(NodeDefaultSSLSettings,null)**
        - [-] servers
          - [-] server1
            - [SAS\\_SSL\\_SERVERAUTH\\_LISTENER\\_ADDRESS](#)
            - [CSIV2\\_SSL\\_SERVERAUTH\\_LISTENER\\_ADDRESS](#)
            - [CSIV2\\_SSL\\_MUTUALAUTH\\_LISTENER\\_ADDRESS](#)
            - [WC\\_adminhost\\_secure](#)
            - [WC\\_defaulthost\\_secure](#)
            - [SIP\\_DEFAULTHOST\\_SECURE](#)
            - [SIB\\_ENDPOINT\\_SECURE\\_ADDRESS](#)
            - [SIB\\_MQ\\_ENDPOINT\\_SECURE\\_ADDRESS](#)
            - [SOAP\\_CONNECTOR\\_ADDRESS](#)
            - [CSIV2\\_SSL\\_MUTUALAUTH\\_LISTENER\\_ADDRESS](#)
            - [CSIV2\\_SSL\\_SERVERAUTH\\_LISTENER\\_ADDRESS](#)
- [-] アウトバウンド
  - [-] Node03Cell
    - [-] nodes
      - [-] [Node03\(NodeDefaultSSLSettings,null\)](#)
        - [-] servers
          - [-] server1
            - [IIOP](#)
            - [HTTP](#)
            - [SIP](#)
            - [バス・クライアント](#)
            - [バスから WebSphere MQ への上り方向](#)
            - [バスからバス](#)
            - [LDAP](#)
            - [ADMIN\\_SOAP](#)

次に関連項目の「SSL 構成」を選択してください。

SSL 証明書および鍵管理

SSL 証明書および鍵管理 > エンドポイント・セキュリティ構成の管理 > Node03

選択された有効範囲 (セル、ノード、サーバー、クラスターなど) に対する Secure Sockets Layer (SSL) 構成を表示します。

構成

一般プロパティ

名前  
Node03

方向  
インバウンド

このエンドポイントの特定 SSL 構成

SSL 構成  
NodeDefaultSSLSettings

証明書別名リストの更新

証明書の管理

鍵ストアの証明書別名  
(なし)

適用 OK リセット 取り消し

関連項目

- SSL 構成
- 初期アップバウンド・エンドポイント SSL 構成
- 鍵ストアおよび証明書
- 鍵セット
- 鍵セット・グループ
- 鍵マネージャー
- トラスト・マネージャー

ここで表示されている「鍵ストア名」が SSL 認証で使用されている鍵ストア名ですので、名称をメモしておいてください。

SSL 証明書および鍵管理

SSL 証明書および鍵管理 > エンドポイント・セキュリティ構成の管理 > Node03 > 鍵ストアおよび証明書 > SSL 構成 > NodeDefaultSSLSettings

Secure Sockets Layer (SSL) 構成のリストを定義します。

構成

一般プロパティ

\* 名前  
NodeDefaultSSLSettings

トラストストア名  
NodeDefaultTrustStore

鍵ストア名  
NodeDefaultKeyStore

証明書別名の取得

デフォルトのサーバー証明書別名  
(なし)

デフォルトのクライアント証明書別名  
(なし)

管理の有効範囲  
(cell):Node03Cell:(node):Node03

適用 OK リセット 取り消し

追加プロパティ

- 保護の品質 (QoP) の設定
- カスタム・プロパティ

### 3.8.2. トラスト・ファイルの作成

WebSphere 管理コンソールの「SSL 証明書および鍵管理 > エンドポイント・セキュリティ構成の管理 > ノード名」画面から、関連項目の「鍵ストアおよび証明書」を選択してください。

SSL 証明書および鍵管理

SSL 証明書および鍵管理 > エンドポイント・セキュリティ構成の管理 > Node03

選択された有効範囲 (セル、ノード、サーバー、クラスターなど) に対する Secure Sockets Layer (SSL) 構成を表示します。

構成

一般プロパティ

名前  
Node03

方向  
インバウンド

このエンドポイントの特定 SSL 構成

SSL 構成  
NodeDefaultSSLSettings

証明書別名リストの更新

証明書の管理

鍵ストアの証明書別名  
(なし)

適用 OK リセット 取り消し

関連項目

- SSL 構成
- 動的アウトバウンド・エンドポイント
- SSL 構成
- **鍵ストアおよび証明書**
- 鍵セット
- 鍵セット・グループ
- 鍵マネージャー
- トラスト・マネージャー

「新規作成」を選択し、トラスト・ファイルの作成画面を表示します。

SSL 証明書および鍵管理

SSL 証明書および鍵管理 > エンドポイント・セキュリティ構成の管理 > Node03 > 鍵ストアおよび証明書

暗号方式、RACF(R)、CMS、Java(TM)、およびすべてのトラストストア・タイプを含む、鍵ストア・タイプを定義します。

設定

新規作成 削除 署名者の交換 ...

選択 名前 パス

<input type="checkbox"/>	<a href="#">NodeDefaultKeyStore</a>	\${CONFIG_ROOT}/cells/Node03Cell/nodes/Node03/key.p12
<input type="checkbox"/>	<a href="#">NodeDefaultTrustStore</a>	\${CONFIG_ROOT}/cells/Node03Cell/nodes/Node03/trust.p12
<input type="checkbox"/>	<a href="#">NodeLTPAKeys</a>	\${CONFIG_ROOT}/cells/Node03Cell/nodes/Node03/tpa.jceks

合計 3



下記の項目を入力し、「OK」を選択してください。

- ・名前                    トラスト・ファイルの名前を設定してください。
- ・パス                    トラスト・ファイルのファイル名をフルパスで設定してください。
- ・パスワード            トラスト・ファイルのパスワードを設定してください。
- ・確認パスワード        パスワードで入力した文字列を設定してください。
- ・タイプ                  JKS を選択してください。

SSL 証明書および鍵管理

SSL 証明書および鍵管理 > エンドポイント・セキュリティ構成の管理 > Node03 > トラストアおよび証明書 > 新規作成

暗号方式、RACF(R)、CMS、Java(TM)、およびすべてのトラストア・タイプを含む、鍵ストア・タイプを定義します。

構成

一般プロパティ

\* 名前  
TrustFile

\* パス  
Cell/nodes/Node03/TrustFile.jks

パスワード  
\*\*\*\*\*

確認パスワード  
\*\*\*\*\*

タイプ  
JKS

☐ 読み取り専用

☐ 始動時に初期化

☐ ハードウェア・デバイスでの暗号操作を使用可能にする

適用 OK リセット 取り消し

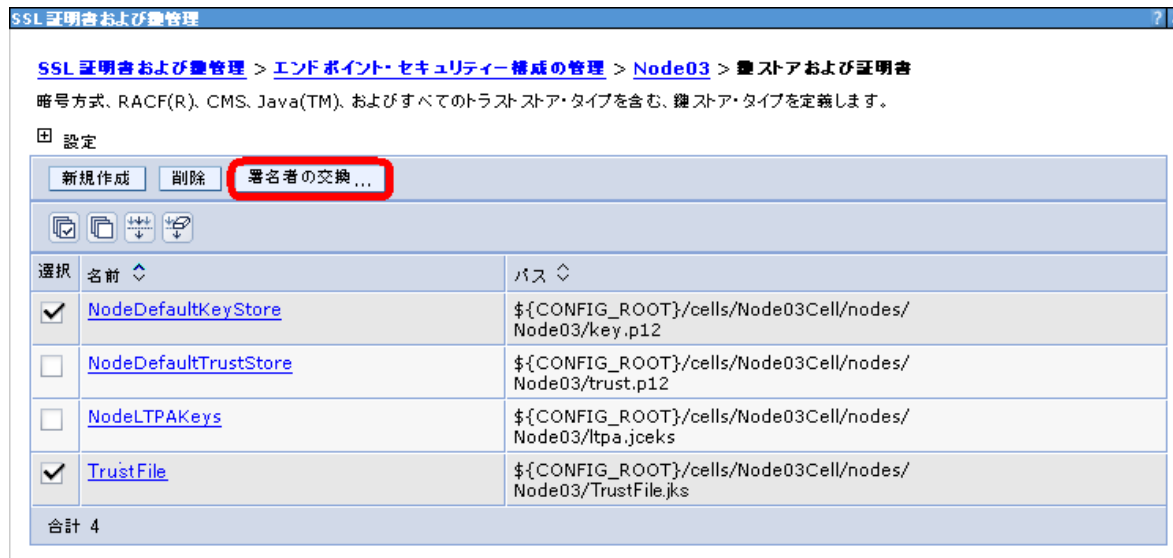
追加のプロパティは、この項目の一般プロパティが適用または保管されるまで使用できません。

追加プロパティ

- 署名者証明書
- 個人証明書
- 個人証明書要求
- カスタム・プロパティ

### 3.8.3. 署名者の交換

WebSphere 管理コンソールの「SSL 証明書および鍵管理 > エンドポイント・セキュリティ構成の管理 > ノード名 > 鍵ストアおよび証明書」画面にて、「3.8.1. 鍵ストア名の確認」でメモした鍵ストア名と「3.8.2. トラスト・ファイルの作成」で作成したトラスト・ファイルを選択します。両方にチェックがついた状態で「署名者の交換」を選択します。



選択	名前	パス
<input checked="" type="checkbox"/>	NodeDefaultKeyStore	\${CONFIG_ROOT}/cells/Node03Cell/nodes/Node03/key.p12
<input type="checkbox"/>	NodeDefaultTrustStore	\${CONFIG_ROOT}/cells/Node03Cell/nodes/Node03/trust.p12
<input type="checkbox"/>	NodeLTPAKeys	\${CONFIG_ROOT}/cells/Node03Cell/nodes/Node03/ltpa.jceks
<input checked="" type="checkbox"/>	TrustFile	\${CONFIG_ROOT}/cells/Node03Cell/nodes/Node03/TrustFile.jks

鍵ストアファイルの個人証明書を選択し、トラスト・ファイルに署名者証明書として追加してください。追加したら「OK」を選択し、設定を保存してください。



交換する署名者

NodeDefaultKeyStore 個の個人証明書

default

TrustFile 個の署名者

追加 >>

<< 除去

TrustFile 個の個人証明書

追加 >>

<< 除去

NodeDefaultKeyStore 個の署名者

適用 OK リセット 取り消し

以上で、トラスト・ファイルの作成は完了です。  
作成したトラスト・ファイルは、管理マシンにコピーし、CS-Java での接続に使用してください。

### 3.9. 性能情報収集前に行うサーバおよび管理コンソールの設定 (Interstage V11)

ここでは、CS-Java for Interstage で Interstage V11 の性能情報収集を行う前に、Interstage サーバおよび管理コンソールで行うべき設定について記述します。

#### 3.9.1. ファイアウォールの許可設定

CS-Java からの接続時に、動的に割り当てられる Interstage 側のポートに対しての接続を行っています。  
管理対象 Interstage サーバと CS-Java 管理マシンとの間にファイアウォールがある場合、すべてのポートに対し接続許可の設定をしてください。

#### 3.9.2. Hosts ファイルへの IP アドレス設定

管理対象 Interstage サーバの Hosts ファイルの先頭に、対象サーバ自身の IP アドレスを設定してください。  
Hosts ファイル編集後は、後述する Interstage Java EE DAS サービスの再起動が必要です。

```
# Do not remove the following line, or various programs
# that require network functionality will fail.

192.168.xxx.xxx      HostName localhost.localdomain localhost

127.0.0.1           HostName localhost.localdomain localhost

::1                 localhost6.localdomain6 localhost6
```

#### 3.9.3. JDBC リソースのターゲット設定確認

Interstage Java EE 管理コンソールの「リソース > JDBC > JDBC リソース」画面にて、データを収集する各 JDBC リソースに対して、「接続プール」と「ターゲット」が設定されているか確認してください。  
「接続プール」や「ターゲット」が設定されていない場合は、該当の JNDI 名をクリックし、設定を行ってください。



### 3.9.4. 監視サービスの設定

Interstage Java EE 管理コンソールの「設定 > [ターゲットの設定] > 監視」画面にて、「EJB コンテナ」と「JDBC 接続プール」の設定を「LOW」に変更し、「保存」を押下します。

この設定は、ターゲットとなるサーバ毎に行ってください。



### 3.9.5. Interstage Java EE DAS サービスの再起動

すべての設定が完了したら、Interstage Java EE DAS サービスを再起動してください。再起動は `ijdasstop` コマンド、および `ijdasstart` コマンドで行います。サービスの起動状態を確認するには、`ijdasstat` コマンドを使用してください。

```
[root]# /opt/FJSVisjee/bin/ijdasstart
ijdasstart: INFO: ijdass10000: Interstage Java EE DAS service has started.
```

### 3.10. 性能情報収集前に行うサーバの設定 (Tomcat)

ここでは、CS-Java for Tomcat で Tomcat の性能情報収集を行う前に、Tomcat サーバで行うべき設定について記述します。

#### 3.10.1. Tomcat の起動オプション設定

管理対象 Tomcat サーバの起動オプションに、下記のオプションを追加してください。

追加したオプションを有効化するため、Tomcat サービスを再起動してください。

任意のポート番号とは、CS-Java で接続を行うために、Tomcat サーバ側で Listen 状態にしておくポート番号です。他のサーバで使用しているポート番号と被らない番号を設定してください。

```
-Dcom.sun.management.jmxremote=true  
-Dcom.sun.management.jmxremote.port=<任意のポート番号>  
-Dcom.sun.management.jmxremote.authenticate=false  
-Dcom.sun.management.jmxremote.ssl=false
```

#### 注意！

Tomcat の起動シェルなどで上記オプションを追加する場合は、「CATALINA\_OPTS」の環境変数に設定するようにしてください。

また、Tomcat サーバに複数の IP アドレスが存在する場合、CS-Java で接続を行う IP アドレスを下記のオプションに追加してください。

```
-Djava.rmi.server.hostname=<IP アドレス>
```

#### 3.10.2. ファイアウォールの許可設定

CS-Java は Tomcat サーバへの接続に、3.10.1 で指定したポートの他に RMI 動的ポートも使用します。これは動的に割り当てられるため、管理対象 Tomcat サーバと CS-Java 管理マシンとの間にファイアウォールがある場合はすべてのポートに対し接続許可の設定をしてください。

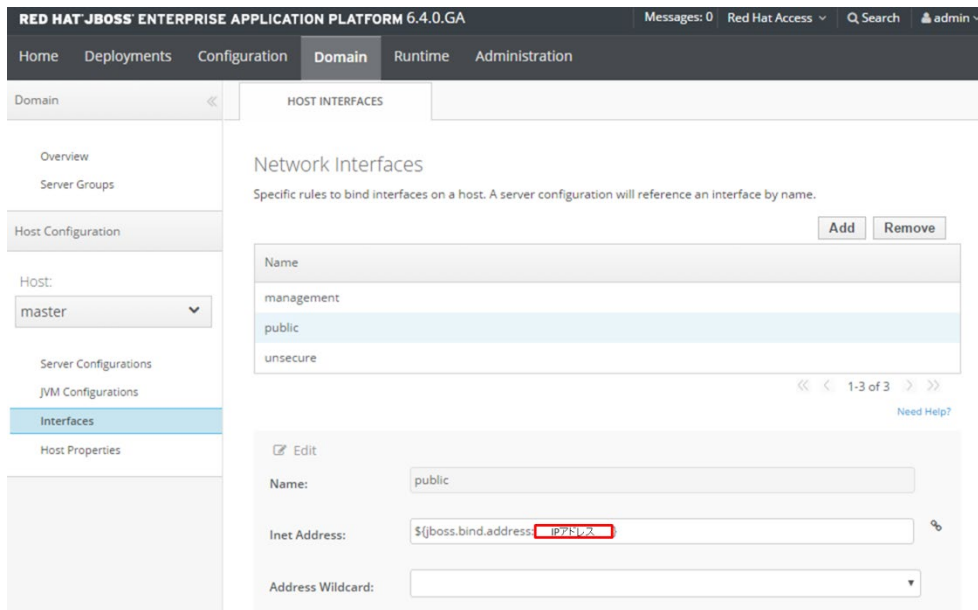
### 3.11. 性能情報収集前に行うサーバの設定 (JBoss V6.4.0)

ここでは、CS-Java for JBoss で JBoss の性能情報収集を行う前に、JBoss サーバで行うべき設定について記述します。

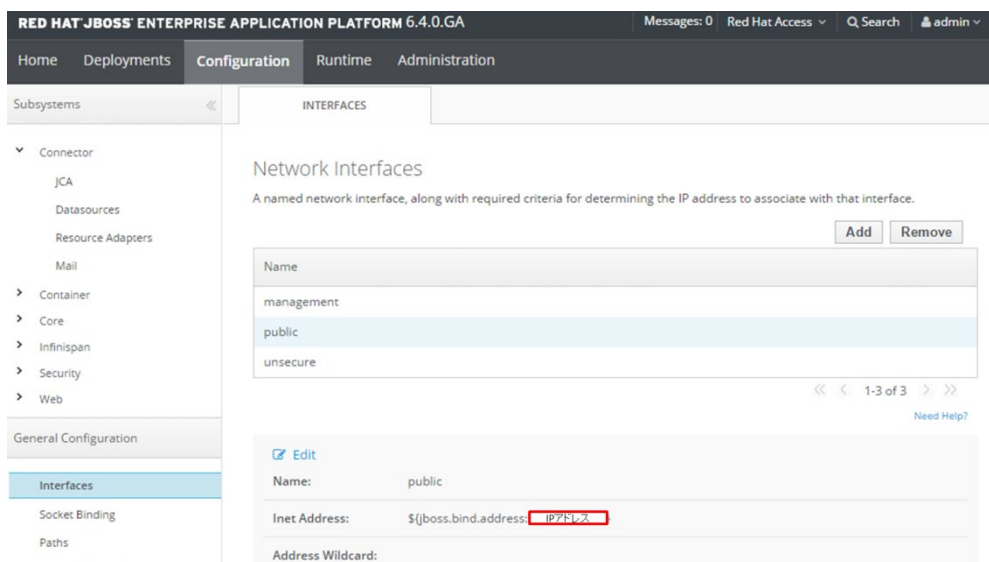
#### 3.11.1. Public Interface の IP アドレス確認

管理コンソール（デフォルトでは [http://\(JBoss サーバの IP アドレス\):9990](http://(JBoss サーバの IP アドレス):9990)）へ接続し、管理対象 JBoss サーバの Public Interface の リスポートに外向きの IP が定義されていることを確認してください。

##### (1)ドメイン環境の場合



##### (2)スタンドアロン環境の場合



### 3.11.2. リモート接続の許可設定

JBoss CLI を使用してリモート接続許可の設定を行います。設定後、設定を有効化するには JBoss アプリケーションサーバを再起動する必要があります。

#### (1)ドメイン環境の場合

管理コンソールからデータ収集対象の AP サーバが所属するドメインを確認し、ドメイン毎にリモート接続許可の設定を行います。

下例の環境では、プロファイル名「full」に「server-one」と「server-two」が属しており、別のプロファイルである「full-ha」に「server-three」が属しています。このため、下図の環境で「server-one」、「server-two」、「server-three」のデータを収集するためには、プロファイル名「full」と「full-ha」それぞれにリモート接続許可の設定が必要となります。

RED HAT JBOSS ENTERPRISE APPLICATION PLATFORM 6.4.0.GA Messages: 0 Red Hat Access Search admin

Home Deployments Configuration **Domain** Runtime Administration

Domain << TOPOLOGY EXTENSIONS Refresh

Overview  
Server Groups  
Host Configuration

Host: master

Server Configurations  
JVM Configurations  
**Interfaces**  
Host Properties

Hosts, groups and server instances  
An overview of all hosts, groups and server instances in the domain.

Hosts → Groups ↓	Host Name	Profile	Socket Binding	Ports
main-server-group	server-one	full	full-sockets	+0
	server-two	full	full-sockets	+150
other-server-group	server-three	full-ha	full-ha-sockets	+250

<< < 1-1 of 1 > >>

下はプロファイル「full-ha」に対するリモート接続許可の設定例となります。

```
#pwd
/root/EAP-6.4.0/bin
# ls
add-user.properties  init.d                run.sh
add-user.sh          jboss-cli-logging.properties  standalone.conf
appclient.conf       jboss-cli.sh          standalone.sh
appclient.sh         jboss-cli.xml         vault.sh
client               jconsole.sh           wsconsume.sh
domain.conf          jdr.sh                wsprovide.sh
domain.sh            product.conf

# sh jboss-cli.sh
You are disconnected at the moment. Type 'connect' to connect to the server or 'help' for
the list of supported commands.
[disconnected /] connect (IP アドレス)
[domain@ ( IP アドレス ) :9999/] /profile=full-ha/subsystem=jmx/remoting-
connector=jmx:add(use-management-endpoint=false)

<出力例>
/profile=full-ha/subsystem=jmx/remoting-connector=jmx:add(use-management-
endpoint=false)
{
  "outcome" => "success",
  "result" => undefined,
  "server-groups" => undefined
}
```



## (2) スタンドアロン環境の場合

下はスタンドアロン環境のリモート接続許可の設定例となります。

```
#pwd
/root/EAP-6.4.0/bin
# cd bin
# ls
add-user.properties  init.d                run.sh
add-user.sh          jboss-cli-logging.properties  standalone.conf
appclient.conf       jboss-cli.sh          standalone.sh
appclient.sh         jboss-cli.xml         vault.sh
client               jconsole.sh           wsconsume.sh
domain.conf          jdr.sh                wsprovide.sh
domain.sh            product.conf
# sh jboss-cli.sh
```

You are disconnected at the moment. Type 'connect' to connect to the server or 'help' for the list of supported commands.

[disconnected /] connect (IP アドレス)

[standalone@(IP アドレス):9999 /] /subsystem=jmx/remoting-connector=jmx/:write-attribute(name=use-management-endpoint,value=false)

<出力例>

```
{
  "outcome" => "success",
  "response-headers" => {
    "operation-requires-reload" => true,
    "process-state" => "reload-required"
  }
}
```

### 3.11.3. アプリケーションレルムユーザ追加

リモート接続に使用するアプリケーションレルムユーザを JBoss CLI を使用して作成します。  
ドメイン環境、スタンドアロン環境ともに作成方法は同じです。

```
# sh add-user.sh
```

どのようなユーザータイプを追加しますか？

- a) 管理ユーザー (mgmt-users.properties)
- b) アプリケーションユーザー (application-users.properties)

(a): b ← bを入力

追加する新規ユーザーの詳細を入力します。

レルム 'ApplicationRealm' を既存のプロパティファイルで見つかったとおりに使用しています。

ユーザー名 : es1 ← ユーザー名を入力

パスワードの要件は以下のとおりです。この制限を変更するには、add-user.properties 設定ファイルを編集します。

- パスワードは、制限された次の値のいずれかでない必要があります {root, admin, administrator}
- パスワードは 8 文字, 1 英字, 1 数字, 1 文字 (英数字以外) 文字以上である必要があります
- パスワードとユーザー名は異なるものにする必要があります

パスワード : ← パスワードを入力

パスワードを再度入力してください。 : ← パスワードを再入力

このユーザーが所属するグループはどれですか？ (カンマ区切りリストを入力してください。所属グループがない場合は空白のままにしてください。)[ ]: ← 何も入力せず Enter を実行

レルム 'ApplicationRealm' にユーザー 'es1' を追加します。

正しいですか yes/no? ← yes を再入力

### 3.11.4. データソースのモニタリング設定

管理コンソール（デフォルトでは [http://\(JBossサーバのIPアドレス\):9990](http://(JBossサーバのIPアドレス):9990)）へ接続し、データソースの `statistics-enabled` 属性を `true` に設定します。

タブ Configuration にて Datasources を選択し、タブ DATASOURCES 内の Attributes にて Edit を選択します。チェックボックス「Statistics enabled?」にチェックを入れて Save すると有効化できます。設定後に JBoss アプリケーションサーバを再起動する必要はありません。

RED HAT JBOSS® ENTERPRISE APPLICATION PLATFORM 6.4.0.GA Messages: 0 Red Hat Access Q Search admin

Home Deployments **Configuration** Runtime Administration

Subsystems << DATASOURCES XA DATASOURCES

▼ Connector  
JCA  
**Datasources**  
Resource Adapters  
Mail  
► Container  
► Core  
► Infinispan  
► Security  
► Web

General Configuration  
Interfaces  
Socket Binding  
Paths  
System Properties

JDBC Datasources  
JDBC datasource configurations.

Available Datasources

Add Remove Disable

Name	JNDI	Enabled?
ExampleDS	java:jboss/datasources/ExampleDS	✓

<< < 1-1 of 1 > >>

Attributes Connection Pool Security Properties Validation Timeouts

Need Help?

Edit

Name: ExampleDS

JNDI: java:jboss/datasources/ExampleDS

Is enabled?: true

Statistics enabled?: ☒

Datasource Class:

2.5.5.Final-redhat-1 Tools Settings

### 3.11.5. ejb3 サブシステムのモニタリング設定

JBoss CLI を使用して ejb3 サブシステムの statistics-enabled 属性を true に設定します。設定後に JBoss アプリケーションサーバを再起動する必要はありません。

#### (1)ドメイン環境の場合

次のコマンドを実行して、各プロファイルの statistics-enabled 属性の値を true に変更します。「3.11.2.リモート接続の許可設定」と同様にプロファイル毎に設定が必要です。

```
/profile=プロファイル名/subsystem=ejb3:write-attribute(name=enable-statistics,value=true)
```

<実行例> プロファイル「full-ha」に対するモニタリング設定

```
[standalone@(IP アドレス):9999 /] /profile=full-ha/subsystem=ejb3:write-attribute(name=enable-statistics,value=true)
{
    "outcome" => "success",
    "result" => undefined,
    "server-groups" => undefined
}
```

#### (2)スタンドアロン環境の場合

次のコマンド実行して、statistics-enabled 属性の値を true に変更します。

```
/subsystem=ejb3:write-attribute(name=enable-statistics,value=true)
```

<実行例>

```
[standalone@(IP アドレス):9999 /] /subsystem=ejb3:write-attribute(name=enable-statistics,value=true)
{"outcome" => "success"}
```

## 第4章 iim was collector の使用方法

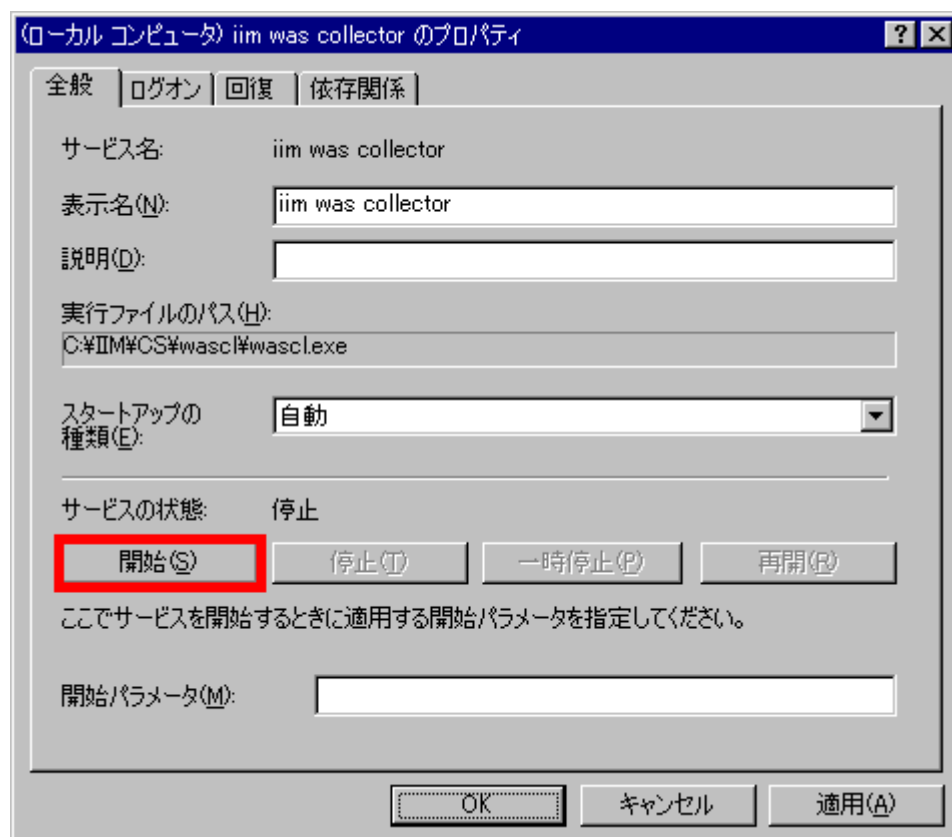
iim was collector とは、アプリケーションサーバの性能情報を収集する為のサービスです。iim was collector を起動または停止させることによって、性能情報の収集開始または停止を行うことができます。

### 4.1. 起動方法

[スタート]メニュー→「設定」→「コントロールパネル」→「管理ツール」→「サービス」から「iim was collector」を選択し、サービスを開始します。

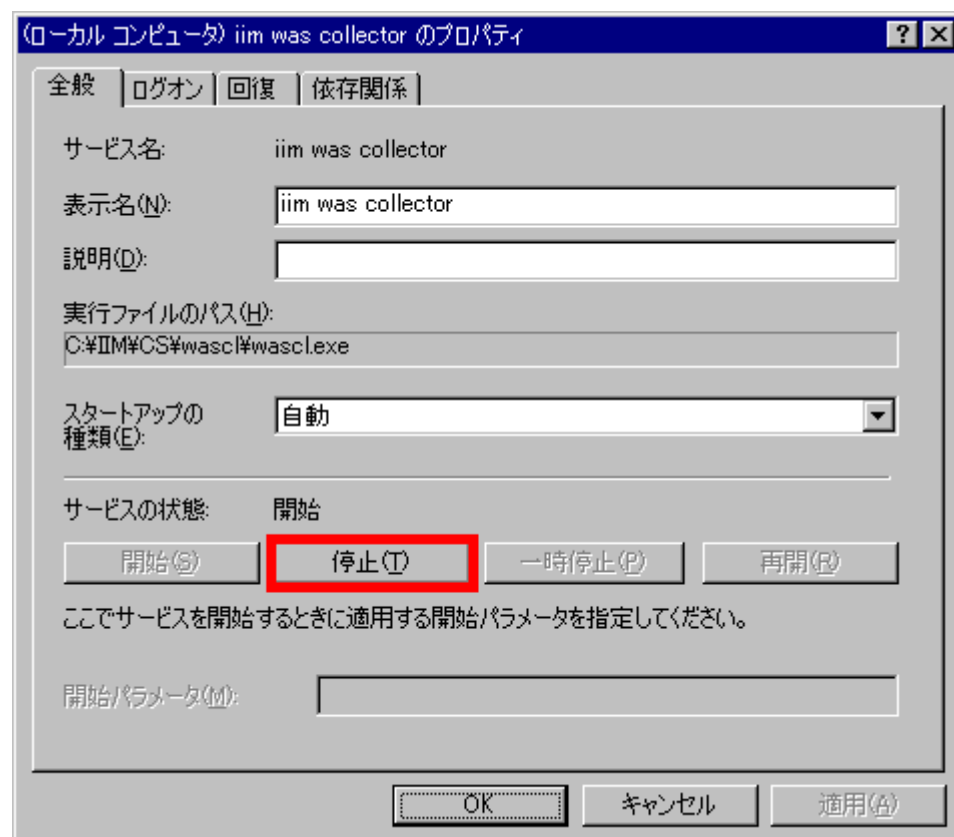
iim was collector のスタートアップの種類はデフォルトで自動に設定されているので、OS 起動時にサービスは自動で開始されます。

また、「CS-Java configuration assistant」で設定を更新した場合は、サービスが自動的に再起動されます。更新時にサービスが停止している場合も、サービスは開始されます。



## 4.2. 停止方法

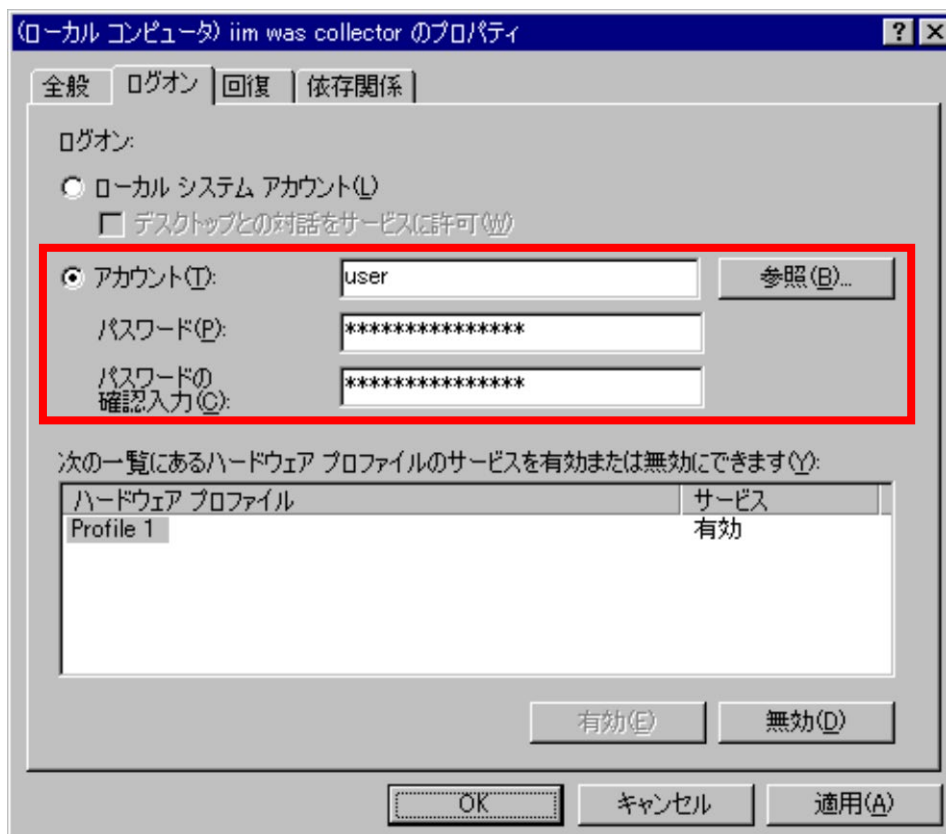
[スタート]メニュー→「設定」→「コントロールパネル」→「管理ツール」→「サービス」から「iim was collector」を選択し、サービスを停止します。継続して停止する場合は、スタートアップの種類を「手動」に設定してください。



#### 4.3. iim was collector サービスのログオンアカウントの変更

「CS-Java configuration assistant」において、「統計情報ファイル出力先フォルダ(T)」や「WebLogic ライブラリ配置フォルダ(L)」に別のマシンの共有フォルダを指定した場合、ローカル システム アカウントでのネットワーク接続が不可能な為、統計情報ファイルの出力や、性能情報の収集ができない問題が発生します。このような場合、以下の手順でログオンアカウントを変更する事によりネットワーク接続が可能となります。

- (1)「コントロールパネル」→「管理ツール」→「サービス」から「iim was collector」のプロパティを開いてください。
- (2)「ログオン」タブの[アカウント(T)]を選択し、アカウントおよび、パスワードを設定してください。



## 第5章 添付資料 A. 収集項目

ここでは、CS-Java が収集を行う項目について記述します。

### 5.1. WebLogic

接続対象のアプリケーションサーバが WebLogic である場合の収集項目について記述します。

#### 5.1.1. EntityEJB 情報

WebLogic Server MBean のうち Type コンポーネントが EntityEJBRuntime となっている MBean の情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、WebLogic Server MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明	下位階層の Type	データ取得値
INTVL	インターバル長		
DOMAIN	ドメイン名		Domain
SERVER	サーバ名		Location
NAME	EJB 名		Name
TYPE	EJB タイプ		
TRXCMTTTL	トランザクションコミット回数（累計）	EJBTranactionRuntime	TransactionsCommittedTotalCount
TRXCMT	トランザクションコミット回数 TRXCMTTTL のインターバル毎の差分値		
TRXRBKTTL	トランザクションロールバック回数（累計）	EJBTranactionRuntime	TransactionsRolledBackTotalCount
TRXRBK	トランザクションロールバック回数 TRXRBKTTL のインターバル毎の差分値		
TRXTOTTTL	トランザクションタイムアウト回数（累計）	EJBTranactionRuntime	TransactionsTimedOutTotalCount
TRXTOT	トランザクションタイムアウト回数 TRXTOTTTL のインターバル毎の差分値		
CCHBEN	キャッシュ中の Bean 数	EJBCacheRuntime	CachedBeansCurrentCount
CCHACCTTL	キャッシュアクセス回数（累計）		CacheAccessCount
CCHACC	キャッシュアクセス回数 CCHACCTTL のインターバル毎の差分値		
CCHHITTTL	キャッシュヒット回数（累計）	EJBCacheRuntime	CacheHitCount
CCHHIT	キャッシュヒット回数 CCHHITTTL のインターバル毎の差分値		
CCHACTTTL	キャッシュアクティベーション回数（累計）	EJBCacheRuntime	ActivationCount
CCHACT	キャッシュアクティベーション回数 CCHACTTTL のインターバル毎の差分値		
CCHPSVTTL	キャッシュパッシベーション回数（累計）	EJBCacheRuntime	PassivationCount
CCHPSV	キャッシュパッシベーション回数 CCHPSVTTL のインターバル毎の差分値		
PLBEAN	使用中 Bean 数	EJBPoolRuntime	BeansInUseCurrentCount
PLIDLE	アイドル Bean 数	EJBPoolRuntime	PooledBeansCurrentCount
PLWAIT	Bean インスタンスを待っているスレッド数	EJBPoolRuntime	WaiterCurrentCount



列名	説明	下位階層の Type	データ取得値
PLTOUTTTL	Bean インスタンス待ちがタイムアウトしたスレッド数 (累計)	EJBPoolRuntime	TimeoutTotalCount
PLTOUT	Bean インスタンス待ちがタイムアウトしたスレッド数 PLTOUTTTL のインターバル毎の差分値	EJBLockingRuntime	
LCKENT	ロックエントリ数		LockEntriesCurrentCount
LCKACCTTL	ロックマネージャアクセス回数 (累計)	EJBLockingRuntime	LockManagerAccessCount
LCKACC	ロックマネージャアクセス回数 LCKACCTTL のインターバル毎の差分値		
LCKWAI	現在のロック待ちスレッド数	EJBLockingRuntime	WaiterCurrentCount
LCKTOT	ロック待ちがタイムアウトしたスレッド数	EJBLockingRuntime	TimeoutTotalCount
LCKTTLTTL	ロック待ちスレッド総数 (累計)	EJBLockingRuntime	WaiterTotalCount
LCKTTL	ロック待ちスレッド総数 LCKTTLTTL のインターバル毎の差分値		
APPNAME	アプリケーション名	EJBPoolRuntime	ApplicationRuntime
COMPNAME	コンポーネント名		EJBComponentRuntime
PLACCESSTOTALCOUNTTTL	プールアクセス回数(累計)	EJBPoolRuntime	AccessTotalCount
PLACCESSTOTALCOUNT	プールアクセス回数 PLACCESSTOTALCOUNTTTL のインターバル毎の差分値		
PLMISSTOTALCOUNTTTL	プール失敗回数(累計)	EJBPoolRuntime	MissTotalCount
PLMISSTOTALCOUNT	プール失敗回数 PLMISSTOTALCOUNTTTL のインターバル毎の差分値		
PLDESTROYEDTOTALCOUNTTTL	プール破棄回数(累計)	EJBPoolRuntime	DestroyedTotalCount
PLDESTROYEDTOTALCOUNT	プール破棄回数 PLDESTROYEDTOTALCOUNTTTL のインターバル毎の差分値		
CCHMISSCOUNTTTL	キャッシュ失敗回数(累計)	EJBCacheRuntime	CacheMissCount
CCHMISSCOUNT	キャッシュ失敗回数 CCHMISSCOUNTTTL のインターバル毎の差分値		
TMTIMEOUTCOUNTTTL	タイマータイムアウト回数(累計)	EJBTimerRuntime	TimeoutCount
TMTIMEOUTCOUNT	タイマータイムアウト回数 TMTIMEOUTCOUNTTTL のインターバル毎の差分値		
TMCANCELLEDTIMERCOUNTTTL	取り消されたタイマー数(累計)	EJBTimerRuntime	CancelledTimerCount
TMCANCELLEDTIMERCOUNT	取り消されたタイマー数 TMCANCELLEDTIMERCOUNTTTL のインターバル毎の差分値		
TMACTIVETIMERCOUNT	アクティブなタイマー数	EJBTimerRuntime	ActiveTimerCount
TMDISABLEDTIMERCOUNT	無効なタイマー数	EJBTimerRuntime	DisabledTimerCount

### 5.1.2. 実行キュー情報

WebLogic Server MBean のうち Type コンポーネントが ExecuteQueueRuntime となっている MBean の情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、WebLogic Server MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明	データ取得値
INTVL	インターバル長	
DOMAIN	ドメイン名	Domain
SERVER	サーバ名	Location
NAME	実行キュー名	Name
TRDIDL	アイドルスレッド数	ExecuteThreadCurrentIdleCount
TRDTTL	トータルスレッド数	ExecuteThreadTotalCount
SVCREQTTL	処理リクエスト総数 (累計)	ServicedRequestTotalCount
SVCREQ	処理リクエスト数 SVCREQTTL のインターバル毎の差分値	
PDGREQ	待ちリクエスト数	PendingRequestCurrentCount
PDGREQOLDESTTIME	最大待ち時間(ミリ秒)	PendingRequestOldestTime

### 5.1.3. JDBC 接続プール情報

WebLogic Server MBean のうち Type コンポーネントが JDBCConnectionPoolRuntime となっている MBean の情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、WebLogic Server MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明	データ取得値
INTVL	インターバル長	
DOMAIN	ドメイン名	Domain
SERVER	サーバ名	Location
NAME	JDBC 接続プール名	Name
CONCUR	アクティブな接続数	ActiveConnectionsCurrentCount
CONDLY	接続遅延時間(ミリ秒)	ConnectionDelayTime
CONLEKTTL	接続解放漏れプロファイル数 (累計)	ConnectionLeakProfileCount
CONLEK	接続解放漏れプロファイル数 CONLEKTTL のインターバル毎の差分値	
CONTTLTTL	JDBC コネクションの総数 (累計)	ConnectionsTotalCount
CONTTL	JDBC コネクションの総数 CONTTLTTL のインターバル毎の差分値	
FALRCNTTL	再接続失敗数 (累計)	FailuresToReconnectCount
FALRCN	再接続失敗数 FALRCNTTL のインターバル毎の差分値	
LKDCONTTL	接続解放漏れコネクション数 (累計)	LeakedConnectionCount
LKDCON	接続解放漏れコネクション数 LKDCONTTL のインターバル毎の差分値	
MAXCAP	最大容量	MaxCapacity
WTCON	現在接続を待っている数	WaitingForConnectionCurrentCount
WTCONH	接続を待っていた数の最大値	WaitingForConnectionHighCount
WTSECH	最大接続待ち時間(秒)	WaitSecondsHighCount
ACTIVECONNECTIONSAVERAGECOUNT	アクティブな接続の平均数	ActiveConnectionsAverageCount
ACTIVECONNECTIONSHIGHCOUNT	アクティブな接続の最大数	ActiveConnectionsHighCount
CURRCAPACITY	現在の容量	CurrCapacity
HIGHESTNUMAVAILABLE	最大使用可能数	HighestNumAvailable
HIGHESTNUMUNAVAILABLE	最大使用不可能数	HighestNumUnavailable
NUMAVAILABLE	使用可能数	NumAvailable
NUMUNAVAILABLE	使用不可数	NumUnavailable
STATEMENTPROFILECOUNTTTL	ステートメント・プロファイル数(累計)	StatementProfileCount
STATEMENTPROFILECOUNT	ステートメント・プロファイル数 STATEMENTPROFILECOUNTTTL のイ ンターバル毎の差分値	

#### 5.1.4. JRockit 情報

WebLogic Server MBean のうち Type コンポーネントが JRockitRuntime となっている MBean の情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、WebLogic Server MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明	データ取得値
INTVL	インターバル長	
DOMAIN	ドメイン名	Domain
SERVER	サーバ名	Location
NAME	Java バイチャルマシン名	Name
TOTLPHMEM	物理メモリ総容量	TotalPhysicalMemory
FREEPHMEM	物理メモリ空き容量	FreePhysicalMemory
USEDPHMEM	物理メモリ使用容量	UsedPhysicalMemory
GCCOUNTTTL	ガベージコレクション実行回数（累計）	TotalGarbageCollectionCount
GCCOUNT	ガベージコレクション実行回数 GCCOUNTTTL のインターバル毎の差分値	
GCTIMETTTL	ガベージコレクション実行時間(ミリ秒)（累計）	TotalGarbageCollectionTime
GCTIME	ガベージコレクション実行時間(ミリ秒) GCTIMETTTL のインターバル毎の差分値	
TOTLHEAP	JRockit ヒープメモリ総容量	TotalHeap
FREEHEAP	JRockit ヒープメモリ空き容量	FreeHeap
USEDHEAP	JRockit ヒープメモリ使用容量	UsedHeap
HEAPSIZE	JVM ヒープメモリ総容量	HeapSizeCurrent
HEAPFREE	JVM ヒープメモリ空き容量	HeapFreeCurrent
HEAPSIZEMAX	最大ヒープサイズ	HeapSizeMax
HEAPFREEPERCENT	空きヒープ比率	HeapFreePercent
JAVAVENDOR	Java ベンダー	JavaVendor
JAVAVERSION	Java バージョン	JavaVersion
JAVAVMVENDOR	JavaVM ベンダー	JavaVMVendor
OSNAME	OS 名	OSName
OSVERSION	OS バージョン	OSVersion
GCALGORITHM	GC アルゴリズム	GcAlgorithm
LASTGCSTART	最後の GC の開始時刻	LastGCStart
LASTGCEND	最後の GC の終了時刻	LastGCEnd
GCHANDLESCompaction	圧縮処理フラグ	GCHandlesCompaction
CONCURRENT	コンカレントフラグ	Concurrent
GENERATIONAL	世代別フラグ	Generational
INCREMENTAL	増分フラグ	Incremental
PARALLEL	パラレルフラグ	Parallel
TOTALNUMBEROFTHREADS	スレッド総数	TotalNumberOfThreads
NUMBEROFDAEMONTHREADS	デーモンスレッド数	NumberOfDaemonThreads
NUMBEROFPROCESSORS	プロセッサ数	NumberOfProcessors
ALLPROCESSORAVERAGELOAD	全プロセッサの負荷の平均	AllProcessorsAverageLoad
JVMPROCESSORLOAD	JVM プロセッサの負荷	JvmProcessorLoad

### 5.1.5. JVM 情報

WebLogic Server MBean のうち Type コンポーネントが JVMRuntime となっている MBean の情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、WebLogic Server MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明	データ取得値
INTVL	インターバル長	
DOMAIN	ドメイン名	Domain
SERVER	サーバ名	Location
NAME	Java バイチャルマシン名	Name
HEAPSIZE	JVM ヒープメモリ総容量	HeapSizeCurrent
HEAPFREE	JVM ヒープメモリ空き容量	HeapFreeCurrent
HEAPSIZEMAX	最大ヒープサイズ	HeapSizeMax
HEAPFREEPERCENT	空きヒープ比率	HeapFreePercent
JAVAVENDOR	Java ベンダー	JavaVendor
JAVAVERSION	Java バージョン	JavaVersion
JAVAVMENDOR	JavaVM ベンダー	JavaVMVendor
OSNAME	OS 名	OSName
OSVERSION	OS バージョン	OSVersion

### 5.1.6. Server 情報

WebLogic Server MBean のうち Type コンポーネントが ServerRuntime となっている MBean の情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、WebLogic Server MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明	データ取得値
INTVL	インターバル長	
DOMAIN	ドメイン名	Domain
SERVER	サーバ名	Name
SCKTTL	オープンされたソケットの総数	SocketsOpenedTotalCount
SCKCRT	現在オープンされているソケットの数	OpenSocketsCurrentCount
LISTENADDRESS	リスンアドレス	ListenAddress
LISTENPORT	リスンポート	ListenPort
STATE	サーバの状態	State
WEBLOGICVERSION	WebLogic バージョン	WeblogicVersion

### 5.1.7. StatefulEJB 情報

WebLogic Server MBean のうち Type コンポーネントが StatefulEJBRuntime となっている MBean の情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、WebLogic Server MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明	下位階層の Type	データ取得値
INTVL	インターバル長		
DOMAIN	ドメイン名		Domain
SERVER	サーバ名		Location
NAME	EJB 名		Name
TYPE	EJB タイプ		
TRXCMTTTL	トランザクションコミット回数（累計）	EJBTransactionRuntime	TransactionsCommittedTotalCount
TRXCMT	トランザクションコミット回数 TRXCMTTTL のインターバル毎の差分値		
TRXRBKTTL	トランザクションロールバック回数（累計）	EJBTransactionRuntime	TransactionsRolledBackTotalCount
TRXRBK	トランザクションロールバック回数 TRXRBKTTL のインターバル毎の差分値		
TRXTOTTTL	トランザクションタイムアウト回数（累計）	EJBTransactionRuntime	TransactionsTimedOutTotalCount
TRXTOT	トランザクションタイムアウト回数 TRXTOTTTL のインターバル毎の差分値		
CCHBEN	キャッシュ中の Bean 数	EJBCacheRuntime	CachedBeansCurrentCount
CCHACCTTL	キャッシュアクセス回数（累計）	EJBCacheRuntime	CacheAccessCount
CCHACC	キャッシュアクセス回数 CCHACCTTL のインターバル毎の差分値		
CCHHITTTL	キャッシュヒット回数（累計）	EJBCacheRuntime	CacheHitCount
CCHHIT	キャッシュヒット回数 CCHHITTTL のインターバル毎の差分値		
CCHACTTTL	キャッシュアクティベーション回数（累計）	EJBCacheRuntime	ActivationCount
CCHACT	キャッシュアクティベーション回数 CCHACTTTL のインターバル毎の差分値		
CCHPSVTTL	キャッシュパッシベーション回数（累計）	EJBCacheRuntime	PassivationCount
CCHPSV	キャッシュパッシベーション回数 CCHPSVTTL のインターバル毎の差分値		
LCKENT	ロックエントリ数	EJBLockingRuntime	LockEntriesCurrentCount
LCKACCTTL	ロックマネージャアクセス回数（累計）	EJBLockingRuntime	LockManagerAccessCount
LCKACC	ロックマネージャアクセス回数 LCKACCTTL のインターバル毎の差分値		
LCKWAI	現在のロック待ちスレッド数	EJBLockingRuntime	WaiterCurrentCount
LCKTOT	ロック待ちがタイムアウトしたスレッド数	EJBLockingRuntime	TimeoutTotalCount
LCKTTLTTL	ロック待ちスレッド総数（累計）	EJBLockingRuntime	WaiterTotalCount
LCKTTL	ロック待ちスレッド総数 LCKTTLTTL のインターバル毎の差分値		
APPNAME	アプリケーション名		ApplicationRuntime
COMPNAME	コンポーネント名		EJBComponentRuntime

列名	説明	下位階層の Type	データ取得値
CCHMISSCOUNTTTL	キャッシュ失敗回数(累計)	EJBCacheRuntimeMBean	CacheMissCount
CCHMISSCOUNT	キャッシュ失敗回数 CCHMISSCOUNTTTL のインターバル毎の 差分値		

### 5.1.8. StatelessEJB 情報

WebLogic Server MBean のうち Type コンポーネントが StatelessEJBRuntime となっている MBean の情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、WebLogic Server MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明	下位階層の Type	データ取得値
INTVL	インターバル長		
DOMAIN	ドメイン名		Domain
SERVER	サーバ名		Location
NAME	EJB 名		Name
TYPE	EJB タイプ		
TRXCMTTTL	トランザクションコミット回数 (累計)	EJBTransactionRuntime	TransactionsCommittedTotalCount
TRXCMT	トランザクションコミット回数 TRXCMTTTL のインターバル毎の差分値		
TRXRBKTTL	トランザクションロールバック回数 (累計)	EJBTransactionRuntime	TransactionsRolledBackTotalCount
TRXRBK	トランザクションロールバック回数 TRXRBKTTL のインターバル毎の差分値		
TRXTOTTTL	トランザクションタイムアウト回数 (累計)	EJBTransactionRuntime	TransactionsTimedOutTotalCount
TRXTOT	トランザクションタイムアウト回数 TRXTOTTTL のインターバル毎の差分値		
APPNAME	アプリケーション名		ApplicationRuntime
COMPNAME	コンポーネント名		EJBComponentRuntime
PLBEAN	使用中 Bean 数	EJBPoolRuntime	BeansInUseCount(V8 以前) BeansInUseCurrentCount(V9 以降)
PLIDLE	アイドル Bean 数	EJBPoolRuntime	IdleBeansCount(V8 以前) PooledBeansCurrentCount(V9 以降)
PLWAIT	Bean インスタンスを待っているスレッド数	EJBPoolRuntime	WaiterTotalCount(V8 以前) WaiterCurrentCount(V9 以降)
PLTOUTTTL	Bean インスタンス待ちがタイムアウトしたスレッド数 (累計)	EJBPoolRuntime	TimeoutTotalCount
PLTOUT	Bean インスタンス待ちがタイムアウトしたスレッド数 PLTOUTTTL のインターバル毎の差分値		
APPNAME	アプリケーション名		ApplicationRuntime
COMPNAME	コンポーネント名		EJBComponentRuntime
PLACCESSTOTALC OUNTTTL	プールアクセス回数(累計)	EJBPoolRuntimeMBean	AccessTotalCount
PLACCESSTOTAL COUNT	プールアクセス回数 PLACCESSTOTALCOUNTTTL のインターバル毎の 差分値		

列名	説明	下位階層の Type	データ取得値
PLMISSTOTALCOUNTTTL	プール失敗回数(累計)	EJBPoolRuntimeMBean	MissTotalCount
PLMISSTOTALCOUNT	プール失敗回数 PLMISSTOTALCOUNTTTL のインターバル毎の 差分値		
PLDESTROYEDTOTALCOUNTTTL	プール破棄回数(累計)	EJBPoolRuntimeMBean	DestroyedTotalCount
PLDESTROYEDTOTALCOUNT	プール破棄回数 PLDESTROYEDTOTALCOUNTTTL のイン ターバル毎の差分値		
CCHMISSCOUNTTTL	キャッシュ失敗回数(累計)	EJBPoolRuntimeMBean	CacheMissCount
CCHMISSCOUNT	キャッシュ失敗回数 CCHMISSCOUNTTTL のインターバル毎の差 分値		
TMTIMEOUTCOUNTTTL	タイマータイムアウト回数(累計)	EJBPoolRuntimeMBean	TimeoutCount
TMTIMEOUTCOUNT	タイマータイムアウト回数 TMTIMEOUTCOUNTTTL のインターバル毎の差 分値		
TMCANCELLEDTIMERCOUNTTTL	取り消されたタイマー数(累計)	EJBPoolRuntimeMBean	CancelledTimerCount
TMCANCELLEDTIMERCOUNT	取り消されたタイマー数 TMCANCELLEDTIMERCOUNTTTL のイン ターバル毎の差分値		
TMACTIVETIMERCOUNT	アクティブなタイマー数	EJBPoolRuntimeMBean	ActiveTimerCount
TMDISABLEDTIMERCOUNT	無効なタイマー数	EJBPoolRuntimeMBean	DisabledTimerCount



### 5.1.9. Web アプリケーションコンポーネント情報

WebLogic Server MBean のうち Type コンポーネントが WebAppComponentRuntime となっている MBean の情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、WebLogic Server MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明	データ取得値
INTVL	インターバル長	
DOMAIN	ドメイン名	Domain
SERVER	サーバ名	Location
NAME	WebApp コンポーネント名	Name
SSNCUR	現在オープンされているセッションの数	OpenSessionsCurrentCount
SSNOPNTTL	オープンされたセッションの総数（累計）	SessionsOpenedTotalCount
SSNOPN	オープンされたセッションの総数 SSNOPNTTL のインターバル毎の差分値	
OPENSESSIONSHIGHCOUNT	オープンセッションの最大値	OpenSessionsHighCount

### 5.1.10. サブレット情報

WebLogic Server MBean のうち Type コンポーネントが ServletRuntime となっている MBean の情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、ServletRuntime の上位階層である WebAppComponentRuntime の Name コンポーネントの値が表示されます。選択された WebApp コンポーネント上のサブレット情報をすべて取得します。サブレット単位でのフィルタリングはできません。

列名	説明	下位階層の Type	データ取得値
INTVL	インターバル長		
DOMAIN	ドメイン名		Domain
SERVER	サーバ名		Location
WEBAPP	WebApp コンポーネント名	WebAppComponentRuntime	Name
NAME	サブレット名		ServletName
EXTTTLTTL	servlet の起動総時間（累計）		ExecutionTimeTotal
EXTTTL	servlet の起動総時間 EXTTTLTTL のインターバル毎の差分値		
INVCNTTTL	servlet が起動された総回数（累計）		InvocationTotalCount
INVCNT	servlet が起動された総回数 INVCNTTTL のインターバル毎の差分値		
RELOADTOTALCOUNTTTL	再ロード数(累計)		ReloadTotalCount
RELOADTOTALCOUNT	再ロード数 RELOADTOTALCOUNTTTL のインターバル 毎の差分値		
POOLMAXCAPACITY	プール最大容量		PoolMaxCapacity
EXECUTIONTIMEHIGH	最長実行時間(ミリ秒)		ExecutionTimeHigh
EXECUTIONTIMELOW	最短実行時間(ミリ秒)		ExecutionTimeLow
EXECUTIONTIMEAVERAGE	平均実行時間(ミリ秒)		ExecutionTimeAverage

### 5.1.11. MessageDrivenEJB 情報

WebLogic Server MBean のうち Type コンポーネントが MessageDrivenEJB となっている MBean の情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、WebLogic Server MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明	下位階層の Type	データ取得値
INTVL	インターバル長		
DOMAIN	ドメイン名		Domain
SERVER	サーバ名		Location
NAME	EJB 名		Name
TYPE	EJB タイプ		
TRXCMTTTL	トランザクションコミット回数 (累計)	EJBTransactionRuntime	TransactionsCommittedTotalCount
TRXCMT	トランザクションコミット回数 TRXCMTTTL のインターバル毎の差分値		
TRXRBKTTL	トランザクションロールバック回数 (累計)	EJBTransactionRuntime	TransactionsRolledBackTotalCount
TRXRBK	トランザクションロールバック回数 TRXRBKTTL のインターバル毎の差分値		
TRXTOTTTL	トランザクションタイムアウト回数 (累計)	EJBTransactionRuntime	TransactionsTimedOutTotalCount
TRXTOT	トランザクションタイムアウト回数 TRXTOTTTL のインターバル毎の差分値		
PLBEAN	使用中 Bean 数	EJBPoolRuntime	BeansInUseCount(V8 以前) BeansInUseCurrentCount(V9 以降)
PLIDLE	アイドル Bean 数	EJBPoolRuntime	IdleBeansCount(V8 以前) PooledBeansCurrentCount(V9 以降)
PLWAIT	Bean インスタンスを待っているスレッド数	EJBPoolRuntime	WaiterTotalCount(V8 以前) WaiterCurrentCount(V9 以降)
PLTOUTTTL	Bean インスタンス待ちがタイムアウトしたスレッド数 (累計)	EJBPoolRuntime	TimeoutTotalCount
PLTOUT	Bean インスタンス待ちがタイムアウトしたスレッド数 PLTOUTTTL のインターバル毎の差分値		
APPNAME	アプリケーション名		ApplicationRuntime
COMPNAME	コンポーネント名		EJBComponentRuntime
PLACCESSTOTALCOUNTTTL	プールアクセス回数 (累計)	EJBPoolRuntimeMBean	AccessTotalCount
PLACCESSTOTALCOUNT	プールアクセス回数 PLACCESSTOTALCOUNTTTL のインターバル毎の差分値		
PLMISSTOTALCOUNTTTL	プール失敗回数 (累計)	EJBPoolRuntimeMBean	MissTotalCount
PLMISSTOTALCOUNT	プール失敗回数 PLMISSTOTALCOUNTTTL のインターバル毎の差分値		

列名	説明	下位階層の Type	データ取得値
PLDESTROYEDTOTALCOUNTTTL	プール破棄回数(累計)	EJBPoolRuntimeMBean	DestroyedTotalCount
PLDESTROYEDTOTALCOUNT	プール破棄回数 PLDESTROYEDTOTALCOUNTTTL のインターバル毎の差分値	EJBPoolRuntimeMBean	
TMTIMEOUTCOUNTTTL	タイマータイムアウト回数(累計)		TimeoutCount
TMTIMEOUTCOUNT	タイマータイムアウト回数 TMTIMEOUTCOUNTTTL のインターバル毎の差分値		
TMCANCELLEDTIMERCOUNTTTL	取り消されたタイマー数(累計)	EJBTimerRuntimeMBean	CancelledTimerCount
TMCANCELLEDTIMERCOUNT	取り消されたタイマー数 TMCANCELLEDTIMERCOUNTTTL のインターバル毎の差分値		
TMACTIVETIMERCOUNT	アクティブなタイマー数	EJBTimerRuntimeMBean	ActiveTimerCount
TMDISABLEDTIMERCOUNT	無効なタイマー数	EJBTimerRuntimeMBean	DisabledTimerCount
MSGCONNECTIONSTATUS	接続状態	MessageDrivenEJBRuntimeMBean	ConnectionStatus
MSGPROCESSEDMESSAGECOUNTTTL	処理済みメッセージ数(累計)	MessageDrivenEJBRuntimeMBean	ProcessedMessageCount
MSGPROCESSEDMESSAGECOUNT	処理済みメッセージ数 MSGPROCESSEDMESSAGECOUNTTTL のインターバル毎の差分値		
MSGSPENDCOUNTTTL	中断数(累計)	MessageDrivenEJBRuntimeMBean	SuspendCount
MSGSPENDCOUNT	中断数 MSGSPENDCOUNTTTL のインターバル毎の差分値		
MSGJMSCONNECTIONALIVE	有効フラグ	MessageDrivenEJBRuntimeMBean	JMSConnectionAlive

### 5.1.12. JDBC Data Source 情報

WebLogic Server MBean のうち Type コンポーネントが JDBCDataSourceRuntime となっている MBean の情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、WebLogic Server MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

WebLogic V8 以前の環境では、このレコード情報は収集できません。

列名	説明	データ取得値
INTVL	インターバル長	
DOMAIN	ドメイン名	Domain
SERVER	サーバ名	Location
NAME	JDBCDataSource 名	Name
CONCUR	アクティブな接続数	ActiveConnectionsCurrentCount
CONDLY	接続遅延時間(ミリ秒)	ConnectionDelayTime
CONTTLTTL	JDBC コネクションの総数(累計)	ConnectionsTotalCount
CONTTL	JDBC コネクションの増加分 CONTTLTTL のインターバル毎の差分値	
FALRCNTTL	再接続失敗数(累計)	FailuresToReconnectCount
FALRCN	再接続失敗数 FALRCNTTL のインターバル毎の差分値	
LKDCONTTL	接続解放漏れコネクション数(累計)	LeakedConnectionCount
LKDCON	接続解放漏れコネクション数 LKDCONTTL のインターバル毎の差分値	
WTCON	現在接続を待っている数	WaitingForConnectionCurrentCount
WTCONH	接続を待っていた数の最大値	WaitingForConnectionHighCount
WTSECH	最大接続待ち時間(秒)	WaitSecondsHighCount
ACTIVECONNECTIONSAVERAGE COUNT	アクティブな接続の平均数	ActiveConnectionsAverageCount
ACTIVECONNECTIONSHIGHCOUNT	アクティブな接続の最大数	ActiveConnectionsHighCount
CURRCAPACITY	現在の容量	CurrCapacity
HIGHESTNUMAVAILABLE	最大使用可能数	HighestNumAvailable
HIGHESTNUMUNAVAILABLE	最大使用不可能数	HighestNumUnavailable
NUMAVAILABLE	使用可能数	NumAvailable
NUMUNAVAILABLE	使用不可能数	NumUnavailable
CURRCAPACITYHIGHCOUNT	現在の最大容量	CurrCapacityHighCount
ENABLED	データソース有効フラグ	Enabled
FAILEDRESERVEREQUESTCOUNTTTL	予約に失敗した要求数(累計)	FailedReserveRequestCount
FAILEDRESERVEREQUESTCOUNT	予約に失敗した要求数 FAILEDRESERVEREQUESTCOUNTTTL のインターバル毎の差分値	
PREPSTMTCACHEACCESSCOUNTTTL	プリパードステートメントキャッシュのアクセス数(累計)	PrepStmtCacheAccessCount
PREPSTMTCACHEACCESSCOUNT	プリパードステートメントキャッシュのアクセス数 PREPSTMTCACHEACCESSCOUNTTTL のインターバル毎の差分値	PREPSTMTCACHEACCESSCOUNT
PREPSTMTCACHEADDCOUNTTTL	プリパードステートメントキャッシュの追加数(累計)	PrepStmtCacheAddCount

列名	説明	データ取得値
PREPSTMTCACHEADDCOUNT	プリペアドステートメントキャッシュの追加数 PREPSTMTCACHEADDCOUNTTTL のインターバル毎の差分値	
PREPSTMTCACHEDELETECOUNTTTL	プリペアドステートメントキャッシュの削除数(累計)	PrepStmtCacheDeleteCount
PREPSTMTCACHEDELETECOUNTTTL	プリペアドステートメントキャッシュの削除数(累計)	PrepStmtCacheDeleteCount
PREPSTMTCACHEDELETECOUNT	プリペアドステートメントキャッシュの削除数 PREPSTMTCACHEDELETECOUNTTTL のインターバル毎の差分値	
PREPSTMTCACHEHITCOUNTTTL	プリペアドステートメントキャッシュのヒット数(累計)	PrepStmtCacheHitCount
PREPSTMTCACHEHITCOUNT	プリペアドステートメントキャッシュのヒット数 PREPSTMTCACHEHITCOUNTTTL のインターバル毎の差分値	
PREPSTMTCACHEMISSCOUNTTTL	プリペアドステートメントキャッシュの失敗数(累計)	PrepStmtCacheMissCount
PREPSTMTCACHEMISSCOUNT	プリペアドステートメントキャッシュの失敗数 PREPSTMTCACHEMISSCOUNTTTL のインターバル毎の差分値	
RESERVEREQUESTCOUNTTTL	予約された要求数(累計)	ReserveRequestCount
RESERVEREQUESTCOUNT	予約された要求数 RESERVEREQUESTCOUNTTTL のインターバル毎の差分値	
STATE	データソースの状態	State
VERSIONJDBCDRIVER	JDBC ドライバ名	VersionJDBCDriver
WAITINGFORCONNECTIONFAILURETOTALTTL	接続待機の失敗数(累計)	WaitingForConnectionFailureTotal
WAITINGFORCONNECTIONFAILURETOTAL	接続待機の失敗数 WAITINGFORCONNECTIONFAILURETOTAL のインターバル毎の差分値	
WAITINGFORCONNECTIONSUCCESSTOTALTTL	接続待機の成功数(累計)	WaitingForConnectionSuccessTotal
WAITINGFORCONNECTIONSUCCESSTOTAL	接続待機の成功数 WAITINGFORCONNECTIONSUCCESSTOTALTTL のインターバル毎の差分値	
WAITINGFORCONNECTIONTOTALTTL	接続待機数(累計)	WaitingForConnectionTotal
WAITINGFORCONNECTIONTOTAL	接続待機数 WAITINGFORCONNECTIONTOTALTTL のインターバル毎の差分値	

### 5.1.13. ThreadPool 情報

WebLogic Server MBean のうち Type コンポーネントが ThreadPoolRuntime となっている MBean の情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、WebLogic Server MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

WebLogic V8 以前の環境では、このレコード情報は収集できません。

列名	説明	データ取得値
INTVL	インターバル長	
DOMAIN	ドメイン名	Domain
SERVER	サーバ名	Location
NAME	ThreadPool 名	Name
EXECUTETHREADIDLECOUNT	アイドルスレッド数	ExecuteThreadIdleCount
EXECUTETHREADTOTALCOUNT	トータルスレッド数	ExecuteThreadTotalCount
HOGGINGTHREADCOUNT	占有スレッド数	HoggingThreadCount
STANDBYTHREADCOUNT	待機スレッド数	StandbyThreadCount
COMPLETEDREQUESTCOUNTTTL	処理リクエスト数(累計)	CompletedRequestCount
COMPLETEDREQUESTCOUNT	処理リクエスト数 COMPLETEDREQUESTCOUNTTTL のインターバル毎の差分値	
PENDINGUSERREQUESTCOUNT	保留ユーザ要求数	PendingUserRequestCount
QUEUELENGTH	保留要求数	QueueLength
THROUGHPUT	リクエストのスループット	Throughput

#### 5.1.14. WorkManager 情報

WebLogic Server MBean のうち Type コンポーネントが WorkManagerRuntime となっている MBean の情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、WebLogic Server MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

WebLogic V8 以前の環境では、このレコード情報は収集できません。

列名	説明	下位階層の Type	データ取得値
INTVL	インターバル長		
DOMAIN	ドメイン名		Domain
SERVER	サーバ名		Location
APPLICATION	アプリケーション名		Application
NAME	WorkManager 名		Name
PENDINGREQUEST	キューに待機中のリクエスト数		PendingRequests
COMPLETEDREQUESTSTTL	処理の完了したリクエスト数(累計)		CompletedRequests
COMPLETEDREQUESTS	処理の完了したリクエスト数 COMPLETEDREQUESTSTTL のインターバル毎の差分値		
STUCKTHREADCOUNT	スタックスレッドの数		StuckThreadCount
DEFERREDREQUESTS	実行スレッドを与えられていないリクエスト数	MaxThreadsConstraintRuntime	DeferredRequests
EXECUTINGREQUESTS	現在実行中のリクエスト数	MaxThreadsConstraintRuntime	ExecutingRequests
CURRENTWAITTIME	現在の待機時間(ミリ秒)	MinThreadsConstraintRuntime	CurrentWaitTime
MAXWAITTIME	最大待機時間(ミリ秒)	MinThreadsConstraintRuntime	MaxWaitTime
MUSTRUNCOUNT	実行する必要のあるリクエスト数	MinThreadsConstraintRuntime	MustRunCount
OUTOFORDEREXECUTIONCOUNT	順番を無視して実行する必要のあるリクエスト数	MinThreadsConstraintRuntime	OutOfOrderExecutionCount

## 5.2. Interstage

接続対象のアプリケーションサーバが Interstage である場合の収集項目について記述します。

### 5.2.1. EntityEJB 情報

Interstage Server MBean のうち Type コンポーネントが EntityBean となっている MBean の情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、Interstage Server MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明
INTVL	インターバル長
IJSERVER	ワークユニット名
EJBNAME	EJB 名
EJBTYPE	EJB タイプ
CREATETTL	作成回数(累計)
CREATE	作成回数 CREATETTL のインターバル毎の差分値
REMOVETTL	削除回数(累計)
REMOVE	削除回数 REMOVETTL のインターバル毎の差分値
READY	準備完了インスタンス数
POOLED	プール中のインスタンス数
PASSIVATE(*1)	Passive 状態のインスタンス数
PASSIVATETRNTTL(*1)	Passive 発生トランザクション数(累計)
PASSIVATETR(*1)	Passive 発生トランザクション数 PASSIVATETRNTTL のインターバル毎の差分値
ACCTRNTTL(*1)	Bean アクセストランザクション数(累計)
ACCTR(*1)	Bean アクセストランザクション数 ACCTRNTTL のインターバル毎の差分値
ONETRIS(*1)	1 トランザクションあたりの使用インスタンス数

(\*1)Interstage V10 以降の環境では、このフィールド情報は収集できません。



### 5.2.2. JDBC Pool 情報

Interstage Server MBean のうち Type コンポーネントが JDBCDataSource となっている MBean の情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、Interstage Server MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明
INTVL	インターバル長
IJSERVER	ワークユニット名
DATASOURCE	JDBC データソース名
WAITMTTL(*1)	コネクション待ち時間(ミリ秒)(累計)
WAITTM(*1)	コネクション待ち時間(ミリ秒) WAITMTTL のインターバル毎の差分値
WAITCNTTL(*1)	コネクション待ち回数(累計)
WAITCNT(*1)	コネクション待ち回数 WAITCNTTL のインターバル毎の差分値
USEMTTL(*1)	コネクション使用時間(ミリ秒)(累計)
USEM(*1)	コネクション使用時間(ミリ秒) USEMTTL のインターバル毎の差分値
USECNTTL(*1)	コネクション使用回数(累計)
USECNT(*1)	コネクション使用回数 USECNTTL のインターバル毎の差分値
CREATETTL	コネクション生成数(累計)
CREATE	コネクション生成数 CREATETTL のインターバル毎の差分値
CLOSETTL	コネクションクローズ回数(累計)
CLOSE	コネクションクローズ回数 CLOSETTL のインターバル毎の差分値
POOLSZ(*1)	プール可能な物理コネクション数の上限値
FREEPOOLSZ	空きコネクション数
WAITTRD	コネクション待ちスレッド数
INUSECON	使用中コネクション数
APLCONTTL(*1)	アプリケーションのコネクション取得回数(累計)
APLCON(*1)	アプリケーションのコネクション取得回数 APLCONTTL のインターバル毎の差分値
APLCLSTTL(*1)	アプリケーションのコネクションクローズ回数(累計)
APLCLS(*1)	アプリケーションのコネクションクローズ回数 APLCLSTTL のインターバル毎の差分値
PHYCONTMTTL(*1)	物理コネクション確立時間(ミリ秒)(累計)
PHYCONTM(*1)	物理コネクション確立時間(ミリ秒) PHYCONTMTTL のインターバル毎の差分値
PHYCONTTL(*1)	物理コネクション確立回数(累計)
PHYCON(*1)	物理コネクション確立回数 PHYCONTTL のインターバル毎の差分値
IDLTMOUOTTL(*1)	アイドルタイムアウトによるクローズ回数(累計)

列名	説明
IDLTMOUT(*1)	アイドルタイムアウトによるクローズ回数 IDLTMOUTTTTL のインターバル毎の差分値
UNUSECLSTTL	例外発生によるクローズ回数(累計)
UNUSECLS	例外発生によるクローズ回数 UNUSECLSTTL のインターバル毎の差分値
CONTMOUTTTTL	コネクションタイムアウト回数(累計)
CONTMOUT	コネクションタイムアウト回数 CONTMOUTTTTL のインターバル毎の差分値
PHYCONS(*1)	現在プールしている物理コネクション数

(\*1)Interstage V10 以降の環境では、このフィールド情報は収集できません。

### 5.2.3. JVM 情報

Interstage Server MBean のうち Type コンポーネントが JVM となっている MBean の情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、Interstage Server MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明
INTVL	インターバル長
IJSERVER	ワークユニット名
PROCID	プロセス ID
HP_SIZE	Heap 領域の使用量
HP_LOW_WM	起動時からの Heap 領域の最小使用量
HP_HIGH_WM	起動時からの Heap 領域の最大使用量
HP_LOW_B	Heap 領域の初期メモリ割り当て量
HP_UP_B	Heap 領域の最大メモリ割り当て量
PM_SIZE	Perm 領域の使用量
PM_LOW_WM	起動時からの Perm 領域の最小使用量
PM_HIGH_WM	起動時からの Perm 領域の最大使用量
PM_LOW_L	Perm 領域の初期メモリ割り当て量
PM_UP_L	Perm 領域の最大メモリ割り当て量
FLGCCNTTTTL	ガベージコレクション発生回数(累計)
FLGCCNT	ガベージコレクション発生回数 FLGCCNTTTTL のインターバル毎の差分値
FLGCTIMETTL	ガベージコレクション処理時間(ミリ秒)(累計)
FLGCTIME	ガベージコレクション処理時間(ミリ秒) FLGCTIMETTL のインターバル毎の差分値

#### 5.2.4. MessageDrivenEJB 情報

Interstage Server MBean のうち Type コンポーネントが MessageDrivenBean となっている MBean の情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、Interstage Server MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明
INTVL	インターバル長
IJSERVER	ワークユニット名
EJBNAME	EJB 名
EJBTYPE	EJB タイプ
CREATETTL	作成回数(累計)
CREATE	作成回数 CREATETTL のインターバル毎の差分値
REMOVETTL	削除回数(累計)
REMOVE	削除回数 REMOVETTL のインターバル毎の差分値
MSGBKUPTTL(*1)	バックアップされたメッセージの数(累計)
MSGBKUP(*1)	バックアップされたメッセージの数 MSGBKUPTTL のインターバル毎の差分値
MESSAGETTL	受信されたメッセージの数(累計)
MESSAGE	受信されたメッセージの数 MESSAGETTL のインターバル毎の差分値

(\*1)Interstage V10 以降の環境では、このフィールド情報は収集できません。

#### 5.2.5. Servlet 情報

Interstage Server MBean のうち Type コンポーネントが Servlet となっている MBean の情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、Interstage Server MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明
INTVL	インターバル長
IJSERVER	ワークユニット名
WEBMODULE	WebModule 名
NAME	Servlet 名
COUNTTTL	起動回数(累計)
COUNT	起動回数 COUNTTTL のインターバル毎の差分値
RESPTTL	応答時間(ミリ秒)(累計)
RESP	応答時間(ミリ秒) RESPTTL のインターバル毎の差分値

Interstage V9 の場合、各 JSP に関する情報は 1 つの出力項目でまとめられて出力されます。その際の Servlet 名は「jsp」となります。

### 5.2.6. StatefulSessionEJB 情報

Interstage Server MBean のうち Type コンポーネントが StatefulSessionBean となっている MBean の情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、Interstage Server MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明
INTVL	インターバル長
IJSERVER	ワークユニット名
EJBNAME	EJB 名
EJBTYPE	EJB タイプ
CREATETTL	作成回数(累計)
CREATE	作成回数 CREATETTL のインターバル毎の差分値
REMOVETTL	削除回数(累計)
REMOVE	削除回数 REMOVETTL のインターバル毎の差分値
METHODREADY	MethodReady 状態にあるセッション Beans の数
PASSIVE	Passive 状態のインスタンス数
IDLEOUTTTL(*1)	アイドルタイムアウト発生回数(累計)
IDLEOUT(*1)	アイドルタイムアウト発生回数 IDLEOUTTTL のインターバル毎の差分値
ACTIVATETTL(*1)	Active 化されたインスタンス数(累計)
ACTIVATE(*1)	Active 化されたインスタンス数 ACTIVATETTL のインターバル毎の差分値

(\*1)Interstage V10 以降の環境では、このフィールド情報は収集できません。

### 5.2.7. StatelessSessionEJB 情報

Interstage Server MBean のうち Type コンポーネントが StatelessSessionBean となっている MBean の情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、Interstage Server MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明
INTVL	インターバル長
IJSERVER	ワークユニット名
EJBNAME	EJB 名
EJBTYPE	EJB タイプ
CREATETTL	作成回数(累計)
CREATE	作成回数 CREATETTL のインターバル毎の差分値
REMOVETTL	削除回数(累計)
REMOVE	削除回数 REMOVETTL のインターバル毎の差分値
METHODREADY	MethodReady 状態にあるセッション Beans の数

### 5.2.8. EntityEJB メソッド情報

Interstage Server MBean のうち Type コンポーネントが EntityBean となっている MBean のメソッド情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、Interstage Server MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

Interstage V10 以降の環境では、このレコード情報は収集できません。

列名	説明
INTVL	インターバル長
IJSERVER	ワークユニット名
EJBNAME	EJB 名
EJBTYPE	EJB タイプ
METHODNAME	メソッド名
METHODCOUNTTTL	メソッド実行回数(累計)
METHODCOUNT	メソッド実行回数 METHODCOUNTTTL のインターバル毎の差分値
METHODTIMETTTL	メソッド実行時間(ミリ秒)(累計)
METHODTIME	メソッド実行時間(ミリ秒) METHODTIMETTTL のインターバル毎の差分値

### 5.2.9. MessageDrivenEJB メソッド情報

Interstage Server MBean のうち Type コンポーネントが MessageDrivenEJB となっている MBean のメソッド情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、Interstage Server MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

Interstage V10 以降の環境では、このレコード情報は収集できません。

列名	説明
INTVL	インターバル長
IJSERVER	ワークユニット名
EJBNAME	EJB 名
EJBTYPE	EJB タイプ
METHODNAME	メソッド名
METHODCOUNTTTL	メソッド実行回数(累計)
METHODCOUNT	メソッド実行回数 METHODCOUNTTTL のインターバル毎の差分値
METHODTIMETTTL	メソッド実行時間(ミリ秒)(累計)
METHODTIME	メソッド実行時間(ミリ秒) METHODTIMETTTL のインターバル毎の差分値

### 5.2.10. StatefulSessionEJB メソッド情報

Interstage Server MBean のうち Type コンポーネントが StatefulSessionEJB となっている MBean のメソッド情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、Interstage Server MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

Interstage V10 以降の環境では、このレコード情報は収集できません。

列名	説明
INTVL	インターバル長
IJSERVER	ワークユニット名
EJBNAME	EJB 名
EJBTYPE	EJB タイプ
METHODNAME	メソッド名
METHODCOUNTTTL	メソッド実行回数(累計)
METHODCOUNT	メソッド実行回数 METHODCOUNTTTL のインターバル毎の差分値
METHODTIMETTTL	メソッド実行時間(ミリ秒)(累計)
METHODTIME	メソッド実行時間(ミリ秒) METHODTIMETTTL のインターバル毎の差分値

### 5.2.11. StatelessSessionEJB メソッド情報

Interstage Server MBean のうち Type コンポーネントが StatelessSessionEJB となっている MBean のメソッド情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、Interstage Server MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

Interstage V10 以降の環境では、このレコード情報は収集できません。

列名	説明
INTVL	インターバル長
IJSERVER	ワークユニット名
EJBNAME	EJB 名
EJBTYPE	EJB タイプ
METHODNAME	メソッド名
METHODCOUNTTTL	メソッド実行回数(累計)
METHODCOUNT	メソッド実行回数 METHODCOUNTTTL のインターバル毎の差分値
METHODTIMETTTL	メソッド実行時間(ミリ秒)(累計)
METHODTIME	メソッド実行時間(ミリ秒) METHODTIMETTTL のインターバル毎の差分値

## 5.3. WebSphere

接続対象のアプリケーションサーバが WebSphere である場合の収集項目について記述します。

### 5.3.1. EntityBean 情報

WebSphere Server MBean のうち Type コンポーネントが EntityBean となっている MBean の情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、WebSphere Server MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明	データ取得値
INTVL	インターバル長	
CELL	セル名	cell
NODE	ノード名	node
PROCESS	プロセス名	process
APPLICATION	アプリケーション名	Application
EJBMODULE	EJBModule 名	EJBModule
NAME	EntityBean 名	name
TYPE	EJB タイプ	
CREATECNTTTL	Bean が作成された回数(累計)	CreateCount
CREATECNT	Bean が作成された回数 CREATECNTTTL のインターバル毎の差分値	
REMOVECNTTTL	Bean が除去された回数(累計)	RemoveCount
REMOVECNT	Bean が除去された回数 REMOVECNTTTL のインターバル毎の差分値	
INSTANTIATECNTTTL	Bean がインスタンス化された回数(累計)	InstantiateCount
INSTANTIATECNT	Bean がインスタンス化された回数 INSTANTIATECNTTTL のインターバル毎の差分値	
FREEDCNTTTL	Bean が解放された回数(累計)	FreedCount
FREEDCNT	Bean が解放された回数 FREEDCNTTTL のインターバル毎の差分値	
READYCNT	作動可能状態の Bean 数	ReadyCount
LIVECNT	同時ライブ Bean 数	LiveCount
MTHDCALLCNTTTL	Bean のリモート・メソッドに対する呼び出し回数(累計)	MethodCallCount
MTHDCALLCNT	Bean のリモート・メソッドに対する呼び出し回数 MTHDCALLCNTTTL のインターバル毎の差分値	
MTHDRESPTIMETTL	Bean のリモート・メソッドにおける応答時間(ミリ秒)(累計)	MethodResponseTime
MTHDRESPTIME	Bean のリモート・メソッドにおける応答時間(ミリ秒) MTHDRESPTIMETTL のインターバル毎の差分値	
MTHDRESCNTTTL	Bean のリモート・メソッドにおける応答回数(累計)	MethodResponseTime の count
MTHDRESCCNT	Bean のリモート・メソッドにおける応答回数 MTHDRESCNTTTL のインターバル毎の差分値	
ACTIVEMTHDCNT	同時にアクティブになるメソッド数	ActiveMethodCount
RETRIEVECNTTTL	オブジェクトをプールから検索する際の呼び出し回数(累計)	RetrieveFromPoolCount
RETRIEVECNT	オブジェクトをプールから検索する際の呼び出し回数 RETRIEVECNTTTL のインターバル毎の差分値	
RETRIEVESUCCESSCNTTTL	検索でプール内に選択可能なオブジェクトが見つかった回数(累計)	RetrieveFromPoolSuccessCount

列名	説明	データ取得値
RETRIEVESUCCESSCNT	検索でプール内に選択可能なオブジェクトが見つかった回数 RETRIEVESUCCESSCNTTTL のインターバル毎の差分値	
RETURNCNTTTL	オブジェクトをプールに戻す際の呼び出し回数(累計)	ReturnsToPoolCount
RETURNCNT	オブジェクトをプールに戻す際の呼び出し回数 RETURNCNTTTL のインターバル毎の差分値	
RETURNDISCARDCNTTTL	プールがいっぱいだったため、戻したオブジェクトが破棄された回数(累計)	ReturnsDiscardCount
RETURNDISCARDCNT	プールがいっぱいだったため、戻したオブジェクトが破棄された回数 RETURNDISCARDCNTTTL のインターバル毎の差分値	
DRAINCNTTTL	デーモンがプールのアイドル状態を検出し、消去しようとした回数(累計)	DrainsFromPoolCount
DRAINCNT	デーモンがプールのアイドル状態を検出し、消去しようとした回数 DRAINCNTTTL のインターバル毎の差分値	
DRAINSIZETTTL	各ドレーンで破棄されるオブジェクト数(累計)	DrainSize
DRAINSIZE	各ドレーンで破棄されるオブジェクト数 DRAINSIZETTTL のインターバル毎の差分値	
POOLEDCNT	プール内のオブジェクト数	PooledCount
ACTIVATIONTIMETTTL	Bean オブジェクトの Activation にかかる時間(ミリ秒)(累計)	ActivationTime
ACTIVATIONTIME	Bean オブジェクトの Activation にかかる時間(ミリ秒) ACTIVATIONTIMETTTL のインターバル毎の差分値	
ACTIVATIONCNTTTL	Bean オブジェクトの Activation 回数(累計)	ActivationTime の count
ACTIVATIONCNT	Bean オブジェクトの Activation 回数 ACTIVATIONCNTTTL のインターバル毎の差分値	
PASSIVATIONTIMETTTL	Bean オブジェクトの Passivation にかかる時間(ミリ秒)(累計)	PassivationTime
PASSIVATIONTIME	Bean オブジェクトの Passivation にかかる時間(ミリ秒) PASSIVATIONTIMETTTL のインターバル毎の差分値	
PASSIVATIONCNTTTL	Bean オブジェクトの Passivation 回数(累計)	PassivationTime の count
PASSIVATIONCNT	Bean オブジェクトの Passivation 回数 PASSIVATIONCNTTTL のインターバル毎の差分値	
LOADTIMETTTL	パーススタント・ストレージから Bean データをロードする時間(ミリ秒)(累計)	LoadTime
LOADTIME	パーススタント・ストレージから Bean データをロードする時間(ミリ秒) LOADTIMETTTL のインターバル毎の差分値	
LOADCNTTTL	パーススタント・ストレージから Bean データをロードする回数(累計)	LoadTime の count
LOADCNT	パーススタント・ストレージから Bean データをロードする回数 LOADCNTTTL のインターバル毎の差分値	
STORETIMETTTL	パーススタント・ストレージに Bean データを保管するときにかかる時間(ミリ秒)(累計)	StoreTime
STORETIME	パーススタント・ストレージに Bean データを保管するときにかかる時間(ミリ秒) STORETIMETTTL のインターバル毎の差分値	
STORECNTTTL	パーススタント・ストレージに Bean データを保管する回数(累計)	StoreTime の count
STORECNT	パーススタント・ストレージに Bean データを保管する回数 STORECNTTTL のインターバル毎の差分値	



### 5.3.2. JDBC Provider 情報

WebSphere Server MBean のうち Type コンポーネントが JDBCProvider となっている MBean の情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、WebSphere Server MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明	データ取得値
INTVL	インターバル長	
CELL	セル名	cell
NODE	ノード名	node
PROCESS	プロセス名	process
NAME	JDBC Provider 名	name
MBEANID	MBean 識別名	mbeanIdentifier
CREATECNTTTL	作成された接続数(累計)	CreateCount
CREATECNT	作成された接続数 CREATECNTTTL のインターバル毎の差分値	
CLOSECNTTTL	クローズされた接続数(累計)	CloseCount
CLOSECNT	クローズされた接続数 CLOSECNTTTL のインターバル毎の差分値	
ALLOCCNTTTL	割り振られた接続数(累計)	AllocateCount
ALLOCCNT	割り振られた接続数 ALLOCCNTTTL のインターバル毎の差分値	
RETURNCNTTTL	プールに戻された接続数(累計)	ReturnCount
RETURNCNT	プールに戻された接続数 RETURNCNTTTL のインターバル毎の差分値	
POOLSIZE	接続プールのサイズ	PoolSize
FREEPOOLSIZE	プールにある空き接続の数	FreePoolSize
WAITTRDCNT	同時に接続待ちをするスレッド数	WaitingThreadCount
FAULTCNTTTL	プールにある接続タイムアウト数(累計)	FaultCount
FAULTCNT	プールにある接続タイムアウト数 FAULTCNTTTL のインターバル毎の差分値	
USETIMETTL	接続が使用される時間(累計)	UseTime
USETIME	接続が使用される時間 USETIMETTL のインターバル毎の差分値	
USECNTTTL	接続が使用される回数(累計)	UseTime の count
USECNT	接続が使用される回数 USECNTTTL のインターバル毎の差分値	
WAITTIMETTL	接続が認可されるまでの時間(累計)	WaitTime
WAITTIME	接続が認可されるまでの時間 WAITTIMETTL のインターバル毎の差分値	
WAITCNTTTL	接続が認可されるまで待たされた回数(累計)	WaitTime の count
WAITCNT	接続が認可されるまで待たされた回数 WAITCNTTTL のインターバル毎の差分値	
DISCARDCNTTTL	キャッシュが満杯のために破棄されるステートメントの数(累計)	PrepStmtCacheDiscardCount
DISCARDCNT	キャッシュが満杯のために破棄されるステートメントの数 DISCARDCNTTTL のインターバル毎の差分値	

### 5.3.3. JVM 情報

WebSphere Server MBean のうち Type コンポーネントが JVM となっている MBean の情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、WebSphere Server MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明	データ取得値
INTVL	インターバル長	
CELL	セル名	cell
NODE	ノード名	node
PROCESS	プロセス名	process
NAME	Java バイナルマシン名	name
HEAPSIZE	JVM ヒープメモリ総容量(KB)	HeapSize
HEAPFREE	JVM ヒープメモリ空き容量(KB)	FreeMemory
HEAPUSE	JVM ヒープメモリ使用容量(KB)	UsedMemory
GCCNTTTL	ガベージコレクション発生回数(累計)	GCCount
GCCNT	ガベージコレクション発生回数	
GCTIMETTL	ガベージコレクション処理時間(ミリ秒)(累計)	GCTime
GCTIME	ガベージコレクション処理時間(ミリ秒)	
GCINTVLTTL	ガベージコレクション発生間隔(ミリ秒)(累計)	GCIntervalTime
GCINTVL	ガベージコレクション発生間隔(ミリ秒)	
HEAPINIT	JVM ヒープメモリ初期設定値(KB)	Java 仮想マシンの初期ヒープ・サイズ
HEAPMAX	JVM ヒープメモリ最大設定値(KB)	Java 仮想マシンの最大ヒープ・サイズ

### 5.3.4. MessageDrivenBean 情報

WebSphere Server MBean のうち Type コンポーネントが MessageDrivenBean となっている MBean の情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、WebSphere Server MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明	データ取得値
INTVL	インターバル長	
CELL	セル名	cell
NODE	ノード名	node
PROCESS	プロセス名	process
APPLICATION	アプリケーション名	Application
EJBMODULE	EJBModule 名	EJBModule
NAME	MessageDrivenBean 名	name
TYPE	EJB タイプ	
LIVECNT	同時ライブ Bean 数	LiveCount
MTHDCALLCNTTTL	Bean のリモート・メソッドに対する呼び出し回数(累計)	MethodCallCount
MTHDCALLCNT	Bean のリモート・メソッドに対する呼び出し回数 MTHDCALLCNTTTL のインターバル毎の差分値	
MTHDRESPTIMETTL	Bean のリモート・メソッドにおける応答時間(ミリ秒)(累計)	MethodResponseTime
MTHDRESPTIME	Bean のリモート・メソッドにおける応答時間(ミリ秒) MTHDRESPTIMETTL のインターバル毎の差分値	
MTHDRESCNTTTL	Bean のリモート・メソッドにおける応答回数(累計)	MethodResponseTime の count
MTHDRESCNT	Bean のリモート・メソッドにおける応答回数 MTHDRESCNTTTL のインターバル毎の差分値	
ACTIVEMTHDCNT	同時にアクティブになるメソッド数	ActiveMethodCount
RETRIEVECNTTTL	オブジェクトをプールから検索する際の呼び出し回数(累計)	RetrieveFromPoolCount
RETRIEVECNT	オブジェクトをプールから検索する際の呼び出し回数 RETRIEVECNTTTL のインターバル毎の差分値	
RETRIEVESUCCESSCNTTTL	検索でプール内に選択可能なオブジェクトが見つかった回数(累計)	RetrieveFromPoolSuccessCount
RETRIEVESUCCESSCNT	検索でプール内に選択可能なオブジェクトが見つかった回数 RETRIEVESUCCESSCNTTTL のインターバル毎の差分値	
RETURNCNTTTL	オブジェクトをプールに戻す際の呼び出し回数(累計)	ReturnsToPoolCount
RETURNCNT	オブジェクトをプールに戻す際の呼び出し回数 RETURNCNTTTL のインターバル毎の差分値	
RETURNDISCARDCNTTTL	プールがいっぱいだったため、戻したオブジェクトが破棄された回数(累計)	ReturnsDiscardCount
RETURNDISCARDCNT	プールがいっぱいだったため、戻したオブジェクトが破棄された回数 RETURNDISCARDCNTTTL のインターバル毎の差分値	
DRAINCNTTTL	デーモンがプールのアイドル状態を検出し、消去しようとした回数(累計)	DrainsFromPoolCount
DRAINCNT	デーモンがプールのアイドル状態を検出し、消去しようとした回数 DRAINCNTTTL のインターバル毎の差分値	
DRAINSIZETTL	各ドレーンで破棄されるオブジェクト数(累計)	DrainSize
DRAINSIZE	各ドレーンで破棄されるオブジェクト数 DRAINSIZETTL のインターバル毎の差分値	
POOLED CNT	プール内のオブジェクト数	PooledCount

列名	説明	データ取得値
MSGCNTTTTL	Bean の onMessage メソッドに送達されたメッセージの数(累計)	MessageCount
MSGCNT	Bean の onMessage メソッドに送達されたメッセージの数 MSGCNTTTTL のインターバル毎の差分値	
MSGBACKOUTCNTTTTL	Bean の onMessage メソッドに送達できなかった、バックアウト・メッセージの数(累計)	MessageBackoutCount
MSGBACKOUTCNT	Bean の onMessage メソッドに送達できなかった、バックアウト・メッセージの数 MSGBACKOUTCNTTTTL のインターバル毎の差分値	
WAITTIMETTTL	プールからのサーバー・セッションの取得にかかる時間(ミリ秒)(累計)	WaitTime
WAITTIME	プールからのサーバー・セッションの取得にかかる時間(ミリ秒) WAITTIMETTTL のインターバル毎の差分値	
WAITCNTTTTL	プールからのサーバー・セッションの取得回数(累計)	WaitTime の count
WAITCNT	プールからのサーバー・セッションの取得回数	
INSTANTIATECNTTTTL	Bean がインスタンス化された回数(累計)	[V5] InstantiateCount [V6] CreateCount
INSTANTIATECNT	Bean がインスタンス化された回数 INSTANTIATECNTTTTL のインターバル毎の差分値	
FREEDCNTTTTL	Bean が解放された回数(累計)	[V5] FreedCount [V6] RemoveCount
FREEDCNT	Bean が解放された回数 FREEDCNTTTTL のインターバル毎の差分値	

### 5.3.5. Servlet 情報

WebSphere Server MBean のうち Type コンポーネントが Servlet となっている MBean の情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、WebSphere Server MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明	データ取得値
INTVL	インターバル長	
CELL	セル名	cell
NODE	ノード名	node
PROCESS	プロセス名	process
WEBMODULE	WebModule 名	WebModule
NAME	Servlet 名	name
CONCURREQ	同時に処理されるリクエスト数	ConcurrentRequests
SERVLETTIMETTL	サーブレットリクエストの応答時間(ミリ秒)(累計)	ServiceTime
SERVLETTIME	サーブレットリクエストの応答時間(ミリ秒) SERVLETTIMETTL のインターバル毎の差分値	
SERVLETCNTTTL	サーブレットリクエスト数(累計)	ServiceTime の count
SERVLETCNT	サーブレットリクエスト数 SERVLETCNTTTL のインターバル毎の差分値	
ERRORCNTTTL	サーブレットにおけるエラー数(累計)	ErrorCount
ERRORCNT	サーブレットにおけるエラー数 ERRORCNTTTL のインターバル毎の差分値	

### 5.3.6. StatefulSessionBean 情報

WebSphere Server MBean のうち Type コンポーネントが StatefulSessionBean となっている MBean の情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、WebSphere Server MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明	データ取得値
INTVL	インターバル長	
CELL	セル名	cell
NODE	ノード名	node
PROCESS	プロセス名	process
APPLICATION	アプリケーション名	Application
EJBMODULE	EJBModule 名	EJBModule
NAME	StatefulSessionBean 名	name
TYPE	EJB タイプ	
CREATECNTTTL	Bean が作成された回数(累計)	CreateCount
CREATECNT	Bean が作成された回数 CREATECNTTTL のインターバル毎の差分値	
REMOVECNTTTL	Bean が除去された回数(累計)	RemoveCount
REMOVECNT	Bean が除去された回数 REMOVECNTTTL のインターバル毎の差分値	

列名	説明	データ取得値
INstantiateCNTTTL	Bean がインスタンス化された回数(累計)	InstantiateCount
INstantiateCNT	Bean がインスタンス化された回数 INstantiateCNTTTL のインターバル毎の差分値	
FreeDCNTTTL	Bean が解放された回数(累計)	FreedCount
FreeDCNT	Bean が解放された回数 FreeDCNTTTL のインターバル毎の差分値	
LiveCNT	同時ライブ Bean 数	LiveCount
MTHDCALLCNTTTL	Bean のリモート・メソッドに対する呼び出し回数(累計)	MethodCallCount
MTHDCALLCNT	Bean のリモート・メソッドに対する呼び出し回数 MTHDCALLCNTTTL のインターバル毎の差分値	
MTHDRESPTIMETTL	Bean のリモート・メソッドにおける応答時間(ミリ秒)(累計)	MethodResponseTime
MTHDRESPTIME	Bean のリモート・メソッドにおける応答時間(ミリ秒) MTHDRESPTIMETTL のインターバル毎の差分値	
MTHDRESPCNTTTL	Bean のリモート・メソッドにおける応答回数(累計)	MethodResponseTime の count
MTHDRESPCNT	Bean のリモート・メソッドにおける応答回数 MTHDRESPCNTTTL のインターバル毎の差分値	
ACTIVEMTHDCNT	同時にアクティブになるメソッド数	ActiveMethodCount
ACTIVATIONTIMETTL	Bean オブジェクトの Activation にかかる時間(ミリ秒)(累計)	ActivationTime
ACTIVATIONTIME	Bean オブジェクトの Activation にかかる時間(ミリ秒) ACTIVATIONTIMETTL のインターバル毎の差分値	
ACTIVATIONCNTTTL	Bean オブジェクトの Activation 回数(累計)	ActivationTime の count
ACTIVATIONCNT	Bean オブジェクトの Activation 回数 ACTIVATIONCNTTTL のインターバル毎の差分値	
PASSIVATIONTIMETTL	Bean オブジェクトの Passivation にかかる時間(ミリ秒)(累計)	PassivationTime
PASSIVATIONTIME	Bean オブジェクトの Passivation にかかる時間(ミリ秒) PASSIVATIONTIMETTL のインターバル毎の差分値	
PASSIVATIONCNTTTL	Bean オブジェクトの Passivation 回数(累計)	PassivationTime の count
PASSIVATIONCNT	Bean オブジェクトの Passivation 回数 PASSIVATIONCNTTTL のインターバル毎の差分値	
READYCNT	作動可能状態の Bean 数	[V5] ReadyCount [V6] MethodReadyCount

### 5.3.7. StatelessSessionBean 情報

WebSphere Server MBean のうち Type コンポーネントが StatelessSessionBean となっている MBean の情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、WebSphere Server MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明	データ取得値
INTVL	インターバル長	
CELL	セル名	cell
NODE	ノード名	node
PROCESS	プロセス名	process
APPLICATION	アプリケーション名	Application
EJBMODULE	EJBModule 名	EJBModule
NAME	StatelessSessionBean 名	name
TYPE	EJB タイプ	
LIVECNT	同時ライブ Bean 数	LiveCount
MTHDCALLCNTTTL	Bean のリモート・メソッドに対する呼び出し回数(累計)	MethodCallCount
MTHDCALLCNT	Bean のリモート・メソッドに対する呼び出し回数 MTHDCALLCNTTTL のインターバル毎の差分値	
MTHDRESPTIMETTL	Bean のリモート・メソッドにおける応答時間(ミリ秒)(累計)	MethodResponseTime
MTHDRESPTIME	Bean のリモート・メソッドにおける応答時間(ミリ秒) MTHDRESPTIMETTL のインターバル毎の差分値	
MTHDRESCNTTTL	Bean のリモート・メソッドにおける応答回数(累計)	MethodResponseTime の count
MTHDRESCNT	Bean のリモート・メソッドにおける応答回数 MTHDRESCNTTTL のインターバル毎の差分値	
ACTIVEMTHDCNT	同時にアクティブになるメソッド数	ActiveMethodCount
RETRIEVECNTTTL	オブジェクトをプールから検索する際の呼び出し回数(累計)	RetrieveFromPoolCount
RETRIEVECNT	オブジェクトをプールから検索する際の呼び出し回数 RETRIEVECNTTTL のインターバル毎の差分値	
RETRIEVESUCCESSCNTTTL	検索でプール内に選択可能なオブジェクトが見つかった回数(累計)	RetrieveFromPoolSuccessCount
RETRIEVESUCCESSCNT	検索でプール内に選択可能なオブジェクトが見つかった回数 RETRIEVESUCCESSCNTTTL のインターバル毎の差分値	
RETURNCNTTTL	オブジェクトをプールに戻す際の呼び出し回数(累計)	ReturnsToPoolCount
RETURNCNT	オブジェクトをプールに戻す際の呼び出し回数 RETURNCNTTTL のインターバル毎の差分値	
RETURNDISCARDCNTTTL	プールがいっぱいだったため、戻したオブジェクトが破棄された回数(累計)	ReturnsDiscardCount
RETURNDISCARDCNT	プールがいっぱいだったため、戻したオブジェクトが破棄された回数 RETURNDISCARDCNTTTL のインターバル毎の差分値	
DRAINSIZE	各ドレーンで破棄されるオブジェクト数 DRAINSIZETTL のインターバル毎の差分値	
INSTANTIATECNTTTL	Bean がインスタンス化された回数(累計)	[V5] InstantiateCount [V6] CreateCount
INSTANTIATECNT	Bean がインスタンス化された回数 INSTANTIATECNTTTL のインターバル毎の差分値	
FREEDCNTTTL	Bean が解放された回数(累計)	[V5] FreedCount [V6] RemoveCount

列名	説明	データ取得値
FREEDCNT	Bean が解放された回数 FREEDCNTTTL のインターバル毎の差分値	
READYCNT	作動可能状態の Bean 数	[V5] ReadyCount [V6] MethodReadyCount
POOLED CNT	プール内のオブジェクト数	[V5] PooledCount [V6] 該当するデータ項目がありません

### 5.3.8. ThreadPool 情報

WebSphere Server MBean のうち Type コンポーネントが ThreadPool となっている MBean の情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、WebSphere Server MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明	データ取得値
INTVL	インターバル長	
CELL	セル名	cell
NODE	ノード名	node
PROCESS	プロセス名	process
NAME	ThreadPool 名	name
CREATECNTTTL	作成されたスレッド数(累計)	CreateCount
CREATECNT	作成されたスレッド数 CREATECNTTTL のインターバル毎の差分値	
DESTRYCNTTTL	破棄されたスレッド数(累計)	DestroyCount
DESTRYCNT	破棄されたスレッド数 DESTRYCNTTTL のインターバル毎の差分値	
ACTIVECNT	アクティブなスレッドの数	ActiveCount
POOLSIZE	プール内のスレッド数	PoolSize



### 5.3.9. JDBC Data Source 情報

WebSphere Server MBean のうち Type コンポーネントが JDBCDataSource となっている MBean の情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、WebSphere Server MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明	データ取得値
INTVL	インターバル長	
CELL	セル名	cell
NODE	ノード名	node
PROCESS	プロセス名	process
PROVIDER	JDBC Provider 名	provider
MBEANID	MBean 識別名	mbeanIdentifier
NAME	JDBC Data Source 名	name
CREATECNTTTL	作成された接続数(累計)	CreateCount
CREATECNT	作成された接続数 CREATECNTTTL のインターバル毎の差分値	
CLOSECNTTTL	クローズされた接続数(累計)	CloseCount
CLOSECNT	クローズされた接続数 CLOSECNTTTL のインターバル毎の差分値	
ALLOCCNTTTL	割り振られた接続数(累計)	AllocateCount
ALLOCCNT	割り振られた接続数 ALLOCCNTTTL のインターバル毎の差分値	
RETURNCNTTTL	プールに戻された接続数(累計)	ReturnCount
RETURNCNT	プールに戻された接続数 RETURNCNTTTL のインターバル毎の差分値	
POOLSIZE	接続プールのサイズ	PoolSize
FREEPOOLSIZE	プールにある空き接続の数	FreePoolSize
WAITTRDCNT	同時に接続待ちをするスレッド数	WaitingThreadCount
FAULTCNTTTL	プールにある接続タイムアウト数(累計)	FaultCount
FAULTCNT	プールにある接続タイムアウト数 FAULTCNTTTL のインターバル毎の差分値	
USETIMETTTL	接続が使用される時間(累計)	UseTime
USETIME	接続が使用される時間 USETIMETTTL のインターバル毎の差分値	
USECNTTTL	接続が使用される回数(累計)	UseTime の count
USECNT	接続が使用される回数 USECNTTTL のインターバル毎の差分値	
WAITTIMETTTL	接続が認可されるまでの時間(累計)	WaitTime
WAITTIME	接続が認可されるまでの時間 WAITTIMETTTL のインターバル毎の差分値	
WAITCNTTTL	接続が認可されるまで待たされた回数(累計)	WaitTime の count
WAITCNT	接続が認可されるまで待たされた回数 WAITCNTTTL のインターバル毎の差分値	
DISCARDCNTTTL	キャッシュが満杯のために破棄されるステートメントの数(累計)	PrepStmtCacheDiscardCount
DISCARDCNT	キャッシュが満杯のために破棄されるステートメントの数 DISCARDCNTTTL のインターバル毎の差分値	

### 5.3.10. SessionManager 情報

WebSphere Server MBean のうち Type コンポーネントが SessionManager となっている MBean の情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、WebSphere Server MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明	データ取得値
INTVL	インターバル長	
CELL	セル名	cell
NODE	ノード名	node
PROCESS	プロセス名	process
NAME	セッション名	name
CREATECOUNTTTL	作成されたセッション数(累計)	CreateCount
CREATECOUNT	作成されたセッション数 CREATECOUNTTTL のインターバル毎の差分値	
INVALIDATECOUNTTTL	無効化されたセッション数(累計)	InvalidateCount
INVALIDATECOUNT	無効化されたセッション数 INVALIDATECOUNTTTL のインターバル毎の差分値	
LIFETIMETTL	セッション存続時間(ミリ秒)(累計)	LifeTime
LIFETIME	セッション存続時間(ミリ秒) LIFETIMETTL のインターバル毎の差分値	
LIFECOUNTTTL	セッション存続回数(累計)	LifeCount
LIFECOUNT	セッション存続回数 LIFECOUNTTTL のインターバル毎の差分値	
ACTIVECOUNT	要求により現在アクセスしているセッション数	ActiveCount
LIVECOUNT	現在活動中のセッション数	LiveCount
NOROOMFORNEWSESSIONCOUNTTTL	最大セッション・カウント数を超えるため、新規セッションの要求を処理できない回数(累計)	NoRoomForNewSessionCount
NOROOMFORNEWSESSIONCOUNT	最大セッション・カウント数を超えるため、新規セッションの要求を処理できない回数 NOROOMFORNEWSESSIONCOUNTTTL のインターバル毎の差分値	
CACHEDISCARDCOUNTTTL	キャッシュから強制的に除去されたセッション・オブジェクトの数(累計)	CacheDiscardCount
CACHEDISCARDCOUNT	キャッシュから強制的に除去されたセッション・オブジェクトの数 CACHEDISCARDCOUNTTTL のインターバル毎の差分値	
EXTERNALREADTIMETTL	パーシスタント・ストアからのセッション・データの読み取り時間(ミリ秒)(累計)	ExternalReadTime
EXTERNALREADTIME	パーシスタント・ストアからのセッション・データの読み取り時間(ミリ秒) EXTERNALREADTIMETTL のインターバル毎の差分値	
EXTERNALREADCOUNTTTL	パーシスタント・ストアからのセッション・データの読み取り回数(累計)	ExternalReadCount
EXTERNALREADCOUNT	パーシスタント・ストアからのセッション・データの読み取り回数 EXTERNALREADCOUNTTTL のインターバル毎の差分値	
EXTERNALREADSIZETTL	パーシスタント・ストアから読み取られるセッション・データのサイズ(累計)	ExternalReadSize
EXTERNALREADSIZE	パーシスタント・ストアから読み取られるセッション・データのサイズ EXTERNALREADSIZETTL のインターバル毎の差分値	

列名	説明	データ取得値
EXTERNALWRITETIMETTTL	パーススタント・ストアへのセッション・データの書き込み時間(ミリ秒)(累計)	ExternalWriteTime
EXTERNALWRITETIME	パーススタント・ストアへのセッション・データの書き込み時間(ミリ秒) EXTERNALWRITETIMETTTL のインターバル毎の差分値	
EXTERNALWRITECOUNTTTL	パーススタント・ストアへのセッション・データの書き込み回数(累計)	ExternalWriteCount
EXTERNALWRITECOUNT	パーススタント・ストアへのセッション・データの書き込み回数 EXTERNALWRITECOUNTTTL のインターバル毎の差分値	
EXTERNALWRITESIZETTTL	パーススタント・ストアに書き込まれるセッション・データのサイズ(累計)	ExternalWriteSize
EXTERNALWRITESIZE	パーススタント・ストアに書き込まれるセッション・データのサイズ EXTERNALWRITESIZETTTL のインターバル毎の差分値	
AFFINITYBREAKCOUNTTTL	HTTP セッション類縁性が切られた回数(累計)	AffinityBreakCount
AFFINITYBREAKCOUNT	HTTP セッション類縁性が切られた回数 AFFINITYBREAKCOUNTTTL のインターバル毎の差分値	
TIMEOUTINVALIDATIONCOUNTTTL	タイムアウトで無効化されたセッション数(累計)	TimeoutInvalidationCount
TIMEOUTINVALIDATIONCOUNT	タイムアウトで無効化されたセッション数 TIMEOUTINVALIDATIONCOUNTTTL のインターバル毎の差分値	
ACTIVATENONEXISTSESSIONCOUNTTTL	存在しなくなったセッションへの要求数(累計)	ActivateNonExistSessionCount
ACTIVATENONEXISTSESSIONCOUNT	存在しなくなったセッションへの要求数 ACTIVATENONEXISTSESSIONCOUNTTTL のインターバル毎の差分値	

### 5.3.11. JSP 情報

WebSphere Server MBean のうち Type コンポーネントが JSP となっている MBean の情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、WebSphere Server MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明	データ取得値
INTVL	インターバル長	
CELL	セル名	cell
NODE	ノード名	node
PROCESS	プロセス名	process
WEBMODULE	WebModule 名	WebModule
NAME	JSP 名	name
CONCURREQ	同時に処理されるリクエスト数	ConcurrentRequests
SERVLETTIMETTL	サーブレットリクエストの応答時間（ミリ秒）（累計）	ServiceTime
SERVLETTIME	サーブレットリクエストの応答時間（ミリ秒） SERVLETTIMETTL のインターバル毎の差分値	
SERVLETCNTTTL	サーブレットリクエスト数（累計）	ServiceTime の count
SERVLETCNT	サーブレットリクエスト数 SERVLETCNTTTL のインターバル毎の差分値	
ERRORCNTTL	サーブレットにおけるエラー数（累計）	ErrorCount
ERRORCNT	サーブレットにおけるエラー数 ERRORCNTTTL のインターバル毎の差分値	

### 5.3.12. SingletonSessionBean 情報

WebSphere Server MBean のうち Type コンポーネントが SingletonSessionBean となっている MBean の情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、WebSphere Server MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明	データ取得値
INTVL	インターバル長	
CELL	セル名	cell
NODE	ノード名	node
PROCESS	プロセス名	process
APPLICATION	アプリケーション名	Application
EJBMODULE	EJBModule 名	EJBModule
NAME	SingletonSessionBean 名	name
TYPE	EJB タイプ	
LIVECNT	同時ライブ Bean 数	
MTHDCALLCNTTTL	Bean のリモート・メソッドに対する呼び出し回数(累計)	MethodCallCount
MTHDCALLCNT	Bean のリモート・メソッドに対する呼び出し回数	
MTHDRESPTIMETTL	Bean のリモート・メソッドにおける応答時間(ミリ秒)(累計)	MethodResponseTime
MTHDRESPTIME	Bean のリモート・メソッドにおける応答時間(ミリ秒)	
MTHDRESPCNTTTL	Bean のリモート・メソッドにおける応答回数(累計)	MethodResponseTime の count
MTHDRESPCNT	Bean のリモート・メソッドにおける応答回数	
CREATETIMETTL	Bean 作成時間(累計)	CreateTime
CREATETIME	Bean 作成時間	
CREATECNTTTL	Bean が作成された回数(累計)	CreateTime の count
CREATECNT	Bean が作成された回数	
REMOVETIMETTL	Bean 除去時間(累計)	RemoveTime
REMOVETIME	Bean 除去時間	
REMOVECNTTTL	Bean が除去された回数(累計)	RemoveTime の count
REMOVECNT	Bean が除去された回数	
ACTIVEMTHDCNT	同時にアクティブになるメソッド数	ActiveMethodCount
READLOCKTIMETTL	読み取りロック待ち時間(累計)	ReadLockTime
READLOCKTIME	読み取りロック待ち時間	
READLOCKCNTTTL	読み取りロック待ち回数(累計)	ReadLockTime の count
READLOCKCNT	読み取りロック待ち回数	
WRITELOCKTIMETTL	書き込みロック待ち時間(累計)	WriteLockTime
WRITELOCKTIME	書き込みロック待ち時間	
WRITELOCKCNTTTL	書き込みロック待ち回数(累計)	WriteLockTime の count
WRITELOCKCNT	書き込みロック待ち回数	
LOCKCANCELCNTTTL	ロックタイムアウトのためキャンセルされた回数(累計)	LockCancelCount
LOCKCANCELCNT	ロックタイムアウトのためキャンセルされた回数	

## 5.4. OracleAS

接続対象のアプリケーションサーバが OracleAS である場合の収集項目について記述します。

### 5.4.1. EntityBean 情報

OracleAS MBean のうち Type コンポーネントが EntityBean となっている MBean の情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、OracleAS MBean の Name コンポーネントの値が表示されません。

列名	説明	データ取得値
INTVL	インターバル長	
ASINSTANCE	Application Server インスタンス名	
OC4JINSTANCE	OC4J インスタンス名	
DOMAIN	ドメイン名	Domain
SERVER	サーバ名	J2EEServer
APPLICATION	アプリケーション名	J2EEApplication
EJBMODULE	EJBModule 名	EJBModule
NAME	EntityBean 名	name
TYPE	EJB タイプ	
CREATETTL	作成回数(累計)	CreateCount
CREATE	作成回数 CREATETTL のインターバル毎の差分値	
REMOVETTL	削除回数(累計)	RemoveCount
REMOVE	削除回数 REMOVETTL のインターバル毎の差分値	
READY	準備完了インスタンス数	MethodReadyCount

### 5.4.2. JDBCDataSource 情報

OracleAS MBean のうち Type コンポーネントが JDBCDataSource となっている MBean の情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、OracleAS MBean の Name コンポーネントの値が表示されません。

列名	説明	データ取得値
INTVL	インターバル長	
ASINSTANCE	Application Server インスタンス名	
OC4JINSTANCE	OC4J インスタンス名	
DOMAIN	ドメイン名	Domain
SERVER	サーバ名	J2EEServer
APPLICATION	アプリケーション名	J2EEApplication
NAME	JDBC データソース名	name
WAITCOUNTTTL	接続待ち回数(累計)	WaitTime の Count
WAITCOUNT	接続待ち回数 WAITCOUNTTTL のインターバル毎の差分値	
WAITTIMETTTL	接続待ち時間(ミリ秒)(累計)	WaitTime の TotalTime
WAITTIME	接続待ち時間(ミリ秒) WAITTIMETTTL のインターバル毎の差分値	
USECOUNTTTL	接続使用回数(累計)	UseTime の Count
USECOUNT	接続使用回数 USECOUNTTTL のインターバル毎の差分値	
USETIMETTTL	接続使用时间(ミリ秒)(累計)	UseTime の TotalTime
USETIME	接続使用时间(ミリ秒) USETIMETTTL のインターバル毎の差分値	
CREATECOUNTTTL	接続作成回数(累計)	CreateCount
CREATECOUNT	接続作成回数 CREATECOUNTTTL のインターバル毎の差分値	
CLOSECOUNTTTL	接続クローズ回数(累計)	CloseCount
CLOSECOUNT	接続クローズ回数 CLOSECOUNTTTL のインターバル毎の差分値	
FREEPOOLSIZE	使用可能な接続数	FreePoolSize
POOLSIZE	プール内の接続数	PoolSize
WAITINGTHREADCOUNT	待ちスレッド数	WaitingThreadCount

### 5.4.3. JVM 情報

OracleAS MBean のうち Type コンポーネントが JVM となっている MBean の情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、OracleAS MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明	データ取得値
INTVL	インターバル長	
ASINSTANCE	Application Server インスタンス名	
OC4JINSTANCE	OC4J インスタンス名	
DOMAIN	ドメイン名	Domain
SERVER	サーバ名	J2EEServer
NAME	JVM 名	name
FREEHEAPSIZE	JVM ヒープメモリ空き容量(KB)	FreeHeapSize
HEAPSIZE	JVM ヒープメモリ総容量(KB)	HeapSize
ACTIVETHREADS	アクティブスレッド数	ActiveThreads

### 5.4.4. MessageDrivenBean 情報

OracleAS MBean のうち Type コンポーネントが MessageDrivenBean となっている MBean の情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、OracleAS MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明	データ取得値
INTVL	インターバル長	
ASINSTANCE	Application Server インスタンス名	
OC4JINSTANCE	OC4J インスタンス名	
DOMAIN	ドメイン名	Domain
SERVER	サーバ名	J2EEServer
APPLICATION	アプリケーション名	J2EEApplication
EJBMODULE	EJBModule 名	EJBModule
NAME	MessageDrivenBean 名	name
TYPE	EJB タイプ	
CREATETTL	作成回数(累計)	CreateCount
CREATE	作成回数	
REMOVETTL	削除回数(累計)	RemoveCount
REMOVE	削除回数 REMOVETTL のインターバル毎の差分値	
MESSAGECOUNTTTL	メッセージ配信試行回数(累計)	MessageCount
MESSAGECOUNT	メッセージ配信試行回数 MESSAGECOUNTTTL のインターバル毎の差分値	
POOLEDCOUNTTTL	プールされた回数(累計)	PooledCount
POOLEDCOUNT	プールされた回数 POOLEDCOUNTTTL のインターバル毎の差分値	
READY	準備完了インスタンス数	MethodReadyCount



### 5.4.5. Servlet 情報

OracleAS MBean のうち Type コンポーネントが Servlet となっている MBean の情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、OracleAS MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明	データ取得値
INTVL	インターバル長	
ASINSTANCE	Application Server インスタンス名	
OC4JINSTANCE	OC4J インスタンス名	
DOMAIN	ドメイン名	Domain
SERVER	サーバ名	J2EEServer
APPLICATION	アプリケーション名	J2EEApplication
WEBMODULE	WebModule 名	WebModule
NAME	MessageDrivenBean 名	name
SERVICECOUNTTTL	起動回数(累計)	ServiceTime の Count
SERVICECOUNT	起動回数 SERVICECOUNTTTL のインターバル毎の差分値	
SERVICETIMETTL	応答時間(ミリ秒)(累計)	ServiceTime の TotalTime
SERVICETIME	応答時間(ミリ秒) SERVICETIMETTL のインターバル毎の差分値	
ACTIVEREQUEST	アクティブリクエスト数	ActiveRequest

### 5.4.6. StatefulSessionBean 情報

OracleAS MBean のうち Type コンポーネントが StatefulSessionBean となっている MBean の情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、OracleAS MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明	データ取得値
INTVL	インターバル長	
ASINSTANCE	Application Server インスタンス名	
OC4JINSTANCE	OC4J インスタンス名	
DOMAIN	ドメイン名	Domain
SERVER	サーバ名	J2EEServer
APPLICATION	アプリケーション名	J2EEApplication
EJBMODULE	EJBModule 名	EJBModule
NAME	StatefulSessionBean 名	name
TYPE	EJB タイプ	
CREATETTL	作成回数(累計)	CreateCount
CREATE	作成回数 CREATETTL のインターバル毎の差分値	
REMOVETTL	削除回数(累計)	RemoveCount
REMOVE	削除回数 REMOVETTL のインターバル毎の差分値	
READY	準備完了インスタンス数	MethodReadyCount

### 5.4.7. StatelessSessionBean 情報

OracleAS MBean のうち Type コンポーネントが StatelessSessionBean となっている MBean の情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、OracleAS MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明	データ取得値
INTVL	インターバル長	
ASINSTANCE	Application Server インスタンス名	
OC4JINSTANCE	OC4J インスタンス名	
DOMAIN	ドメイン名	Domain
SERVER	サーバ名	J2EEServer
APPLICATION	アプリケーション名	J2EEApplication
EJBMODULE	EJBModule 名	EJBModule
NAME	StatefulSessionBean 名	name
TYPE	EJB タイプ	
CREATETTL	作成回数(累計)	CreateCount
CREATE	作成回数 CREATETTL のインターバル毎の差分値	
REMOVETTL	削除回数(累計)	RemoveCount
REMOVE	削除回数 REMOVETTL のインターバル毎の差分値	
READY	準備完了インスタンス数	MethodReadyCount

### 5.4.8. ThreadPool 情報

OracleAS MBean のうち Type コンポーネントが ThreadPool となっている MBean の情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、OracleAS MBean の Name コンポーネントの値が表示されません。

列名	説明	データ取得値
INTVL	インターバル長	
ASINSTANCE	Application Server インスタンス名	
OC4JINSTANCE	OC4J インスタンス名	
DOMAIN	ドメイン名	Domain
SERVER	サーバ名	J2EEServer
NAME	ThreadPool 名	name
MAXPOOLSIZE	プール内の最大スレッド数	maxPoolSize
MINPOOLSIZE	プール内の最小理想スレッド数	minPoolSize
POOLSIZE	プール内の現在のスレッド数	poolSize
QUEUECAPACITY	最大キューサイズ	queueCapacity
QUEUE SIZE	キュー内で待機中のタスク数	queueSize
KEEPALIVETIME	非アクティブスレッド保持時間(ミリ秒)	keepAliveTime

### 5.4.9. EntityBean メソッド情報

OracleAS MBean のうち Type コンポーネントが EntityBean となっている MBean のメソッド情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、OracleAS MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明	データ取得値
INTVL	インターバル長	
ASINSTANCE	Application Server インスタンス名	
OC4JINSTANCE	OC4J インスタンス名	
DOMAIN	ドメイン名	Domain
SERVER	サーバ名	J2EEServer
APPLICATION	アプリケーション名	J2EEApplication
EJBMODULE	EJBModule 名	EJBModule
NAME	EntityBean 名	name
TYPE	EJB タイプ	
METHODNAME	メソッド名	
CLIENTCOUNTTTL	メソッド実行回数(累計)	ClientTime の Count
CLIENTCOUNT	メソッド実行回数 CLIENTCOUNTTTL のインターバル毎の差分値	
CLIENTTIMETTTL	メソッド実行時間(ミリ秒)(累計)	ClientTime の TotalTime
CLIENTTIME	メソッド実行時間(ミリ秒) CLIENTTIMETTTL のインターバル毎の差分値	
CLIENTACTIVE	アクティブリクエスト	ClientActive
WRAPPERCOUNTTTL	wrapper 実行回数(累計)	WrapperTime の Count
WRAPPERCOUNT	wrapper 実行回数 WRAPPERCOUNTTTL のインターバル毎の差分値	
WRAPPERTIMETTTL	wrapper 実行時間(ミリ秒)(累計)	WrapperTime の TotalTime
WRAPPERTIME	wrapper 実行時間(ミリ秒) WRAPPERTIMETTTL のインターバル毎の差分値	
WRAPPERACTIVE	wrapper アクティブリクエスト	WrapperActive

#### 5.4.10. MessageDrivenBean メソッド情報

OracleAS MBean のうち Type コンポーネントが MessageDrivenBean となっている MBean のメソッド情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、OracleAS MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明	データ取得値
INTVL	インターバル長	
ASINSTANCE	Application Server インスタンス名	
OC4JINSTANCE	OC4J インスタンス名	
DOMAIN	ドメイン名	Domain
SERVER	サーバ名	J2EEServer
APPLICATION	アプリケーション名	J2EEApplication
EJBMODULE	EJBModule 名	EJBModule
NAME	MessageDrivenBean 名	name
TYPE	EJB タイプ	
METHODNAME	メソッド名	
CLIENTCOUNTTTL	メソッド実行回数(累計)	ClientTime の Count
CLIENTCOUNT	メソッド実行回数 CLIENTCOUNTTTL のインターバル毎の差分値	
CLIENTTIMETTTL	メソッド実行時間(ミリ秒)(累計)	ClientTime の TotalTime
CLIENTTIME	メソッド実行時間(ミリ秒) CLIENTTIMETTTL のインターバル毎の差分値	
CLIENTACTIVE	アクティブリクエスト	ClientActive
WRAPPERCOUNTTTL	wrapper 実行回数(累計)	WrapperTime の Count
WRAPPERCOUNT	wrapper 実行回数 WRAPPERCOUNTTTL のインターバル毎の差分値	
WRAPPERTIMETTTL	wrapper 実行時間(ミリ秒)(累計)	WrapperTime の TotalTime
WRAPPERTIME	wrapper 実行時間(ミリ秒) WRAPPERTIMETTTL のインターバル毎の差分値	
WRAPPERACTIVE	wrapper アクティブリクエスト	WrapperActive

#### 5.4.11. StatefulSessionBean メソッド情報

OracleAS MBean のうち Type コンポーネントが StatefulSessionBean となっている MBean のメソッド情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、OracleAS MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明	データ取得値
INTVL	インターバル長	
ASINSTANCE	Application Server インスタンス名	
OC4JINSTANCE	OC4J インスタンス名	
DOMAIN	ドメイン名	Domain
SERVER	サーバ名	J2EEServer
APPLICATION	アプリケーション名	J2EEApplication
EJBMODULE	EJBModule 名	EJBModule
NAME	StatefulSessionBean 名	name
TYPE	EJB タイプ	
METHODNAME	メソッド名	
CLIENTCOUNTTTL	メソッド実行回数(累計)	ClientTime の Count
CLIENTCOUNT	メソッド実行回数 CLIENTCOUNTTTL のインターバル毎の差分値	
CLIENTTIMETTTL	メソッド実行時間(ミリ秒)(累計)	ClientTime の TotalTime
CLIENTTIME	メソッド実行時間(ミリ秒) CLIENTTIMETTTL のインターバル毎の差分値	
CLIENTACTIVE	アクティブリクエスト	ClientActive
WRAPPERCOUNTTTL	wrapper 実行回数(累計)	WrapperTime の Count
WRAPPERCOUNT	wrapper 実行回数 WRAPPERCOUNTTTL のインターバル毎の差分値	
WRAPPERTIMETTTL	wrapper 実行時間(ミリ秒)(累計)	WrapperTime の TotalTime
WRAPPERTIME	wrapper 実行時間(ミリ秒) WRAPPERTIMETTTL のインターバル毎の差分値	
WRAPPERACTIVE	wrapper アクティブリクエスト	WrapperActive

#### 5.4.12. StatelessSessionBean メソッド情報

OracleAS MBean のうち Type コンポーネントが StatelessSessionBean となっている MBean のメソッド情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、OracleAS MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明	データ取得値
INTVL	インターバル長	
ASINSTANCE	Application Server インスタンス名	
OC4JINSTANCE	OC4J インスタンス名	
DOMAIN	ドメイン名	Domain
SERVER	サーバ名	J2EEServer
APPLICATION	アプリケーション名	J2EEApplication
EJBMODULE	EJBModule 名	EJBModule
NAME	StatelessSessionBean 名	name
TYPE	EJB タイプ	
METHODNAME	メソッド名	
CLIENTCOUNTTTL	メソッド実行回数(累計)	ClientTime の Count
CLIENTCOUNT	メソッド実行回数 CLIENTCOUNTTTL のインターバル毎の差分値	
CLIENTTIMETTTL	メソッド実行時間(ミリ秒)(累計)	ClientTime の TotalTime
CLIENTTIME	メソッド実行時間(ミリ秒) CLIENTTIMETTTL のインターバル毎の差分値	
CLIENTACTIVE	アクティブリクエスト	ClientActive
WRAPPERCOUNTTTL	wrapper 実行回数(累計)	WrapperTime の Count
WRAPPERCOUNT	wrapper 実行回数 WRAPPERCOUNTTTL のインターバル毎の差分値	
WRAPPERTIMETTTL	wrapper 実行時間(ミリ秒)(累計)	WrapperTime の TotalTime
WRAPPERTIME	wrapper 実行時間(ミリ秒) WRAPPERTIMETTTL のインターバル毎の差分値	
WRAPPERACTIVE	wrapper アクティブリクエスト	WrapperActive

## 5.5. JBoss

### 5.5.1. JVM 情報

V4～V5 の場合、JBoss MBean のうち ObjectName が「jboss.system:type=ServerInfo」となっている MBean の情報を収集します。

この MBean は 1 つしか存在しないため、CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、「JVM」という文字列が表示されます。

V6 の場合、JBoss MBean のうち ObjectName が「java.lang:type=Memory」、「java.lang:type=GarbageCollector」となっている MBean の情報を収集します。

この MBean は 1 つしか存在しないため、CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、「JVM」という文字列が表示されます。

列名	説明	データ取得値 (V4～V5)	データ取得値 (V6)
INTVL	インターバル長		
OS_NAME	OS 名	OSName	×
JAVA_VENDOR	Java ベンダー名	JavaVendor	×
JAVA_VERSION	Java バージョン	JavaVersion	×
FREE_MEM	JVM ヒープメモリ空き容量	FreeMemory	×
TOTAL_MEM	JVM ヒープメモリ総容量	TotalMemory	HeapMemoryUsage の committed
MAX_MEM	JVM ヒープメモリ最大設定値	MaxMemory	HeapMemoryUsage の max
PROCESSOR_NUM	アクティブプロセス数	AvailableProcessors	×
THREAD_NUM	アクティブスレッド数	ActiveThreadCount	×
USE_MEM	JVM ヒープメモリ使用容量	×	HeapMemoryUsage の used
GCCNTTTL	ScavengeGC 回数(累計)	×	Scavenge の CollectionCount
GCCNT	ScavengeGC 回数 GCCNTTTL のインターバル毎の差分値	×	
GCTIMETTL	ScavengeGC 時間(ミリ秒)(累計)	×	Scavenge の CollectionTime
GCTIME	ScavengeGC 時間(ミリ秒) GCTIMETTL のインターバル毎の差分値	×	
FULLGCCNTTTL	FullGC 回数(累計)	×	MarkSweep の CollectionCount
FULLGCCNT	FullGC 回数 FULLGCCNTTTL のインターバル毎の差分値	×	
FULLGCTIMETTL	FullGC 時間(ミリ秒)(累計)	×	MarkSweep の CollectionTime
FULLGCTIME	FullGC 時間(ミリ秒) FULLGCTIMETTL のインターバル毎の差分値	×	
INST_NAME	JBoss インスタンス名		



### 5.5.2. JDBCDataSource 情報

V4～V5 の場合、JBoss MBean のうち ObjectName が「jboss.jca:service=ManagedConnectionPool,\*」となっている Mbean の情報を収集します。

CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、JBoss MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

V6 の場合、JBoss MBean のうち ObjectName が「jboss.as:subsystem=datasources, statistics=pool,data-source=\*,\*」となっている Mbean の情報を収集します。

CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、JBoss MBean の data-source コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明	データ取得値 (V4～V5)	データ取得値 (V6)
INTVL	インターバル長		
DATASOURCE_NAME	JDBCDataSource 名	PoolJndiName	data-source
CREATE_COUNTTTL	作成回数(累計)	ConnectionCreatedCount	CreatedCount
CREATE_COUNT	作成回数 CREATE_COUNTTTL のインターバル毎の差分値		
DESTROY_COUNTTTL	削除回数(累計)	ConnectionDestroyedCount	DestroyedCount
DESTROY_COUNT	削除回数 DESTROY_COUNTTTL のインターバル毎の差分値		
CONNECT_NUM	JDBC 接続数	ConnectionCount	ActiveCount
CONNECT_USE	使用中の JDBC 接続数	InUseConnectionCount	InUseCount
MIN_SIZE	JDBC 接続プールサイズ最小設定値	MinSize	×
MAX_SIZE	JDBC 接続プールサイズ最大設定値	MaxSize	AvailableCount
INST_NAME	JBoss インスタンス名		

### 5.5.3. Servlet 情報

V4～V5 の場合、JBoss MBean のうち ObjectName が「jboss.web:j2eeType=Servlet,\*」となっている MBean の情報を収集します。

CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、JBoss MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

V6 の場合、JBoss MBean のうち ObjectName が「jboss.as:subsystem=ejb3,thread-pool=\*」となっている MBean の情報を収集します。

CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、JBoss MBean の thread-pool コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明	データ取得値 (V4～V5)	データ取得値 (V6)
INTVL	インターバル長		
WEBMODULE	WebModule 名	WebModule	deployment
SERVLET	Servlet 名	name	servlet
REQ_COUNTTTL	リクエスト回数(累計)	requestCount	requestCount
REQ_COUNT	リクエスト回数 REQ_COUNTTTL のインターバル毎の差分値		
PROC_TIMETTL	実行時間(ミリ秒)(累計)	processingTime	processingTime
PROC_TIME	実行時間(ミリ秒) PROC_TIMETTL のインターバル毎の差分値		
ERR_COUNTTTL	エラー発生回数(累計)	errorCount	×
ERR_COUNT	エラー発生回数 ERR_COUNTTTL のインターバル毎の差分値		×
INST_NAME	JBoss インスタンス名		

#### 5.5.4. ThreadPool 情報

V4～V5 の場合、JBoss MBean のうち ObjectName が「jboss.web:type=ThreadPool,\*」となっている MBean の情報を収集します。

CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、JBoss MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

V6 の場合、JBoss MBean のうち ObjectName が「jboss.as:subsystem=ejb3,thread-pool=\*」となっている MBean の情報を収集します。

CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、JBoss MBean の thread-pool コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明	データ取得値 (V4～V5)	データ取得値 (V6)
INTVL	インターバル長		
NAME	ThreadPool 名	name	thread-pool
THREAD_COUNT	ThreadPool 内のスレッド数	currentThreadCount	currentThreadCount
THREAD_BUSY	使用中スレッド数	currentThreadsBusy	activeCount
MAX_POOL_SIZE	ThreadPool サイズ最大設定値	maxThreads	maxThreads
INST_NAME	JBoss インスタンス名		

### 5.5.5. StatefulSessionBean 情報

V4～V5 の場合、JBoss MBean のうち ObjectName が「jboss.j2ee:service=EJB3,\*」となっている MBean の情報を収集します。

CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、JBoss MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

V6 の場合、JBoss MBean のうち ObjectName が「jboss.as:subsystem=ejb3,stateful-session-bean=\*,\*」となっている MBean の情報を収集します。

CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、JBoss MBean の stateful-session-bean コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明	データ取得値 (V4～V5)	データ取得値 (V6)
INTVL	インターバル長		
EAR_NAME	EAR 名	ear	deployment
JAR_NAME	JAR 名	jar	subdeployment
EJB_NAME	EJB 名	name	stateful-session-bean
TYPE	EJB タイプ(F)		
CACHE_SIZE	キャッシュサイズ	CacheSize	cacheSize
MAX_SIZE	キャッシュサイズ最大値	MaxSize	×
TOTAL_SIZE	総インスタンス数	TotalSize	totalSize
CURR_SIZE	キャッシュ中のインスタンス数	CurrentSize	×
PASSIVE_COUNT	Passivate 状態のインスタンス数	PassivatedCount	passivatedCount
CREATE_COUNTTTL	作成回数(累積)	CreateCount	×
CREATE_COUNT	作成回数 CREATE_COUNTTTL のインターバル毎の差分値		×
REMOVE_COUNTTTL	削除回数(累積)	RemoveCount	×
REMOVE_COUNT	削除回数 REMOVE_COUNTTTL のインターバル毎の差分値		×
INST_NAME	JBoss インスタンス名		

### 5.5.6. StatefulSessionBean メソッド情報

V4～V5 の場合、JBoss MBean のうち ObjectName が「jboss.j2ee:service=EJB3,\*」となっている MBean の情報を収集します。

CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、JBoss MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

V6 の場合、JBoss MBean のうち ObjectName が「jboss.as:subsystem=ejb3,stateful-session-bean=\*,\*」となっている MBean の情報を収集します。

CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、JBoss MBean の stateful-session-bean コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明	データ取得値 (V4～V5)	データ取得 (V6)
INTVL	インターバル長		
EAR_NAME	EAR 名	ear	deployment
JAR_NAME	JAR 名	jar	subdeployment
EJB_NAME	EJB 名	name	stateful-session-bean
TYPE	EJB タイプ(F)		
METHOD_NAME	メソッド名		×
METHOD_COUNTTTL	メソッド実行回数(累計)	count	invocations
METHOD_COUNT	メソッド実行回数 METHOD_COUNTTTL のインターバル毎の差分値		
METHOD_TIMETTL	メソッド実行時間(ミリ秒)(累計)	totalTime	executionTime
METHOD_TIME	メソッド実行時間(ミリ秒)METHOD_TIMETTL のインターバル毎の差分値		
INST_NAME	JBoss インスタンス名		

### 5.5.7. StatelessSessionBean 情報

V4～V5 の場合、JBoss MBean のうち ObjectName が「jboss.j2ee:service=EJB3,\*」となっている MBean の情報を収集します。

CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、JBoss MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

V6 の場合、JBoss MBean のうち ObjectName が「jboss.as:subsystem=ejb3,stateless-session-bean=\*,\*」となっている MBean の情報を収集します。

CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、JBoss MBean の stateless-session-bean コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明	データ取得値 (V4～V5)	データ取得値 (V6)
INTVL	インターバル長		
EAR_NAME	EAR 名	ear	deployment
JAR_NAME	JAR 名	jar	subdeployment
EJB_NAME	EJB 名	name	stateless-session-bean
TYPE	EJB タイプ(L)		
MAX_SIZE	プールサイズ最大値	MaxSize	poolMaxSize
CURR_SIZE	総インスタンス数	CurrentSize	poolCurrentSize
AVA_COUNT	空きインスタンス数	AvailableCount	poolAvailableCount
CREATE_COUNTTTL	作成回数(累積)	CreateCount	poolCreateCount
CREATE_COUNT	作成回数 CREATE_COUNTTTL のインターバル毎の差分値		
REMOVE_COUNTTTL	削除回数(累積)	RemoveCount	poolRemoveCount
REMOVE_COUNT	削除回数 REMOVE_COUNTTTL のインターバル毎の差分値		
INST_NAME	JBoss インスタンス名		

### 5.5.8. StatelessSessionBean メソッド情報

V4～V5 の場合、JBoss MBean のうち ObjectName が「jboss.j2ee:service=EJB3,\*」となっている MBean の情報を収集します。

CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、JBoss MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

V6 の場合、JBoss MBean のうち ObjectName が「jboss.as:subsystem=ejb3,stateless-session-bean=\*,\*」となっている MBean の情報を収集します。

CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、JBoss MBean の stateless-session-bean コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明	データ取得値 (V4～V5)	データ取得値 (V6)
INTVL	インターバル長		
EAR_NAME	EAR 名	ear	deployment
JAR_NAME	JAR 名	jar	subdeployment
EJB_NAME	EJB 名	name	stateless-session-bean
TYPE	EJB タイプ(L)		
METHOD_NAME	メソッド名		x
METHOD_COUNTTTL	メソッド実行回数(累計)	count	invocations
METHOD_COUNT	メソッド実行回数 METHOD_COUNTTTL のインターバル毎の差分値		
METHOD_TIMETTL	メソッド実行時間(ミリ秒)(累計)	totalTime	executionTime
METHOD_TIME	メソッド実行時間(ミリ秒)METHOD_TIMETTL のインターバル毎の差分値		
INST_NAME	JBoss インスタンス名		

## 5.6. Tomcat

### 5.6.1. JVM 情報

Tomcat MBean のうち ObjectName が「java.lang:type=Memory」、「java.lang:type=GarbageCollector」となっている MBean の情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、「JVM」という文字列が表示されます。

列名	説明	データ取得値
INTVL	インターバル長	
NAME	JVM	
HEAPUSE	ヒープ領域の使用量(Byte)	HeapMemoryUsage の used
HEAPSIZE	ヒープ領域のサイズ(Byte)	HeapMemoryUsage の committed
HEAPMAX	ヒープ領域の最大設定値(Byte)	HeapMemoryUsage の max
NONHEAPUSE	非ヒープ領域の使用量(Byte)	NonHeapMemoryUsage の used
NONHEAPSIZE	非ヒープ領域のサイズ(Byte)	NonHeapMemoryUsage の committed
NONHEAPMAX	非ヒープ領域の最大設定値(Byte)	NonHeapMemoryUsage の max
GCCNTTTL	ScavengeGC 回数(累計)	Scavenge の CollectionCount
GCCNT	ScavengeGC 回数 GCCNTTTL のインターバル毎の差分値	
GCTIMETTTL	ScavengeGC 時間(ミリ秒)(累計)	Scavenge の CollectionTime
GCTIME	ScavengeGC 時間(ミリ秒) GCTIMETTTL のインターバル毎の差分値	
FULLGCCNTTTL	FullGC 回数(累計)	MarkSweep の CollectionCount
FULLGCCNT	FullGC 回数 FULLGCCNTTTL のインターバル毎の差分値	
FULLGCTIMETTTL	FullGC 時間(ミリ秒)(累計)	MarkSweep の CollectionTime
FULLGCTIME	FullGC 時間(ミリ秒) FULLGCTIMETTTL のインターバル毎の差分値	



### 5.6.2. Servlet 情報

Tomcat MBean のうち ObjectName が「Catalina:j2eeType=Servlet」となっている MBean の情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、Tomcat MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明	データ取得値
INTVL	インターバル長	
WEBMODULE	WebModule 名	WebModule
NAME	Servlet 名	name
REQCNTTTL	サーブレット実行回数(累計)	requestCount
REQCNT	サーブレット実行回数 REQCNTTTL のインターバル毎の差分値	
RESTIMETTL	サーブレット実行時間(ミリ秒)(累計)	processingTime
RESTIME	サーブレット実行時間(ミリ秒) RESTIMETTL のインターバル毎の差分値	
ERRCNTTTL	エラー回数(累計)	errorCount
ERRCNT	エラー回数 ERRCNTTTL のインターバル毎の差分値	

### 5.6.3. ThreadPool 情報

Tomcat MBean のうち ObjectName が「Catalina:type=ThreadPool」となっている MBean の情報を収集します。CS-Java configuration assistant で表示される MBean 一覧には、Tomcat MBean の Name コンポーネントの値が表示されます。

列名	説明	データ取得値
INTVL	インターバル長	
NAME	ThreadPool 名	name
THREADUSE	使用中スレッド数	currentThreadsBusy
THREADSIZE	プール中スレッド数	currentThreadCount
THREADMIN	スレッドプール初期設定値	minSpareThreads
THREADMAX	スレッドプール最大設定値	maxThreads